

官報

號外

明治三十九年三月二十七日

火曜日

印刷局

○第二十二回 帝國議會 衆議院議事速記録第二十二號

明治三十九年三月二十六日(月曜日)午後一時十一分開議

議事日程 第二十一號 明治三十九年三月二十六日

午後一時開議

- | | |
|--|---------------|
| 第一 帝國鐵道會計法案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第三 官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第五 韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第七 鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第九 海上衝突豫防法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會 |
| 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 | 第一讀會 |
| 第十一 國債ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十二 宅地地價修正法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十三 市制又ハ區制施行地内ノ有租地ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十四 地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十五 紙幣類似證券取締法案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案(政府提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十七 獺豫防法案(山根正次外提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十八 狩獵法中改正法律案(森澤外二提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十九 屯田兵恩給ニ關スル建議案(淺羽靖外提出) | (委員長報告) |
| 第二十 行政裁判ニ關スル建議案(宮古三郎外提出) | (委員長報告) |
| 第二十一 穀物検査ニ關スル建議案(藤金作外提出) | (委員長報告) |
| 第二十二 明治三十三年勅令第百三十二號廢止ニ關スル建議案(川島藏藏外提出) | (委員長報告) |

第二十三 大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案(委員長報告)

第二十四 大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案(阿部郎外九提出) (委員長報告)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

帝國鐵道會計法案

官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案

鐵道國有及京釜鐵道買收法ニヨリ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案

海上衝突豫防法中改正法律案

一武藤金吉君ヨリ谷中村不法買收ニ關シ、花井卓藏君ヨリ緊急勅令ノ質問ニ對スル答辯ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

谷中村不法買收ニ關スル質問主意書

一明治三十七年度追加豫算トシテ第二十一議會ニ於テ災害補助土木費ノ名義ニテ國庫ヨリ支出セシ二十二萬圓ハ栃木縣下都賀郡谷中村ノ如何ナル土木工

事費ニ使用セシヤ

一谷中村ノ買收ハ事實ニ於テ町村ノ廢置分合ナリ政府ハ町村ヲ廢置分合スルニ帝

國議會ノ協賛ヲ經ス又町村會ノ意見ヲ徵セサル理由如何

右成規ニ據リ質問主意書提出候條政府ハ速ニ答辯アラント望ム

明治三十九年三月二十五日

提出者 武藤 金吉

贊成者 原田 赴城 外三十一名

緊急勅令ノ質問ニ對スル答辯ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十六日

提出者 花井 卓藏

贊成者 早速 整爾 外二十名

緊急勅令ノ質問ニ對スル答辯ニ關スル質問主意書

政府ハ本員ノ提出シタル緊急勅令ニ關スル質問ニ對シ「明治三十八年勅令第二百五號第二百六號第二百四十二號ニ關シテハ現内閣ノ答辯スヘキ限ニアラス且ツ既

ニ廢止ニ關シ議會ニ提出ヲ要セサルモノト認ム」ト答辯シタリ

本員ハ右ノ答辯ニ關シ憲法上左ノ如キ疑義ヲ懷抱ス依テ更ニ政府ノ所見ヲ問ハントス

第一 前ノ内閣ニ於テ發シタル緊急勅令ニ關シテハ後ノ内閣ハ事後承諾ヲ求ムルノ

責任ナシト認メタルモノナリヤ果シテ然ラバ憲法ノ條規ニ違フモノト信ス政府ノ所見

如何

第二 明治三十八年勅令第二百四十二號ハ未タ會テ廢止セラレタルコトナシ而シテ之ヲ以テ廢止ニ歸シタルモノト認メタル理由如何

第三 緊急勅令ノ發布ハ内務大臣陸軍大臣ノ所管事務ニアラスシテ内閣全體ノ責任ナリ而シテ之ヲ以テ内務陸軍兩大臣ノ所管事務ト認メ兩大臣ノ名ニ依リ答辯ヲシタル理由如何

右及質問候也

一花井卓藏君外一名提出緊急勅令廢止ニ關スル質問ニ對シ原内務大臣寺內陸軍大臣ヨリ早速整肅君外一名提出陸軍衛生部下士ノ昇進ニ關スル質問ニ對シ寺內陸軍大臣ヨリ花井卓藏君外一名提出「ニコライ」教會堂建設地ニ關スル質問ニ對シ西園寺外務大臣原内務大臣ヨリ左ノ答辯アリタリ

衆議院議員花井卓藏君外一名提出緊急勅令廢止ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十九年三月二十四日 内閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員花井卓藏君外一名提出緊急勅令ニ關スル質問ニ對スル答辯書

明治三十八年勅令第二百五號第二百五號第二百五號ニ關シテハ現内閣ハ答辯スヘキ限ニアラス且ツ既ニ廢止ニ關シ會議ニ提出ヲ要セサルモノト認ム

明治三十九年三月十六日

内務大臣原 敬

陸軍大臣寺內正毅

衆議院議員早速整肅君外一名提出陸軍衛生部下士ノ昇進ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十九年三月二十五日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員早速整肅君外一名提出陸軍衛生部下士ノ昇進ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一各兵科ニ於テ准士官ノ位置ヲ設ケルハ平時之ヲシテ士官ノ勤務ヲ執ラシメ戰時ニ多大ノ死傷ヲ生シタル場合ニ於ケル士官ノ缺員ヲ補充セントスルニ在リ然ルニ衛生部下士官ニ在リテハ職務上特種ノ技術ヲ資格トシ必要トスルカ故ニ各兵科ト同一ノ制ヲ採ルコト能ハス

二陸軍武官ハ各兵科タルト各部タルト問ハス平戰兩時ヲ通シ當該兵科部ニ於ケル如何ナル職務ニモ使用シ得ル如ク養成シ置クハ軍制ノ本旨ニシテ要員ノ補充上緊要ノコトナルカ故ニ單ニ事務官タル士官ノ階級ヲ設クルコトヲ許サス又衛生部下士官ハ他ノ下士官ト全ク素養ヲ異ニスルカ故ニ各兵科下士官ヨリ憲兵科又ハ經理部ニ轉科スルカ如ク轉科途ヲ開クコトヲ得ス

右及答辯候也

明治三十九年三月二十四日

陸軍大臣寺內正毅

衆議院議員花井卓藏君外二名提出「ニコライ」教會堂建設地ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十九年三月二十五日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員花井卓藏君外二名提出「ニコライ」教會堂建設地ニ關スル質問ニ對スル答辯書

「ニコライ」教會堂ノ建設地ハ明治五年露國公使館附屬地トシテ年限ヲ定メス之ヲ同公使館ニ貸附シタルモノナリ然レトモ政府ハ現在ノ狀態ヲ其儘將來ニ繼續セシムルヲ適當ナラスト認ムルニ依リ相當ノ時期ニ於テ右ニ關シ露國政府ト交渉ヲ開始スル答アリ右ノ次第二付質問各項ニ關シテハ目下詳細ナル答辯ヲナスノ時機ニアラスト認ム

右及答辯候也

明治三十九年三月二十五日

外務大臣侯爵西園寺公望

内務大臣 原 敬

一貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

北海道鐵道速成ニ關スル建議案

提出者 佐竹作太郎君

吉植庄一郎君

中西六三郎君

奥野市次郎君

柳田 藤吉君

江藤 哲藏君

淺羽 靖君

昨二十五日西園寺内閣總理大臣ヨリ左ノ通り政府委員任命相成リタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

鐵道作業局部長 國師 民嘉

逓信省所管事務政府委員被仰付

一貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案、明治二十八年法律第十七號中改正法律案、官國幣社經費ニ關スル法律案及本院提出明治三十年法律第四十二號廢止法律案、屯田兵土地給與規則廢止法律案、債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案、明治二十九年法律第十三號中改正法律案ヲ可決シ、質屋取締法中改正法律案ニ對シ第二議會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一政府ハ明治二十九年法律第六十三號ニ代ルヘキ法律案ヲ撤回シタル旨貴族院ヨリ通牒アリタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一指定セラレタル委員左ノ如シ

癩癩防法案委員

大井ト新君

青地 雄太郎君

武市 庫太君

狩獵法中改正法律案委員

森 肇君

天野 藤三君

初木 卿太郎君

波多野傳三郎君

島田 三郎君

安藤 新太郎君

內藤 利八君

青柳 信五郎君

山根 正次君

大久保弁太郎君

東 一左右君

守屋 此助君

福島 宜三君 橫山 一平君 竹内 正志君
大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案委員

中西 光三郎君 遊田 研吉君 根本 正君
小田 文行君 菊池 九郎君 星 松三郎君
大瀧 龍太郎君 阿部 勇治君 高木 龍藏君
帝國議會議事堂建築ニ關スル建議案委員

橫井 時雄君 島津 真知君 宮井 茂九郎君
松本 君平君 江藤 新作君 大石 熊吉君
久保 伊一郎君 松家 徳二君 關口 安太郎君
紙幣類似證券取締法案委員

伊藤 傳右衛門君 西村 專太郎君 長谷部 倉藏君
西村 眞太郎君 木村 半兵衛君 石田 仁太郎君
丹尾 賴馬君 花井 卓藏君 橫山 寅一郎君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
辯護士法中改正法律案
委員長 村松 龜一郎君 理事 花井 卓藏君
行政裁判ニ關スル建議案 委員 宮古 啓三郎君 理事 安島 重三郎君

屯田兵恩給ニ關スル建議案 委員 上野 彌一郎君 理事 小田 文行君
刑ヲ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及議員選舉權被選舉權ニ關スル法律案 委員 望月 長夫君 理事 加瀬 禮逸君

伊勢神宮大祓及曆頒布ニ關スル建議案 委員 伊夫伎 資弼君 理事 濱田 國松君
市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案 委員 石川 清君 理事 石田 孝吉君
穀物検査ニ關スル建議案委員會 委員 藤 金 作君 理事 (是永 歲太郎君 佐藤 庫喜君)

大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案 委員 山本 幸彦君 理事 神崎 東藏君
鐵道防法案 委員 大井 卜新君 理事 島田 三郎君
紙幣類似證券取締法案 委員 花井 卓藏君 理事 橫山 寅一郎君

狩獵法中改正法律案 委員 福島 宜三君 理事 安藤 新太郎君
大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案 委員 根本 正君 理事 小田 文行君
○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リ申スコトガアリマス、議案ノ都合ニ依リマシテ、明日ハ午前十時ヨリ會議ヲ開キタイト思ヒマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、武藤金吉君

(武藤金吉君登壇)

○武藤金吉君 (「簡單々々」ト呼フ者アリ) 承知致シマシタ、實ハ會期切迫ノ折柄デ、ザイマスルカラ、演說ヲ略サウト思ヒマシタケレドモ、「二三ノ點ハドウシテモ申上ゲマセト分リマセヌコトガアリマス」ノミナラズ、政府ニ於テ之ヲ如何ニ處分スルカト云フコトハ是非トモ此議會ノ開會中ニ於テ聞キタイト思ヒマシテ、諸君ノ清聴ヲ煩ハス次第デアリマス、谷中村ノ此買収問題ハ、昨年ノ議會ニ於キマシテ、此内務省所管ノ土木費ヲ救助費トシテ、二十二萬圓ヲ國庫カラ支出ニナツテ居ルデアリマス、サウシテ其金ハドウ云フ所ニ使ツテ居ルカト云フコトガ、一ノ質問デアリマス、モウ一ツハ谷中村ハ事實ニ於テ、町村ノ配置分合デアル、町村ノ配置分合ハ帝國議會ニ諮リ及町村會ノ意見ヲ徵サナイデ、町村ノ配置分合ト云フコトガ、出來ナイト云フコトハ、憲法ニ於テ明カデアル、是等ノコトヲ内務大臣ニ向テ、私ハ質問ヲ致ス次第デアリマス、此谷中村ノ買収ニ付イテ政府ノ見ル所ヲ以テスレバ、是ヲ瀧水池トスルデアリマス、瀧水池ノ利害ニ付イテハ、學者ノ說、或ハ技師ノ說ニ依リテ分リマセヌニ致シタコロガ、土木費ト極メタルモノヲ買収ストコロノ、村ヲ廢止ストコロノ費用ニ充ルコトガ出來ルヤ否ヤデアル、現ニ二十二萬圓ノ土木費ハ現在使テアルノカナイノカ、谷中村ノ今日ハ二十七年ノ豫算追加ニ組込ニテアルケレドモ、マダ村ノ買収ガ半分シカ出來テ居ラス、其中テ最モ重モナルモノハ何デアルカト云フト、田地ヲ持チマセヌコトノ細民ハ、皆買収ヲサレマシテ、移スト云フコトデアルガ、僅カ此那須郡ニ二十四戸移シタノミデアリマシテ、此三千人、四百戸ノ村ガ半分以上無クナツテ、ドコニ其人民ガ往ツテ居ルカ分ラヌト云フコトガ、現今ノ狀態デアリマス、而シテ谷中村ニアルコトコロノモノハ何物ヲ買ツタカト申シマスレバ、此谷中村ノ排水機、安生順四郎ト云フ人ガ、嘗テ排水機ヲ造リマシタガ、其用ニ立タナイ、排水機百圓買入ノナイ排水機ヲ以テ七萬五千圓ニ買ハレテ居テ、其他ノモノハ何モ買ハレテ居ラナイト云フコトガ、今日ノ狀態デアル、谷中村ハ名前ハマア土木工事費ノ下ニ於テ四年間堤防ハ崩レタ儘、今日ニナツテ居ルヤウナ有様デアリマス、サウシテ村民ハ昨年ノ春堤防ヲ政府ガ築キマセヌカラ、自費ヲ以テ僅カニ二千圓餘リノ金ヲ以テ築キマシタ結果ハ、四萬圓程製作ニ於テ收穫ノル村デアリマシテ、此村ト云フモノハ堤防サハ築キマシレバ、數百年來住居ラタコロノ故郷ニ離レナクテ、居ラレルニモ拘ハラズ、政府ハ瀧水池ト云フ名義ノ下ニドシテモ堤防ヲ築カナイデ、村民ヲ苦メテサウシテ此村ヲ買収スト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居ルノハ、ドウデアルカ、若シ此土木費ヲ名義ノ如ク、此名目ノ如ク出シマシタラバ、二十萬圓アリマシタラバ、百年千年ノ後マデモ、谷中村ヲ安全ニスルコトガ出來ルニモ拘ハラズ、何故ニ堤防ノ修築ヲシナイデ、村民ヲ逐拂フト云フモノニ、使フ譯デアリマス、本員ハ幾ラ研究致シマシテモ、其理由ガ分ラヌデアアル、當ニ分ラヌノミナラズ、此瀧水池トスルコトニスレバ、ドウデアルカト云フニ、谷中村全體ノ瀧水池ニスルコト、御承知ノ通り谷中村ハ利根川ト、渡良瀬川ト、思川ノ三川ノ合流所デアリマス、利根川ノ平水ノ流ハ、一時間ニ九萬立方尺デアル、其利根川ノ流ノ九萬立方尺ノ水ヲ谷中村ニ入レルト、僅カニ一時間ノ量ヲ容レケシカ、瀧水池ニシテモナイデアアル、其上ニ思川渡良瀬川ガアツタ、ドウシテモ理窟ニ適ハナイニモ拘ハラズ、強テ谷中村ヲ斯様ニ瀧水池ニスルコトハ、ドウシテモ理窟ガ分ラヌ次第デアアル、當ニ理窟ガ分ラヌノミナラズ、谷中村ノ總テノ人民ハ買リタクナイト云フコトガ希望デアル、又其鄰縣ノ茨城縣ニ於テモ、埼玉縣ニ於テモ、栃木縣ノ鄰村ニ於テモ、群馬縣ニ於テモ是ヲ瀧水池ニスルコトハ反對デアル、是ニ同意ヲシナイコトハ、此本院ニ續キ請願書ノ出

ルニ依ッテ見テモ明カデアリマス、是等ハドウシテモ此堤防ヲ築カナイデ、飽マデモ此村ヲ買潰ス御方針デアリマスルカ、是ハ前内閣ノ當時ニ於テ、此案ヲ設ケラレタモノデゴザイマスルガ、現内閣モ失張踏襲シテ是ヲ御ヤリニナル都合デアリマスルカ、是ヲ聽カウトスルノガ、一箇條デアリマス、尙一ツハ此長村即チ谷中村ハ、此賣リタクナイト云フコロノ村會ノ決議ガアリマス、此村會ノ決議ヲ政府ニ度々出シマシテモ、政府ハ村會ノ決議ヲ敢テ顧ミナイノミナラズ、村ヲ廢シ分合スルナラバ、其費用ヲ誰ノ議スルト共ニ、假ニ一步譲リテ名前ハ罹災土木補助ノ名前デ宜イトシタコロガ、村ヲ廢合分置スルニ付キマシテハ、帝國議會ノ協賛ヲ經、併セテ村會ノ意見ヲ徵シテ、之ヲ廢合スルコトガ至當デアル、然ルニ谷中村ノ村會ハ多數ヲ以テ斯ウ云フ決議ヲ致シテ居ルデアリマス

村會意見書寫

一、本村周圍堤塘擴築及復舊工事ノ儀ニ付テハ、屢々人民ヨリ出願シタルモ、其效果ナク村民止無ク各自出金シテ明治三十五年九月八日破堤シタル箇所丈ケニハ僅カニ麥作收穫ノ見込ヲ以テ本明治三十八年四月築堤シタルモ、秋作收穫ニ至ッテハ現在ノ堤塘狀態ニ於テハ到底收穫ノ見込ナク村民今ヤ其期節ニ迫ラレ夫ニ種下シヲナシ困苦ノ内ヨリ苗代ヲ作リ田仕付ノ準備ヲナセリ然ルニ堤塘ニシテ斯ノ如クナレハ實ニ千辛萬苦ニ堪ヘサルナリ當局官廳ハ緊急本村周圍堤塘擴築及復舊工事緊急實行セラレ明治三十五年ヨリ今明治三十八年ニ至ル三箇年間に損害百萬圓以上アリシ土地復活シテ是ヨリ年々相當ノ收穫シテ村民將來永遠生活居住ノ安寧ヲ得セシメラレ度茲ニ本村會ハ本村公益ノ爲メ意見書提出候也

明治三十八年五月二十七日

谷中村長職務管掌

議長 猿山定次郎

是ガ谷中村ノ全體ノ意見デアデ、斯ノ如ク谷中村ハ村會ノ意見ヲ具シテ、縣廳及內務省ニ屢々陳情シタルニモ拘ラズ、內務省ハ頑トシテ是ヲ御採用ナク、サウシテ此買收ニ著手ヲ致シマシテ、其買收スルコト云フ方法ニ付イテハ、僅カ四百戸、二千八ノ村ニ巡查數十名ヲ配置ヲ致シテ居ル偶々村民ノ集合ヲ爲シ、之ガ善後ノ處分ヲ講ズル者ニ向ッテ、或ハ拘引ヲ爲シ、或ハ羅織ヲ爲スト云フ方法ヲ執リテ居ルデアリマス、中ニハ金錢ノ好キ者ニハ、金錢ヲ以テ是ヲ説キ、種々ナ方法ヲ以テ、現ニ彼ノ兇徒囂聚事件ニ於テ、其首領ト呼バレルトコロノ左部彦四郎ト云フ人ハ、今日ハ此問題ノタメニ現在デハ栃木縣ノ雇役人ニナッテ居ルヤウナ有様デアリマス、非常ニ此事ニ付イテ心配ヲサレテ居リマスルトコロノ者ハ田中正造君デアリマス、田中正造君ハ今日ニ於テモ此村民ト共ニ自費ヲ以テ此春ノ麥作ヲ獲ラウト云フノデ、此築堤工事ヲヤテ居ル、ソレシテ栃木縣廳ハ之ヲ差止メテ、モウ買收ニ極ツタメデアラカシテ、縱令村民ガ自費ヲ以テヤッテモ、是ヲ許サヌト云フコトデアル、然ルニ埼玉縣及茨城縣、栃木縣ノ近村ノ村民ハ、掘飯ヲ以テ男女共此村ノ危急ヲ救フタメニ現在ニ於テモ、此急水止メノ工事ニ盡サレテ居ル位デアリマス、ドコマデモ此谷中村ノ多數ノ村民ハ、此村ヲ賣リタクナイト云フコトヲ希望ヲ致シテ居ルニモ拘ラズ、此墳墓ノ地ヲ離レタクナイト云フデ居ルニモ拘ラズ、政府ハ尙且是ヲ強制的ニ買收スルノデアルカ、又此帝國議會ノ協賛ヲ經ズ、村會ノ意見ヲ顧ミシテ、尙且之ヲ買收スル積リデアリマスルカ、併ナガラ現内閣ハ殊ニ輿論ヲ重シ、此內務大臣ノ衝ニ當リテ居ルコロノ原敬君ハ、最も賢明ニシテ民意ヲ容レラレトコロノ大臣デアリマシテ、殊ニ古河トノ御關係ニ付イテハ諸君モ知ラレラレトコロノ大臣デアリマス、古河トノ關係ガアルカラト云フデ、鎮毒地ヲ害ルヤウナ人デハナイ、立派ナル人デアル、其御方ガ內務大臣ニナッテ御居デニナルデアリマスカラ、此谷中村ノ問

題モ鎮毒問題モ速ニ解決セラレコト、私ハ信シテ待ッテ居リマスル者デアリマスカラシテ、原內務大臣ハ宜シク此問題ニ付イテ御答辯セラレ、且此解決ハ本員ノ希望通りニシテ戴キタイト云フコトヲ切ニ望ムデアリマス

○議長(杉田定一君) 花井卓藏君

(花井卓藏君登壇)

○花井卓藏君 諸君、本員モ會期切迫ノ今日デゴザイマスカラシテ、演說ハ致サヌト云フコトヲ昨日ノ議會ニ於テモ言明ヲ致シテ置イタデゴザイマス、然ルトコロ本員ノ質問ニ對シテ受取リマシタル答辯書ニ付キマシテ、此會期中ニ於テ政府ノ答辯ヲ煩ハサナケレバラス必要ヲ感シマシタルガ故ニ、暫時ノ間御清聴ヲ乞イタイト存シマス、本員ハ緊急勅令ニ關スル質問趣意書ヲ提出致シマシテ、爾來再三督促ヲ重ネマシテ、漸ク一昨日ニ至リマシテ答辯書ヲ受取リマシタル、此間四十六日ノ日子ヲ閱シテ居ルノデゴザイマス、答辯ノ要旨ハ只今書記官ヨリ朗讀致シマシタル通りノ次第デゴザイマシテ「明治三十八年勅令第二百五十五號第二百六號第二百四十二號ニ關シテハ現内閣ハ答辯スヘキ限リニアラス且既ニ廢止ニ屬シ議會ニ提出ヲ要セサルモノト認ム」斯ウ云フデゴザイマス、此答辯ヲ接受致シマシタル本員ハ、理ニ於テモ、義ニ於テモ、更ニ論旨一步ヲ進メテ、現内閣ノ所信ヲ問ハナケレバナラヌデアリマス、御承知ノ如ク本員提出ノ質問趣意書ハ、決シテ緊急勅令ニ關シマシテ、前内閣ノ失政ヲ彈劾スルノ趣意デハゴザイマス、又現内閣ノ責任ヲ問フノ趣意デモゴザイマス、事苟モ憲法上ノ重大問題ニ係リ、帝國議會ノ有スル權利ノ消長ノ關係スルコトデゴザイマスルガ故ニ、立法機關ノ危險、之ヲ防グノ主義ニ於キマシテ、事後ノ監督上現内閣ノ所信ヲ質問シタル趣意デアルト云フコトハ、書面ノ上ニ於テモ、極メテ明白デアル、演說ノ上ニ於テモ、極メテ明白デアル、是ノ如キ質問ヲ提出致シマシテ、時ノ政府ノ所信ヲ聽クト云フコトハ、吾ミ議員ノ憲法上特有スルコロノ權利デアルト信スルデアル、然ルニ政府ノナシタル答辯ノ趣意ヲ見マシレバ、恰モ前内閣ノ失政ヲ彈劾シテ、而シテコレニ伴フ現内閣ノ責任ヲ問ヒタルカノ如ク誤解セラル、ニ至リマシタルハ、本員ノ甚ダ遺憾トスルトコロデアリマス、言フマデモナク緊急勅令ナルモノハ、立法ノ變例デゴザイマシテ、誠ニ已ム得ザルニ出ザルトコロノ一時ノ權道デアルデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマシレバ、非常ノ場合ニ於ケル非常ノ命令タルニ外ナラヌデアリマス、憲法上、法律事項ヲ制定スルニ方リマシタルハ、必ズ法律ノ制定ニ俟タナケレバナラヌ、而シテ其法律ヲ作立セラルト云フコトハ、議會特有ノ權利デアルト云フコトハ、重ネテ論ズル必要ハゴザイマス、併ナガラ或場合ニ於キマシテ、議會閉會中ニ於キマシテ、公共ノ安全保持ノ必要上、又其災厄ヲ避クルノ必要上、假ニ政府ニ例外ノ立法行為ヲ授クルモノハ是レ取リモ直サズ緊急勅令デアルノデゴザイマス、ソレ故ニ議會ニシテ開カレマシタル以上ハ其曉ニ於キマシテ、其曉ニ至レバ、國務大臣ハ必ズ案ヲ具シテ議會ノ公議ニ問ヒ、發令ノ審査ヲ受ケ、而シテ當時發布シタルトコロノ責任解除ノ要求ヲセラレナケレバナラヌモノデアル而シテ憲法第八條第二項ニハ歴然之ヲ掲ゲテゴザイマシテ、一點ノ疑ヲ存セヌデアリマス、而シテ凡ソ緊急勅令ヲ審查スル範圍ニ、一ツノ重要ナル事項ノ含マレテ居ルコト云フコトヲ注意セナケレバナラナイト思フ、第一ニハ緊急勅令ハ其發布當時ニ於テ、公共ノ安全ヲ保持シ、並ニ其災厄ヲ避クル必要上、已ム得ザルニ出デタルモノナリヤ否ヤ、又第二ニハ將來ニ於テモ、尙且此緊急勅令ヲ存續セシムベキ必要アリヤ否ヤ、此二ツノモノヲ審查スベキ性質ノモノデゴザイマスルガ故ニ、縱令其緊急勅令ハ廢止ニ歸シマシテモ、固ヨリ審查ノ必要ハアルデアル、將來ニ施行スベキモノトシテハ、廢止セラレタル以上ハ、審查ノ必要ガ或ハナイカモ存シマセヌ、併ナガラ過去ニ於ケル、即チ發令當時ノ事情ヲ判斷スル上ニ於キマシ

テハ、是非之ヲ審查シナケレバナルマイト私ハ考ヘル、既ニ廢止ニ歸シタル以上ハ、提出ノ必要ガナイト云フ事柄ハ、明カニ憲法ノ第八條ヲ空文ニスルモノデアル、憲法第八條ニハ廢止ニ歸シタル否ナト拘ラズ、必ズ是ガ案ヲ提出シテ、議會ノ審查ヲ求メザルベカラズト云フ趣意ニ書イタル憲法ノ明文、炳トシテ日星ノ如シデアリマス、若シ夫レ政府ノ答辯ノ如クニシテ差支ナシト云フナラバ、議會ガ憲法ニ依テ授ケラレタル審查ノ權能ト云フモノハ如何ニシテ發揮スルコトガ出來マセウカ、立法例外ノ行爲ヲ爲シタル是非得失ヲ監督スル權能ハ、如何ニシテ發揮スルコトガ出來デゴザイマセウカ、本員ハ甚ダ此點ニ關シマシテ、現政府ノ答辯ヲ疑フモノデアリマス、緊急勅令ヲ以テ或事項ヲ制定ラシ、而シテ後更ニ又新ナル緊急勅令ヲ發シテ、前ノ緊急勅令ヲ廢止スルコト云フコトガゴザイマシタナラバ、一ツナガラ共ニ俱ニ之ヲ帝國議會ニ提出シナケレバナライモト思フ、然ルニ兩々共ニ提出スルコトヲナサズシテ、憲法ノ要求ヲ充タスモノデアルト解釋スルガ如キハ、誠ニ憲法ノタメニ其冤ヲ訴ヘネバナラヌト私ハ考ヘル、又是ノ如キハ決シテ憲法制度ノ精神デハナイト確信ヲ致シマス、貸シタ金ハ取立ツルノ權利ガアル、奪ハレタルモノハ取戻スノ權利ガアル、帝國議會ガ機宜ノ處分トシテ、例外ノ處分トシテ、一時授ケタル立法ノ權能ハ、期至ラバ返濟ヲ求ムベキ權利ノアルト云フコトハ論ヲ俟タヌ次第デアル、貸シタル立法權ハ取戻ス權利ガアル、立法ノ權能ヲ借用シテ置キナガラ——立法ノ權能ヲ奪ツテ置キナガラ、返スコトハイヤダ、戻スコトハイヤダト云フコトハ、憲法ハ決シテ許サヌデアリマス、一般私法ノ關係ニ於キマシテモ、是ノ次第デアル然ルヲ、況ヤ公法中ニ於テモ最モ貴重ナル憲法上ノ權利取戻ノ要求ニ應ジナイ、返濟ヲ促サレテモ尙且要求ニ應ジナイト云フコトハ、果シテ適當デアラドゴザイマセウカ、不適當デアラドゴザイマセウカ、本員ガ改メテ論ズルマデノ必要ハナイト思フ、若シ是ノ如キ事柄ヲ是認致シテ置キマシタナラバ、立法ノ例外ト云フモノハ遂ニ立法ノ原則ヲ破ルト云フ結果ニ相成ルデアラウト思フ、誠ニ憲政ノ危機デゴザイマス、又憲法ノ輕蔑ト言ハナケレバナラヌト私ハ考ヘル、斯様ニ本員ハ信ジマス、之ヲ憲法ニ問ヘバ、法理ハ現内閣ノ所信誤レリ、是ヲ德義ニ問ヘバ、現内閣ノ答辯ハ不親切ナリト云ハナケレバナラヌト私ハ考ヘマス、ツレ故ニ本員ハ更ニ肉薄シテ問ハント欲スルコトコロノゴザイマス、抑前ノ内閣ニ於テ發シタル緊急勅令ニ關シテハ、後ノ内閣ハ之ヲ提出シテ事後承諾ヲ求ムルノ責任ナシト云ヘルコトハ、抑憲法第何條ニ規定セラレテアルノデゴザイマス、又廢止ニ屬シタル緊急勅令ハ、之ヲ提出シテ承諾ヲ求ムルノ必要ナシトハ抑帝國憲法ノ第何條ニ規定セラレテアルノデゴザイマス、加之明治三十八年勅令第二百二十四號ハ未ダ廢止セラレテハ居ナイノデアル、何月何日ニ廢止セラレテアルノデアル、新聞紙發行停止ノ件、及戒嚴令適用ノ件ニ關スル緊急勅令ハ、後ノ緊急勅令ニ於テ廢止セラレタリト雖モ、之ヲ廢止スル緊急勅令ハ、未ダ曾テ廢止セラレテハ居ナイノデアル、兩者緊急勅令タルニ於テ、異ナルトコロハナイ、然ルニ後ノ分モ共ニ廢止セラレタモノデアルト解釋——廢止セラレタモノト云フニ至テハ驚キ入ルノ外ハナイ、若シ然リトセバ戒嚴令、新聞ノ緊急勅令ヲ復活スルコト云フヤウナ姿ニ相成ルデハゴザイマセウカ、抑第二百四十二號ノ勅令ヲ廢止セラレタモノデアルト、政府ガ解釋スルノハ、何ノ理由ニ基ケルモノデアルカ、本員ハ甚ダ惑フモノデアル、決シテ廢止セラレテ居ナイノデアル、現在其效力ヲ保ツテ居ルノデアル、然ルニ之ヲ廢止セラレタモノト解釋スルハ如何ナル理由デアルカ、本員緊急勅令ニ關スル質問趣意書ヲ提出シテ、日ヲ閱スルコト四十六日、答辯ヲ促スコト三度、而シテ結局ノ答辯ハ、誠ニ簡單ナリト雖モ、不明瞭ノ極デアル、密ニ不明瞭ナルノミナラズ、廢止セラレザル緊急勅令ヲモ、廢止セラレタルモノ、如クニ解釋ヲシテ居ルニ至ッデハ、其狼狽サ加減言語ニ絶シテ居ルト考

ヘル定メテ狼狽セラレタコトデアラウト私ハ考ヘル、鄭重ナル審議ヲ遂ゲ、鄭重ナル講究ヲ重ネタナラバ是ノ如キ狼狽ノ態度ニ出ツベキ筈ハ私ハ萬々アルマイト思フ、要スルニ緊急勅令ニ對シ事後承諾ヲ求ムルノ責任アルコトハ、繰返シテ申上ケルマデモゴザイマセズ、憲法ノ明文上立派ニ掲ゲラレテアルデゴザイマシテ、本員ガ屢當壇ニ於テ論述致シマシタル通りノ次第デゴザイマス、而シテ又憲法ノ條章ヲ讀シテ見マシレバ、承諾ヲ求ムル責任ノアルコトハ、憲法第八條ニ於ケル本案ノ如キ、若クハ憲法第七十條ニ於ケル財政處分ニ關スルモノ、如キ、孰レモ議會ノ承認ヲ後ニ至ッデハナケレバナラヌコトハ其規定ノ上ニ、立派ニ存在シテ居ル、而シテ兩條共毫モ異ル所アリマセウ故ニ、政府ハ現明治三十八年勅令第九十四號ニ對シテハ、承諾ヲ求メニ來タデハゴザイマセウカ、外債三億圓問題ノ緊急勅令ニ關シマシテハ、立派ニ當院ニ向テ承諾ヲ求メニ參ッデハゴザイマセウカ、均シク是緊急勅令デアル、均シク是承諾ヲ求ムベキ性質ノモノデアル、然ルニ彼ニ承諾ヲ求メ、是ニ承諾ヲ求メヌトハ、抑モ如何ナル理由ニ基ケルモノデアリマセウカ、勿論廢止ニ歸シタカラ、今ハ必要デナイト云フコトナラバ、勅令第九十四號ノ如キモ、外債ハ現ニ募集シ終ッテ、國ノ債務ハ議會承諾ノ有無ニ拘ラズ、必ズ履行ヲセナケレバナラヌ而シテ又、議會承諾ノ有無ニ拘ラズ、國ノ責任ト云フモノハ、這ルコトハ出來ヌモノト致マシレバ、之ヲ提出シテ議會ノ審查ヲ請ウタトコロデ、何ノ用ヲモナサヌノデアルカラシテ、實質ニ於テハ廢止同様ノモノデアル、又此勅令ニ關スル外債ト云フモノ、募集ハ、前内閣ノ爲シタル行爲ニ係ッデ居ルノデアルカラシテ、現内閣ハ提出ノ義務ナシト云フ、即チ本員ノ質問ニ對スル答辯ノ如キ態度ヲ執ラレテモ、然ルベキ筈デハゴザイマセウカ、前内閣ノナシタルコト、雖モ、憲法ハ承諾ヲ求メト規定ラシテアルガ故ニ、當院ニ——議會ニ提出シテ承諾ヲ求メタデハナイカ又外債ハ既ニ募集シ終ッテ、今ヤ勅令ノ實質ハ空文ニ歸シテ殆ント、廢止同様ノ姿デアルケレドモ、併ナガラ憲法ガ承諾ヲ求メト規定ラシテアルガ故ニ、本院ニ向ッテ承諾ヲ求メニ來タデハアリマセウカ、然ルニ獨リ本員質問ノ勅令ニ關シテハ、現内閣ノ責任ニアラズ、現内閣ノ答辯スベキ限リニアラズ、既ニ廢止ニ歸シタルガ故ニ、提出ノ必要ナシトハ抑何タルコトデゴザイマセウカ、憲法ノ解釋ニ向ッテ、確カニ一枚ノ舌ヲ使ッタモノト云フノ外ハアルマイト思フ、併ナガラ是モ一時彼モ一時ト云フ解釋ヲ安ンジテ、諸君ガ御受取ニナルト云フコトデアリマスレバ、餘儀ナキ次第デゴザイマスケレドモ、憲法ノ解釋ハ一樣ノ意義ニ於テ致シタイト思フ又斯クナケレバナラヌ性質ノモノト思フ、前日ノ態度ト、今日ノ態度ト異ナッテ居ルト云フニ至ッデハ、本員ハ甚ダ現内閣ノタメニ惜マナケレバナラヌノデゴザイマス、序デニ一ツノ質問ヲ加ヘテ置キマデガ、元來緊急勅令ハ國務大臣ガ責任ヲ帶ビテ、機宜ノ處分トシテ發布スルモノデアッテ、決シテ陸軍大臣、內務大臣ノ所管事務デハナイノデアリマス、國務全體——國務大臣全體ノ責任デアルト云フコトハ言フマデモナイノデアリマス、然ルニ本員ノ答辯ニ關シマシテ、國務大臣總テノ名義ニ於テセズシテ、內務大臣、陸軍大臣ノ名義ニ於テ答辯セラレタルコトハ、明カニ緊急勅令ノ問題ヲ以テ陸軍內務ノ所管事務ト誤リ認メタルノ結果ニ外ナラヌデアル、宜ベナカナ是ノ如キ國務大臣、連帶責任ヲ有スルコトコロノ大問題ヲ以テ、區々タル各省ノ所管事務ト誤認スルノ結果、答辯モ亦是ノ如キ過チニ陷ッタモノト私ハ信ズル、本員昨夜來病ノ故ヲ以テ十分ナル説明ヲ致スコトハ出來マセウケレドモ、唯今ノ答辯ニ對スル——今日ノ答辯ニ對スル質問トシテハ、要領ノ盡キタモノト思ヒマス、終リニ臨ンデ一言致シテ置キタイ、憲法ハ白紙デハナイ、議會ハ木偶デハナイ、行政整理ハ或場合ニ於テ打切ルコトハ出來ルカモ知レナイケレドモ、憲法ハ決シテ打切ルコトハ出來ナイノデアリマス質問ノ趣意ハ是ダケデアリマス

○元田肇君 私ハ此際議長ニ御尋フ致シタイコトガゴザイマスガ、ソレハ外テハゴザイマセガ、先日御指名ヲ蒙リマシテ組織ニナリマシタ請願委員ノ權能ニ關スル委員會ノ經過ニ付イテ、委員會ヲ開イテ御委託ニナリタ速記録ヲ閱シテ見ルト、何分御依託ノ事項ガ明瞭ヲ缺イテ居リマス、併シナガラ吾々ノ御依託ヲ受ケタイト信ズルトコロハ、唯今讀上テマスルヤウニ考ヘマスガ、念ノタメニソレヲ確メテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ横濱露絲貿易組合長小野光景提出ノ生絲検査法案否決ノ請願外三件ヲ却下シタルノ當否如何、及之ニ附帶シ、凡ソ議案ニ對シ、可決否決ノ請願ハ之ヲ受理スベキモノナリヤ如何、此ニツテ併セテ依託ヲ受ケタルモノデアルト認メラレノデアリマスガ、多少ノ疑義ガアリマスルカラシテ、確メタイト思ヒマス、ソレヲチヨット御尋ネ致シマス

○福井三郎君 唯今元田君カラ議長ニ御尋ネノコトハ、元田君ノ朗讀ニナリマシタ通りノ意味ヲ依託セラレタモノト承知致シマス、本員等モ亦其點ガ明カニナレバ、ソレデ足リルノデアリマス

(「其通り」又「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 唯今福井君ノ御答辯ニナリタコロデ御了承ニナリタデアラウト思ヒマス、其通ノ趣意デ唯今福井君カラ御答辯ニナリマシタ御趣意ト、私モ心得テ居リマス、其通テ別ニ御異議ハナイデアラウト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第一、帝國鐵道會計法案第一讀會

(「朗讀ヲ省略ス可シ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 朗讀ハ略シマス

第一 帝國鐵道會計法案(政府提出)

第一讀會

帝國鐵道會計法案

帝國鐵道會計法案

第一條 帝國鐵道ノ事業ヲ經營スル爲從來出資シ及將來出資スル金額ヲ以テ資本ト爲シ特別ノ會計ヲ立テシム

前項ノ資本ハ本會計ノ負債トシ一般會計ニ對シ漸次償還スルモノトス但シ官設鐵道會計法第四條ニ依リ純益トシテ從來一般會計ノ歳入ニ編入シタル金額ハ利子ニ相當スル金額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ負債ノ償還ニ充テタルモノト看做ス

第二條 本會計ハ之ヲ資本勘定及收益勘定ニ區分ス

第三條 資本勘定ハ帝國鐵道建設改良ノ爲一般會計ヨリ支出スル資金及所屬財產ノ賣拂代金ヲ以テ其ノ歳入トシ帝國鐵道ノ建設改良ニ要スル費用ヲ以テ其ノ歳出トス

第四條 收益勘定ハ營業上ノ諸收入及資本所屬物件ノ貸付料並帝國鐵道用品資金會計ノ過剩金ヲ以テ其ノ歳入トシ營業上ノ諸費用及資本所屬物件ノ維持修理並補充費ヲ以テ其ノ歳出トス

第五條 收益勘定ニ於テ歳入總額ヨリ歳出總額ヲ控除シタル金額ヲ益金トシ負債ノ利子ト負債消却金トニ區分シテ之ヲ一般會計ニ納付スヘシ

第六條 政府ハ毎年帝國鐵道資本勘定及收益勘定ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 資本勘定ニ屬スル毎年度豫算殘額ハ事業ノ完成ニ至ル迄順次之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第八條 收益勘定ノ歳出額ハ豫算定額内ニ於テ實際ノ歳入及第十條ニ依ル借入金ノ合計額ヲ超過スルコトヲ得ス

第九條 收益勘定ノ歳出豫算ニハ災害事變其ノ他豫期セサル歳出ノ不足ニ應スル爲豫備費ヲ設クルコトヲ得

第十條 收益勘定ノ歳出ヲ支辨スルニ當リ歳入金不足ノ場合ニ於テハ一時一般會計ヨリ五十萬圓ヲ限リ借入ヲ爲スコトヲ得

前項借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第十一條 資本勘定及收益勘定ハ帝國鐵道用品資金ヨリ物品ヲ購入スルトキハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第十二條 本會計ニ關シ必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

官設鐵道會計法ハ之ヲ廢止ス

○恆松隆慶君 第一ヨリ第八マデ一括シテ報告アランコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 一カラ七點マデ國務大臣ヨリ説明ヲ致シマス

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 此法案ハ鐵道國有ノ問題ト、並ニ京釜鐵道買收ノ問題ガ通過致シマシタニ付キマシテハ、之ヲ經營スルタメ會計ヲ要シマスルデアリマス、別段此會計ノ方法ノ上ニ於キマシテハ、別段ナル變タコトモゴザイマセヌデスガ、唯今度ハ鐵道會計ノ損益ヲ明瞭ニ致シマシタメ、資本勘定及收益勘定ト云フモノニ區別サセマスコトニ致シマシタ、是迄ノ官設鐵道ノ收益ニ據リマシタ損益勘定ガ分リマセヌデ、唯一般會計ニ多少取除ガシテアリマシタケデ、會計ヲ計算致シマシヤウニ、資本勘定、收益勘定ノ方法ニテ居リマセヌ、然ルニ此度鐵道國有、京釜鐵道買收ノ結果ニナリマシタ、此損益ノ勘定ヲハッキリ致シテ置キマセヌト、果シテ鐵道國有並ニ京釜鐵道買收ト云フコトガ、ドウ云フ風ニ帝國ノ財政ノ上ニ現ハレルカト云フコトガ、明瞭ニナリマセヌ、ソレダケノ計算ノ組方ガ、從來ノ作業局ノ會計ト違ヒマシタケデアリマス、其他ハ總テ從來ノ作業局會計或ハ用品資金ノ會計ト同ジデ唯金額ヲ動カシタリ、其他小修正ガゴザイマス、又出納官吏ノ任命ニ付キマシテ、一時備員ヲ用井マシト申シマスノハ、是亦多數ノ私設鐵道ヲ買收致シマスニ付キマシテ、新タニ官吏ヲ使用致シマシト云フコトハ、混雜デゴザイマスガ、當分ノコロハ從來ノ取扱ニ據リマシテ、備員トシテ使用スルト云フコトデゴザイマシテ、最モ唯官吏ノ資格ト云フモノヲ備員ノ資格ト別ニシタケデアザイマス、要シマスルニ重モナル變テ居リマス點ハ、此損益ヲ明瞭ニスルタメ、資本勘定、損益勘定ヲ用井タト云フコトガ、要點デゴザイマス、殊ニ會期ガ切迫致シテ居リマス次第デゴザイマスガ、本案ノ趣旨ハ右ノ如クニ簡單ニ出來テ居リマスカラ、成ルベク審査ヲ御急下サイマシテ、此議會ニ於キマシテ、國有法案ト共ニ成立致シマシヤウニ希望致シテ置キマス

○議長(杉田定一君) 唯今日程第一ダケハ議題ニ供シテ置キマシタガ、併シ説明ハ第七マデ國務大臣ヨリ終ッダデアリマス、ソコデ矢張第一日程ヨリ第八日程マデ一括シテ、議題ニ致サウト思ヒマス、如何デゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

官設鐵道用品資金會計法中改正法律案
「官設鐵道」ヲ「帝國鐵道」ニ改ム

第一條 中「購入貯藏」ノ下ニ「及製作修理」ヲ加フ

第二條 帝國鐵道用品資金ハ從來ノ官設鐵道用品資金二百五萬圓及官設鐵道會計ノ据置運轉資本二十萬圓ヲ以テ之ニ充テ鐵道國有法ニ依リ政府カ會社ヨリ買收スル鐵道用品ノ價額ト合シ漸次増加シテ五百萬圓トス

第三條 削除

第五條 帝國鐵道用品資金會計ノ決算上該資金額ニ過剩ヲ生シタルトキハ其ノ過剩金ヲ同年度ニ於ケル帝國鐵道收益勘定ノ歲入ニ編入スヘシ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法 第一讀會
律案(政府提出)

韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案
帝國鐵道會計法及帝國鐵道用品資金會計法ハ韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ニ之ヲ準用ス但シ其ノ用品資金ハ漸次増加シテ百萬圓トス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル 第一讀會
鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ハ當分ノ內雇員ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 十八名ノ委員ヲ議長指名ニサレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ御發議、第一ヨリ第八迄ノ委員選舉ハ十八名……

○恆松隆慶君 十八名ニシテ直チニ指名アランコトヲ

○議長(杉田定一君) 十八名ノ同一ノ委員ニ付託スルト云フノデアリマスカ

○恆松隆慶君 サウデアリマス、十八名ニシテ議長指名ニシテ、直チニ指名サレンコトヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議、第一ヨリ第八マデニ至ル議案ヲ同一ノ委員十八名議長指名ニ御異議ガアリマセスカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、直チニ指名致シマス

(書記朗讀) 帝國鐵道會計法案外三件委員

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 大岡 育造君 | 征矢野 半彌君 | 鈴木 藤三郎君 |
| 木暮 武太夫君 | 景山 甚右衛門君 | 長 晴 登君 |
| 恆松 隆慶君 | 西村 貞太郎君 | 加藤 政之助君 |
| 金岡 又左衛門君 | 村松 龜一郎君 | 大戸 復三郎君 |
| 藻寄 鉄五郎君 | 岡田 治衛武君 | 安達 謙藏君 |
| 菊池 武徳君 | 富島 暢夫君 | 板東 勘五郎君 |

○議長(杉田定一君) 唯今指名ヲ致シタル鐵道會計法案外三件ノ委員諸君ハ決算委員會ニ御集リニナリマシテ、直チニ委員長理事ノ互選ニ引續イテ、會ヲ御開キニナルヤウニ致シタイアリマス——日程第九、海上衝突豫防法中改正法律案第一讀會 朗讀ハ省略致シマス

第九 海上衝突豫防法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

海上衝突豫防法中改正法律案

第八條 水先船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアルトキハ他船ニ要スル燈ヲ表示セス周圍ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ檣頭ニ掲ケ且十五分時ヲ超エサル短時ノ間隙ヲ以テ閃火一箇若ハ數箇ヲ發スヘシ

水先船ニハ點火シタル燈ヲ用意シ置キ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキハ我船ノ進行スル方向ヲ示ス爲メ短時ノ間隙ヲ以テ之ヲ表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

水先人ヲ要招スル船舶ヘ直付ケスヘキ水先船ハ白燈ヲ檣頭ニ掲グル代リニ隨時之ヲ表示シ又前項ノ燈ノ代リニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用井タル燈籠一箇ヲ手近カニ備置キ前項ノ規定ニ依リ之ヲ使用スルヲ得

免許水先人ノ業務ニ專用スル水先汽船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアルテ碇泊セサルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ増掲シ且航行中ノ船舶ニ要スル燈ヲ掲グヘシ

前項ノ水先汽船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアルテ碇泊スルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ前項ノ規定ニ依リ紅燈ヲ増掲スヘシ但シ燈ヲ掲グヘカラス

水先船其ノ營業所ニアルモ水先業務ニ從事セサルトキハ其ノ積量ニ相當スル他船ト同様ノ燈ヲ掲グヘシ

第九條 漁船ハ航行中特ニ本條ニ規定アル場合ヲ除ク外其ノ積量ニ相當スル航行中ノ船舶ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲グルカ又ハ之ヲ表示スヘシ

一 無甲板船舶即チ全部張詰メタル甲板ニ因リテ海水ノ浸入ヲ防カサル船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺以內ナルトキハ周圍ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲グヘシ

ノ水上ノ距離カ百五十尺ヲ超ユルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲ケ且我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ又ハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルトキハ其ノ白燈ノ下方ニ少クモ三尺ヲ隔テ且漁具ノ結著シタル方向ニ於テ水上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一箇ヲ増表スヘシ

第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外流シ網ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶ハ網ノ全部又ハ一部水中ニ投下シアル間ハ最モ見得易キ所ニ白燈二箇ヲ掲ケヘシ此ノ兩燈ハ上下ノ距離六尺ヨリ少カラス十五尺ヨリ多カラス且龍骨線ニテ測リタル前後ノ距離五尺ヨリ少カラス十尺ヨリ多カラサル様其ノ一燈ヲ他燈ノ下方ニ裝置シ其ノ下燈ハ網ノ方向ニ掲ケヘシ此ノ兩燈ハ周回少クモ三海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

總積量二十噸未満ノ帆走漁船ハ地中海及日本國並韓國ノ沿海ニ於テハ必シモ兩燈中其ノ下燈ヲ掲ケルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ同一ノ位置(網又ハ漁具ノ方向ニ於テ)ニ表示スヘシ

第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外延繩ヲ用井テ漁業ニ從事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之ヲ曳入ル船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ停留セサルモノハ流シ網ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶ト同一ノ燈ヲ掲ケヘシ其ノ延繩ヲ延ヘ又ハ曳繩ヲ用ウルモノハ其ノ船ノ種類ニ應ジ航行中ノ汽船又ハ帆船ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲ケヘシ總積量二十噸未満ノ帆走漁船ハ地中海及日本國並韓國ノ沿海ニ於テハ必シモ兩燈中其ノ下燈ヲ掲ケルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ同一ノ位置(釣繩ノ方向ニ於テ)ニ表示スヘシ

打タセ網(總テ海底ニ漁具ヲ曳クモノヲ包含ス)ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

甲 汽船ハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ三色ノ燈籠一箇ヲ掲ケ尙其ノ下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一箇ヲ増表スヘシ此ノ三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正横後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及スヘク製造シ且裝置スルヲ要シ又白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタルモノタルヲ要ス

乙 帆船ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタル白色ノ燈籠一箇ヲ掲ケ且他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メ最モ見得易キ所ニ白色ノ閃火又ハ炬火一箇ヲ表示スヘシ

甲及乙ニ規定シタル諸燈ハ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

桁網ヲ用井テ牡蠣採取ニ從事スル船舶其ノ他桁網ヲ用井テ漁業ニ從事

五

スル船舶ハ打タセ網ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶ト同一ノ燈ヲ掲ケ及之ヲ表示スヘシ

六 漁船ハ本條ニ規定シタル燈ヲ掲ケ及之ヲ表示スル外何時ニテモ閃火ヲ用井且漁業用ノ燈火ヲ用ウルヲ得

七 長サ百五十尺未満ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲ケヘシ

八 長サ百五十尺以上ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ掲ケ且第十一條ニ規定シタル白燈一箇ヲ増表スヘシ

九 長サ百五十尺未満ナルト百五十尺以上ナルヲ問ハス碇泊中ノ漁船漁網其ノ他ノ漁具ヲ結著シタルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルトキ碇泊燈ノ下方少クモ三尺ヲ隔テ且漁網其ノ他ノ漁具ノ方向ニ於テ水上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一箇ヲ増表スヘシ

十 漁船漁業ニ從事中漁具ノ岩礁其ノ他障礙物ニ纏著シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ第十二條規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其ノ他暴雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲スヘシ(第十五條第四項及末項參照)

十一 霧中降雪其ノ他暴雨中流シ網ヲ打タセ網桁網又ハ延繩ヲ用井テ漁業ニ從事スル總積量二十噸以上ノ船舶ハ汽船ニアリテハ汽笛若ハ汽角帆シ之ニ續キテ號鐘ヲ鳴ラスヘシ總積量二十噸未満ノ漁船ハ必シモ此ノ信號ヲ爲スヲ要セス然レトモ之ヲ爲ササルトキハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ適宜他ノ有效ナル音響信號ヲ爲スヘシ

十二 網延繩又ハ打タセ網ヲ用井テ漁業ニ從事スル船舶航行中晝間ニアリテハ最モ見得易キ所ニ籃其ノ他ノ信號ヲ掲ケ近寄リ來ル他船ニ其ノ漁業中ナルコトヲ表示スヘシ若シ碇泊中ノ船舶漁具ヲ投下セルトキハ他船ノ近寄リ來ルトキ同様に信號ヲ他船ノ航過シ得ル舷側ニ於テ表示スヘシ

本條ニ依リ特ニ規定シタル燈ヲ掲ケ又之ヲ表示スルヲ要スル船舶ハ第四條第一項及第十一條末項ノ燈ヲ掲ケルニ及ハス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員仲小路廉君登壇)

○政府委員(仲小路廉君) 唯今提出ニナリマシタ海上衝突豫防法中改正法律案ノ趣旨ハ、此度英國政府ヨリ水先船及漁船ノ燈火ノコトニ關シマシテ、海上衝突豫防法中改正シタイト云フコトニ付イテ、我政府ヘ同意ヲ求メテ參リマシタノデ、我政府ニ於テモ、其條項ニ付イテ細密調査ヲ致シマシタトコロガ、何レモ適當ナモノデアル、且同法ハ性質上各國共通ノモノデナケレバナラヌカラ、茲ニ此改正案ヲ提出シタ譯デアリマス、會期モ切迫シテ居ル今日デアリマスカラ、甚ダ恐入リマスガ、英國政府ニ於テモ、此案ハ本年五月ヨリ實施シタイト云フコトデ、參ッテ居リマスカラ、相成ルベクハ速ニ協賛アラントコトヲ希望シマス

○長谷場純孝君 本員ハ此場合ニ於テ緊急動議ヲ提出致シマス、臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案……

(八)

○議長(杉田定一君) チョット御待チ下サイ、之ヲ極メマシテ
○長谷場純孝君 即チ海上衝突豫防法案ノ議事中デアリマスガ、此議事ヲ中止シテ
置イテ、此今ノ緊急ノ動議ノ案ヲ議シタイ、是レ此緊急動議ヲ起ス所以デアリマス

○議長(杉田定一君) 是ハ委員付託ガ直グニ濟ミマスカラ
○長谷場純孝君 モウ一ツ之ヲ委員付託ニシタイカラ、此場合ニ起ス所以デアアル、既
ニ各派ト交渉ノ上、委員ノ選定モ定メテ居リマスカラ、此場合ニ之ヲ委員ニ付託サレン
コトヲ望ミマス

○恆松隆慶君 ソレハ委員ノ都合ナレバ、御便利上今ノ緊急動議ヲ容レラレンコトヲ
望ミマス、ムツカシイ問題デアリマセウカラ

○議長(杉田定一君) 唯今長谷場君ノ緊急動議、日程第九ガ茲ニ掛ッテ居リマス
ガ、此議事ヲ中止シテ、サウシテ臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ヲ緊急動議トシ
テ、日程ヲ變更シテ議シタイト云フノデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 又「異議アリ」ト呼ビ議場騒然タリ
○議長(杉田定一君) 又「何ノ案デスカ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 斯ウ云フノデアリマス、唯今長谷場君ノ決議ハ日程第九海上
衝突豫防法中改正法律案議事ヲ中止シテ、臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律
案ヲ緊急動議トシテ、日程ヲ變更シテ議シタイ、斯ウ云ハレルノゴザイマス

○議長(杉田定一君) 又「異議アリ」ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 又「異議アリ」ト呼フ者アリ

○三井忠藏君 此事ニ付イテ意見ヲ述ベマス、異議ガアリマス
○議長(杉田定一君) 此緊急動議ハ討論ヲ須非スシテ採決シマス、長谷場君ノ發議
ノ第九ノ日程ヲ中止シテ、日程ヲ變更シテ、臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案
ヲ議スルト云フニ同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數
○議長(杉田定一君) 又「少數」ト呼ビ議場騒然タリ

起立者 多數
○議長(杉田定一君) 少數ノヤウニ思ヒマスガ、反對諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(杉田定一君) 反對ノ方ガ多數ノヤウニ思ヒマス
○議長(杉田定一君) 反對ノ方ガ多數ノヤウニ思ヒマス

○議長(杉田定一君) 日程第十、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマ
ス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○本出保太郎君 是ハ此委員議長ノ指名ニ御任セ致シマス

○議長(杉田定一君) 何名デス——人數ハ何名デス
○本出保太郎君 九名

○議長(杉田定一君) 九名ノ委員ヲ議長指名ニ御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

カラ、思フニ御賛成ガナカッタウト思ヒマス(然リ「ト呼フ者アリ」)故ニ更ニ此場合
ニ於テ緊急動議ヲ提出致シマス
○議長(杉田定一君) 贊成々々「ト呼フ者アリ」

○議長(杉田定一君) 長谷場君ヨリ臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案、之ヲ緊
急動議トシテ、日程ヲ變更シテ議スルト云フ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、之ヲ問題ト致シマス議案ノ朗讀ヲ省
略致シマス

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出貴族院 第一讀會
送付)

○議長(杉田定一君) 九名ノ委員、議長指名
○議長(杉田定一君) 又「異議アリ」ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ發議通り、九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ御
異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 又「異議アリ」ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 直チニ委員ヲ指名致シマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス
○議長(杉田定一君) 質問ガアリマス

第十一 國債ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

岡田治衛武君登壇

○岡田治衛武君 國債ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及議事ノ顛末ヲ報告致シマス、極メテ簡單ニ報告ヲ致シマス、本法ハ是マデ公債ノ取扱ト云フモノハ、整理公債條例ノ外ハアリマセヌノデ、近來多ク公債ノ發行ニナルニ付イテハ、其取扱ノ根本法ヲ定メタイト云フノガ大主眼ニナリテ居リマス、其根本法ニ依リテ、從來ノ無記名記名ノ公債ノ外ニ、尙登錄公債ト云フモノヲ設ケル、而シテ其公債ノ所有者及第三者ノ便宜ヲ圖ルト云フノガ眼目ニナリテ居リマスノデ、大體ニ於テ目下ノ形勢必要ナル法案ト認メマシタノデ、委員會ニ於テハ、サシタル反對モアリマセヌカッタノデアリマス、併シ其中デ唯此登錄簿ノ閱覽ヲ國民ノ權利トシテ、何人ニモ許サセヤト云フコトニ付イテ、多少ノ議論ガアッタノデアリマスガ、是ニ對シテ政府ノ答辯ハ本法施行ノ前ニ當リテ、是等ハ十分ニ便宜ヲ圖リテ、其質問ノ趣旨ニ適フヤウニスルコト云フコトノ最モ明瞭ナルトコロノ答辯ガアリマシタノデ、委員會全體ニ於テ満足ヲ表シマシテ、即チ一人ノ不同意者モナク、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ次第デアリマス、斯様ナ譯柄デアリマスルニ依リテ、本會ニ於テモ何卒全會一致ヲ以テ御可決アラント希望致シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○長谷場純孝君 直チニ二讀會ヲ開クベシ

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

國債ニ關スル法律案

○議長(杉田定一君) 委員長ノ報告通り、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長ノ報告通り決シマス

〔直チニ二讀會ヲ開クベシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス直チニ二讀會ヲ開キマス、二讀會決議通御異議アリマセヌカ

國債ニ關スル法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、日程第十二、十三ハ同一委員ニ付託シテアリマスルデ、併セテ委員長ヨリ報告ヲサセマス、江原素六君

第十二 宅地地價修正法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

〔江原素六君登壇〕

○江原素六君 諸君、宅地地價修正法案ハ數回ノ審議ヲ遂ゲマシテ、多少ノ修正ヲ經マシテ、決議致シマシタ、即チ御手許ニ修正ハ配付ニナリテ居リマスカラ、既ニ御了承トハ存ジマスケレドモ、一應修正ノ條項ヲ申述セマス、第一條、第二條ハ政府案ノ通りデアリマス、第三條ノ二項中ニ「賃貸價格ノ十倍」トゴザイマスルヲ、八倍ト修正ニナリマシタ、其但書「賃貸價格ノ十倍」ガ現在ノ地價ノ二十倍ヲ超ユル云々ト云フ制限ヲ取リマシテドモ平均ニ徵收スルコト云フ主義ニナリマシタノデアリマス、ツレカラ第四條ノ第二號「三十日」トゴザイマスルヲ「六十日」ト致シマシタ、又四號中ノ「十日」ヲ「二十日」ト改メマシタノデアリマス、或論者ハ或ハ九十日或ハ三十日ト云フヤウニ議論モゴザイマシタガ、餘リ長キニ失スルノハ、却テ結果ヲ誤ルコトガアルカモ知レマセヌカラ、政府「三十日」ヲ「六十日」ト倍ニ致シマシタノデアリマス、而シテ「十日」ヲ「二十日」ト云フ倍數ニ修正ヲ致シマシタ、此第五條ハ政府案ノ通り、第六條ノ二項中ニ「調査委員ノ定數ハ七人」トゴザイマスルヲ「十人」ニ改メマシタノデアリマス、而シテ其但書ニ「地方ノ狀況ニ依リ命令ヲ以テ之ヲ増減スル」ト云フコトデアリマスガ「減」ヲ止メマシテ、增加スルコトヲ得「修正ニナリマシタ、第七條ハ政府案ノ通り、第八條ノ「調査委員選舉人ノ定數ハ其ノ選舉區域內ニ於テ宅地ノ地租ヲ納ムル義務アル者百人ニ付」トアリマスルヲ「五十人ニ付一人」ト致シマシタノデアリマス、又義務者千人以上ナルトキハ八十人ニ止メ「トアルヲ増シテ」二十人ニ義務者百人未滿ナルトキハ一人ト申ス「百人」ヲ「五十人」ニ改メマシテゴザイマス、第九條、第十條、第十一條ハ政府案ノ通り、第十二條ノ「稅務署長ハ其ノ決定シタル賃貸價格ニ依リ修正地價ヲ定メ之ヲ市町村長ニ通知ス」ハ市町村長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ市役所又ハ町村役場ニ於テ二十日間其市町村內ニ於テ宅地ノ地租ヲ納ムル義務アル者ノ縱覽ニ供スヘシ「其次ノ二十日」ヲ「三十日」ト改メマシテゴザイマス、唯今讀ミマシタハ間違ヒマシタ、第十三條デアリマス、第十三條ノモ「二十日」トアルヲ「三十日」ト改メタノデアリマス、修正ノ條項ハ是デケデゴザイマスルガ、此案ノ議論ノ要旨ハ、政府ヨリ提出ニナリマシタトコロノ參考書ガ、頗ル杜撰ダト云フコトカラ、若モツレヲ標準ニサレテ、地價ノ修正ヲ實施サレマシタナラバ、非常ナル偏重偏輕ヲ生ジハセヌカト云フ疑問モゴザイマシタ、而シテ政府委員ノ答辯スルトコロニ依リマスレバ、此案ハ増徴ノ目的ニアラス勿論増減ノ目的ニアラスニテ、歸スルトコロハ是迄千六百二十萬圓ノ宅地ノ負擔ヲシテ、平均ナラシムルノデアリマスツレ故ニ種々ナル丁寧ナ方法ヲ設ケテ、勉メテ偏輕偏重ヲ避クルノデアルト云フノデアリマス、ツレ故ニ彼ノ參考書ヲ基礎トシテドモモヤル譯デアリマシタ、新タニ未項ニ第二十三條ヲ加ヘタノデアリマス、即チ其第二十三條ハ「第三條ニ依リ修正シタル地價總額ニ依ル地租總額ガ千六百二十萬圓ニ對シ其ノ百分ノ五以上ノ差額ヲ生ジタル時ハ修正地租總額ヲシテ該金額ニ接近セシムル爲メ按分増減シテ修正地價ヲ定ム」ト云フ條項ヲ明カニ加ヘタノデアリマス、即チ今日ノ千六百二十萬圓ヨリハ餘計モ取ラナケレバ、少ナクモ取リマセヌガ、併シ實地ニ於キマシテ差ガ生ジマシテ、其差ガ若シ百分ノ五以上デゴザイマシタナラバ、按分比例ニ據リテ、是ガ平均ヲサセルト云フノデアリマシテ、之ヲ明カニ條項ニ加ヘタノデアリマス、序デナガラ諸君ノ御許可ヲ受ケマシテ、是ニ添ウテ居リマスル市制又ハ區制施行內ノ有租地ニ關スル法律案モ御報告シテ宜シウゴザイマスカ(〔異議〕ナシト呼フ者アリ)此案ハ何等ノ異論ナク、全會一致ヲ以テ通過致シタノデアリマス、又唯今附加ヘテ申上ゲマスルコトハ、委員會ニ於キマシテハ、少數意

見ヲ提出スルト云フ豫告ハゴザリマセヌアシタガ、唯今藤君ヨリ少數意見ノ出ルヤニ承ッ
タノアゴザリマス、是ハ前々ノ例ガゴザリマスルカラ、差支ナイト思ヒマスノデス、此段御報
告申上ゲマス

○議長(杉田定一君) 藤金作君

(藤金作君登壇)

○藤金作君 私人宅地々價修正法案ニ對シテ、修正意見ヲ提出致シマス、本案ハ委
員長ヨリ報告ニナリマシタ如ク、政府案ニ對シテ修正案ガアデ、其修正案ガ多數デ
ザイマシテ、少數者ハ二十名ニ對スル十五名、私ハ少數者ノ意見トシテハ、本案ハ政
府ガ提出致シタルトコロノ法文ハ固ヨリ、又其別表トシテ十分確カナル書類、即チ各府
縣ノ宅地地價並ニ賃賃價格等ノ確實ナル書類ヲ提出致スベキモノ、政府ガ本會ニ
提出致シタルトコロノ參考書類、別表ノ如キハ、少シモ認ムベキモノガゴザリマセヌ、之ヲ
數回ノ委員會ニ於テ質問致シマスレバ、政府委員ハ結局ニ於テ、此參考書類ハ十分
信用ヲ置イテ居ナイト云フトコロノ趣意ヲ以テ、答辯ヲ致シマシタ故ニ、委員會一同ハ
政府ノ參考書類ハ少シモ價值ナイト云フトコトハ、贊成者モ反對者モ皆認メテ居リマス、
故ニ少數者一同ハ、本期ニ於テハ之ヲ否決シ、政府ハ十分ナル下調ヲ以テ次期議會
ニ確實ナル案ヲ立テ、宅地々價修正法案ヲ提出スルヤウニスベシト云フ意見ヲ付ケマシ
テ、遂ニ二十ニ對スル十五デ、私共ノ意見ハ行ハレヌアゴザリマス、又私ハ別ニ意見モア
リマスケレドモ、ソレハ反對演説ノ順序ニ依リマスカラ、此際演説ハ出來マセヌノハ、遺
憾デアリマス、簡單ニ少數者ノ反對ノ趣意ダケヲ茲ニ述ベマシテ、後トヨリ追々反對者
ノ演説ガアルデゴザリマセウ

○大岡育造君 唯今ヨリ鐵道特別會計外二件ニ關シテ、委員會ヲ開キナイト思ヒマ
ス

○議長(杉田定一君) 鐵道特別會計法外二件ノ委員會ヲ開クト云フトデアリマス
ガ、許シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシノ聲起ル)

○大岡育造君 此宅地地價ノ決議ノトキニハ、御知ラセテ願ヒマス

(「神前修三君登壇」)

○神前修三君 諸君、私ハ此地價修正ニ對シマシテ、反對ヲ致ス者デアリマス、然ル
ニ此地價修正ト云フ事柄ハ、昨年本會ガ満場一致ヲ以テ建議ヲ致シタ事柄デアリマ
ス、其事柄ガ茲ニ現ハレテ來マシテ、此演壇ニ登ッテ反對致シマスハ、誠ニ遺憾デア
ルデアリマス、併ナガラ昨年本會ヨリ建議致シマシタノハ、市街宅地ノ地價ヲ修正セラ
レト云フ、斯ウ云フ建議デアリマシタノデアリマス、然ルニ今同政府ガ提出セラレマシ
タ案ヲ見マスレバ、市街郡村共ニ合セテ修正スルト云フ案ニナッテ居ルノデゴザリマス、是ニ於テ
本案ニ反對セザルヲ得ヌコトニナルデアリマス、本案ハ全國ノ賃賃價格ヲ取調ベ、而シ
テ其賃賃價格ニ依リマシテ、其十倍ノ地價トスル、其地價ニ依ッテ、二分五厘ヲ徵收
セントスル案デアリマス、然ルニ諸君モ御承知ノ通り、賃賃價格ハ市街地ニアッテハ、大
要分テハ居リマスガ、郡村宅地等ニ於テハ、殆ドナイト云ウテ宜イ位ノモノデアリマス、
偶アリマスルナレドモ、或ハ千五百中ノ一カニヨリナイト云ウテ宜イデアリマス、然ルニ本案
ハ悉ク賃賃價格ト云コトニ致シテ、然シテ之ニ課稅致サント云フ趣意ニ出來テ居ルノデア
リマス、然シテ政府ノ豫定スルトコロハ、全國ノ賃賃價格ハ千四百八十圓ト云フトコトニ
致シ、其外ニ現在ノ地價ノ十倍以上ヲ起スモノ、凡ソ一億萬圓ト云フ豫算ヲ取調ベ、
此ニツキ基礎トシテ、此本案ノ賃賃價格十倍ノ基礎トシ、其賃賃價格ハ現在地價額
ノ二十倍以上ニナルモノハ、之ヲ切捨テルト云フ法案ヲ提出サレタノデアリマス、併ナガ

(參照)

宅地地價修正法案都市比較表

(一)	
郡村現	在
地價	地租
八圓	三圓
錢	圓
三圓	八圓
廿錢	錢
八圓	一圓
錢	圓
一圓	二圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓
圓	圓

右ノ如ク郡村現在ノ地價一圓ハ修正地價三圓二十錢トナリ市街地價一圓ハ修正地價八圓トナルト
キハ修正地租ニ各増減ナシ

(二) 一 圓 八 錢 一 八 圓 二十 錢 一 圓 二十 錢 一 圓 二十 錢
右ノ如ク郡市ノ地價一圓カ各八圓トナル時ハ郡村ハ十五割ヲ増シ市ハ増減ナシ

(三) 一 圓 八 錢 一 五 圓 二十 錢 一 圓 二十 錢 一 圓 二十 錢
右ノ如ク郡村地價五圓トナル時ハ四錢五厘増市地價五圓トナル時ハ七錢七厘減
要スルニ郡村ノハ市街ノ二十割ヲ撤シ同率ノ二箇半トスル爲ニ郡村ハ二十二割ヲ減シ市街ハ七
割ヲ減スルニヨリ此間四十八割ノ差アリ而シテ市街ニ反對ノ聲高ク郡村ニ反對ノ聲低キハ頗ル
奇ト云フヘシ畢竟市民ハ計算ニ敏捷ナリ郡村民ハ萬事權和ニシテ感覺ニ乏シキカ故ナリ

宅地地價修正法案摘要(據政府提出參考書)

藤 金 作 調 査

一 增租地十六縣 一 減租地三十縣 其差十四縣 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地府縣名及増租額(市及郡村共)左ノ如シ 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

一 增租地 一、五九一、四五四圓 一 減租額 一、五二二、二四六圓 差引増租額 六九二二二圓

○谷澤龍藏君登壇(谷澤龍藏君登壇)
諸君、私ハ此宅地地價修正法ハ委員長ノ報告ニ賛成ヲ表スルノデアリ
マス、是ハ政友會ナリ本黨ナリニ於テ、黨議ヲ御定メニテ居ルノデスカラ、私共喋々
ヲ須井マセヌノデアリマス、併ナガラ私ハ此所ヘ出マシタ以上ハ、私ハ簡單ニ賛成ノ意ヲ
表スル要點ヲ述ベヤウト思ヒマス、私ハ第一宅地地價ハ不公平ニナッテ居ル、第二此
宅地地價修正ハ建議ニ基イテ提出セラレタモノデアリマスカラ、是ヲ否決スルトカ、延期ス
ルト云フコトハ穩ナラヌト思フコト、第二ニハ此反對論者ハ唯今神崎君ノ御述べノ如キ
ハ、事枝葉デァッテ、決シテ大體ヲ動スベキモノデアリト云フニ點ヲ以テ、是ニ賛成ノ意ヲ
表サウト思フ、第一ニ稅ハ公平均一ヲ旨トシマシテ、偏重偏輕ト云フコトヲ思フノデア
ル、然ルニ宅地地價ト云フモノハ、明治初年ニ出來マシテ、殆ド三十年ノ間、其儘ニナッ
テ居ルノデアル、故ニ先ヅ收獲金、其他ノ變動ニ依リマスハ、雖モ、地ノ繁閑冷熱ノタ
メニ、非常ナル變動ヲ來シテ居ルノデアリマス、一倍或ハ二倍、殆ド五十倍、百倍ニナッ
テ居ルトコロノ不公平ヲ來シテ居ルト云フコトハ、諸君モ御認メニナッテ居ルノデアル、故ニ
此不公平ヲ矯ムルト云フコトニ付イテハ、諸君ハ御同意ノコト、思フ、故ニ昨年建議ヲ
致シテ、滿場一致ヲ以テ此地地價修正ノ決議ヲ致シタ、是ニ基イテ政府ハ此案ヲ
出サレタ故ニ、唯今神崎君ノ述べタル、如ク、市街地ノモト云フコトデアッテ、郡村ノ宅
地ノコトハ入レテナイト云フコトナラバ、ツレハ御修正ナサルガ宜カラウ、之ヲ以テ反對ス
ルトコロノ理由トハナラヌデラウト思フ、第三ニ反對論者ノ述べタル、トコロハ枝葉ノ議
論デ、先ヅ大體ニ於テ賃貸價格ヲ標準トスルヤ否ヤ、是ガ果シテ標準トスルト云フコト
デアレバ、此標準ハイクラガ相當デアル、先ヅ我國ニ於テ、賃貸價格ノ標準ハイクラニナ
ルト云フコト、二十倍ニ取ッテ居ル、併シハ是ハ激變デアルカラ、此修正ノ如ク八倍トスル、
或ハ十倍ノ地價ノアル限リハ、其中ニ増スモノモアリ、減ラスモノモアッテ、此點デケラ定メ、
或ハ十倍ニスルトカ、八倍ニスルトカ云フデケノ問題デアル、ツレハ八倍ニスルトカナラ
バ、他ニ議論ガ無キ筈、之ニ反對シテ或ハ政府ノ出シタ參考書ガ不完全デアル、政府ハ
各稅務署ニ對シテ、種々ノ取調ヲシテ、本期ニ出ストコロノ標準ヲ見タモノデ、此標準ガ
不都合ガアッデモ、實行スルトコロニ至レバ如何ニナルカ分ラヌ、之ヲ捉ヘテ此參考書ガ
不完全デアルカラ、本案ニ對シテ賛成ガ出來ナイトハ、殆ド譯ガ分ラナイ、賃貸價格ハ
十トスルカ、八トスルカ止マル譯デ、殆ド枝葉デアリマス、然ラバ是位ノ調ガ出來ヌカ
ラ、之ニ依ッテ反對スルト云フコトハ、私共ハ殆ド枝葉ノ議論ト思フ、故ニモウ他ノ議論
ハ要ラナイ、要スルニ枝葉ノ議論デアル、故ニ公平ヲ保ッ——諸君ガ不公平デアルト云
フコトナラバ、改ムルハ當然デアル、不公平ノモノヲドモ維持スルト云フ精神ナラ、
吾々ハ何モ言ハヌ(演壇ニ登ル必要ハナイト呼フ者アリ)故ニ吾々ハ不公平ヲ修正スル
タメニ此案ノ可決ヲ望ミマス、唯是デケ……

○議長(杉田定一君) 尾形兵太郎君
(藤金作君)今ノ賛成者ニ質問ガアリマス「ト呼フ」

(尾形兵太郎君登壇)
尾形兵太郎君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

○議長(杉田定一君) 谷澤龍藏君
谷澤龍藏君 今モ此案ニハ反對スル一人デアリマスガ、會期モ切迫致シテ居リ、
事理モ明白デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ述ベマセウ(「詳シク言給ヘ」ト呼フ者アリ)政
府ノ説明ニ依リマシテモ、亦反對論者ガ二十三條ト云フ條項ヲ加ヘラレマシタ趣意ニ
依リマシテモ、宅地地價ノ租稅ノ額ガ、千六百二十萬圓ト云フ戰時稅額ヲ標準トセラル
ルコトデアル、私ハ負擔ノ公平不公平ヨリモ、今此際ニ於キマシテ、此千六百二十萬圓
云フ宅地ノ負擔ヲ進ンデ甘ズルト云フコトガ氣ニ入ラヌデアル(「大ヒヤ」ト呼フ

者アリ、笑聲起ル。御承知ノ通りニ戰時ノ財政トカ、戰時ノ稅額トカ云フモノハ、戰後ノ財產ト戰後ノ稅額ト云フモノハ、全ク區別ヲ置カシメバナルミト思フ、所ガモウ唯今ニ於テ既ニ戰時ノ稅額ノ千六百萬ヲ進シテ甘シムルコト云フ論者ハ、所謂戰時ノ稅額モ、戰後ノ稅額モ混同シテ言フモノトコロ、誤謬ノ意見デアリト私ハ信ズル(然リ)。ト呼フ者アリ。ソレレ戰後ノ財政ト云フモノハ、總理大臣ガ豫算委員會ニ於テ決定マラナイ、或ハ滿韓其他諸般ノ處置ガ定マラナイ故ニ政府モ其政策ハマダ極メルコトガ出来ヌト云ハル、即チ次期議會會マデ立派ニ極メテ御覽ニ入レルト云フコトヲ明言セラレタ、故ニ今日マダ此戰後ノ財政ガ極メテ居ナイ、ソレカラ又戰後ノ稅收ハドウデアラカト云ハ、是ハ大藏大臣ガ二箇年ノ間ニ於テ、之ヲ取定メル、而モ調査委員トカ云フモノヲ置イテ、能ク審議スルコト言ハレタノデゴザイマシテ、マダ此稅收ト云フモノモ定マラナイノデゴザイマシテ、是ノ如ク財政モ定マラズ、又稅收モ定マラナイノ、獨リ此市街郡村ノ宅地ノ稅收ニ付イテ、戰時同額ノモノヲ甘シムルコト云フコトハ、最モ不當ナルトコロノ處置デアラウト考ヘマスル(ヒヤ)。ト呼フ者アリ。故ニ先ツ戰後ノ財政モ定マリマシテ、戰後ノ稅收モ定マリマスト同時ニ之ヲ定メテ宜シイデアル(ヒヤ)。ト呼フ者アリ。テ若シモ戰後ノ財政ノ上ニ於テ、或ハ整理ノ結果ト致シテ、海陸軍費等ガ五年ノモノガ八年ニナルトカ、若クハ十年ニナルトカ致シタラバ、千六百萬ハ、千二百萬ヲ濟ムカモ知レヌ(ヒヤ)。ト呼フ者アリ。故ニ負擔ノ公平トカ、不公平トカハ、第二ニシテ、先ツ此戰時稅額ヲ此處デ認ムルコト云フコトガ、私ハ大間違デアラウト、之ヲ否決シテ一年延バスト云フデアル(ヒヤ)。ト呼フ者アリ。モウソレレ宜イデアラウトト呼フ者アリ。モウ措カウカ、併シモ今贊成論者ノ谷澤君ガ、二ツノ議論ヲ以テ此本案ノ通過ヲ計ラレマシタカラ、之ニ對シテ私ハ聊カ辯駁ヲ加ヘテ置カウト思フ(論ズルニ足リナイ)ト呼フ者アリ。足リナイケレドモ言フノデス、反對論者即チ本案贊成論者ハ自分ノ議論ニ反對論者ノ言ハル、ノハ、公平ニセネバナラヌ、負擔ヲ公平ニセネバナラヌカラ、縱令市ガ一圓ノモノガ百圓ニ殖ヤウガ、收入ガ郡ヨリモ餘計アレバ、則チ稅ガ百倍ニナラウガ、是ガ即チ公平、是ガ即チ純理デアル、斯ウ言フガ一ツノ贊成論者ノ旗印デアル、所ガ左様ニ政治ト云フモノガ、純理ヲ以テ基礎ト致シマスルモノナラバ、谷澤君ニ尋ネルガ、全體過日何故鐵國問題ニ贊成セラレタデアラカ(ヒヤ)。ト呼フ者アリ。百年ト云フモノヲ許シテ置イテ、五十年間過ギタナラバ、政府ガ國有ニスルモ知レヌト云フコトノ條項ノ下ニ許シタガ、之ヲ即チ五十年經テ、ヌノニ政府ガ買收スルコト云フ案ヲ贊成セラレタノガ、純理デアラカ、政治ニハ純理ノ行ハレナイト云フコトハ、是デ分ル、非純理ナモノヲ贊成シテ居ルデハナイカ、而シテ此地價修正ニ限リテ、純理ヲト云フハ、是ハ反對論者ノ議論ガ間違ッテ居ルト云フコトハ明カデアル(免ニ角ヒヤ)。ト呼フ者アリ。ソレカラモウ一ツハ、斯ウ云フコトヲ言フノデアル、昨年此地價修正ト云フコトハ、衆議院ガ即チ建議ヲシタナヤナイカ、己ガ之ヲ請求シタナヤナイカ、己ガ請求シテ置イテ、政府ハ其公約ヲ履行スルコト云フ趣意ニ於テ出シテ來タ、ソレヲ今度又衆議院ガ己ガ請求シタ案ヲ又否決スル、ソレナ無茶苦茶ナコトハナイ、公約ヲ無視スルカラ怪シカラヌト云フノデ、之ヲ贊成シヤウト云フノガ、第二ノ議論ダラウ、所ガ吾ガ現内閣トハ少シモ公約ヲシタコトハナイ、前内閣ト公約ヲ致シタコトハアル、所ガ其前内閣トハ公約ハ今日ノ原案ノヤウナ杜撰ナルモノヲ契約シタナヤナイデアル(ヒヤ)。ト呼フ者アリ。其際ハ吾ガ會稱大臣ニ向ッテ、宅地ガ二箇半トカ三箇半トカ云フ時分ナラバ、ソレハ東京ノ町ニ原野ガアッテ、一錢六厘ノ地價デモ堪ヘマスケレドモ、之ガ二十倍ト云フコトニナリマスル、不公平ノ溝ガ深クナルカラ、此二十倍ト云フヤウナ率ヲ上ゲルト同時ニ、地價修正ヲ同時ニヤデ貰ヒタイ、

(討論終結)「贊成々々」ト呼フ者アリ

○遠山正和君 私ハ委員長ノ報告ニ贊成スル者デゴザイマス、ソコデ贊成ノ理由ヲ簡單ニ述ベマスルニ御清聴ヲ願ヒマス、此宅地ノ地價ノ不公平ニナラヌ居ルト云フコトハ、諸君、皆御認メニナラヌ居リマスルコトデアリマスルニ、今更私ガ之ヲ喋々述ベル必要ハゴザイマセヌガ、併シ之ヲ改正スルコトコロノ時期ト云フモノハ、最モ大切ナルモノデゴザイマセウト考ヘマス、抑納稅ノ義務ト云フモノハ、國民無論アルモノデゴザイマスルガ、併シ是ガ國ノ進運ニ伴フテカラニ、稅額ノ段々増シタルコト云フモノモ、是モ萬已ムヲ得サル次第デゴザイマシテ、國民ハ之ヲ負擔セシメラナラヌノデゴザイマス、然レドモ同一種ノ租稅ニ致シマシテ、共同一種ノ租稅ガ、甲ニハ大變重キ負擔ヲサセ、乙ニハ大變少ナキ輕キ負擔ヲサセルト云フノハ、抑收稅ノ原則ニ背クノデゴザイマス、此實地地價修正致シマシタル明治六年ニ、抑收稅ノ原則ニ背クノデゴザイマス、此實地地價修正致シマシタルイマスガ、是カラ物變リ星遷リマシテ、段々時世ガ變遷ヲ致シマシテ、殆ド三十年ノ星霜ヲ經マシタ今日デゴザイマス、宅地ニ於キマシテハ或ハ鐵道停車場ガ出來マシタリ、或ハ師團ヲ設置セラレタリ、或ハ又或官衙ガ出來タトカ、工場ガ出來タトカ云フガタメデス、種々ノ變動ヲ來シテ、自カラ宅地ノトコロモ大變ニ變動ヲ來シテ居ルコトガアリマス、チヨット例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、此東京デゴザイマス、明治ノ初年ニハ、如何ノ狀況デゴザイマシタカ、或ハ淺草、麹町、赤阪、麻布、是等ノ土地ハ一坪ガ漸ク二圓カ三圓位ノモノデ、ソレモ賣人ハアッテモ、買人ガナイト云フヤウナ狀況デゴザイマシタ、ソレガ今日ハドウデゴザイマス、一坪ガ三十圓五十圓ト云フヤウナ賣買ニナルト云フヤウナ狀況デゴザイマス、是ハソレレデ即チ土地ガ繁榮ヲシタノデゴザイマス、土地ガ繁昌ヲシタノデゴザイマス、又田舎ニ於キマシモ本員ガ住スルコトコロノ香川縣デゴザイマス、一例ヲ舉ゲマスガ、香川縣ニ本員ノ住スルコトコロノ近傍ニ善通寺村ト云フガアル、是ハ諸君御承知ノ通、弘法大師ノ誕生セラレタコトコロノ歴史ノ土地デゴザイマス、ソコニ誕生寺ト云フ寺ガ、一箇寺アッテ、實ニ寒村デゴザイマシタ、寒村僻地デゴザイマシタトコロガ、明治三十年ニ至リマシテ、十一師團ヲ置カレマシテ(九龜カラ何里アリマス)ト呼フ者アリ笑聲起ル九龜カラ一里半デ、ゴザイマス、師團ヲ置カレマシタガタメニ、一段ノ宅地ガ鉦米ガ八斗カ一石位デ、從前ハアッタコトコロガ、俄ニ高クナリマシテ、ソレガ鉦米ガ一段歩ニ付イテ、四石、五石ト云フモノニナリ、一段ノ賣買ノ價ハ八百圓、千圓ト云フ高ニナッテ居リマス、是ノ如キ變動ヲ來シタ所ハ——師團ヲ置カレタ所ハ何レモ斯ノ通りデアラウト考ヘル、又鐵道停車場ノ出來タ所モ必ズサウ云フ狀況デアラウト思フ、又九州ノ如キ

(討論終結)「贊成々々」ト呼フ者アリ

○遠山正和君 私ハ委員長ノ報告ニ贊成スル者デゴザイマス、ソコデ贊成ノ理由ヲ簡單ニ述ベマスルニ御清聴ヲ願ヒマス、此宅地ノ地價ノ不公平ニナラヌ居ルト云フコトハ、諸君、皆御認メニナラヌ居リマスルコトデアリマスルニ、今更私ガ之ヲ喋々述ベル必要ハゴザイマセヌガ、併シ之ヲ改正スルコトコロノ時期ト云フモノハ、最モ大切ナルモノデゴザイマセウト考ヘマス、抑納稅ノ義務ト云フモノハ、國民無論アルモノデゴザイマスルガ、併シ是ガ國ノ進運ニ伴フテカラニ、稅額ノ段々増シタルコト云フモノモ、是モ萬已ムヲ得サル次第デゴザイマシテ、國民ハ之ヲ負擔セシメラナラヌノデゴザイマス、然レドモ同一種ノ租稅ニ致シマシテ、共同一種ノ租稅ガ、甲ニハ大變重キ負擔ヲサセ、乙ニハ大變少ナキ輕キ負擔ヲサセルト云フノハ、抑收稅ノ原則ニ背クノデゴザイマス、此實地地價修正致シマシタル明治六年ニ、抑收稅ノ原則ニ背クノデゴザイマス、此實地地價修正致シマシタルイマスガ、是カラ物變リ星遷リマシテ、段々時世ガ變遷ヲ致シマシテ、殆ド三十年ノ星霜ヲ經マシタ今日デゴザイマス、宅地ニ於キマシテハ或ハ鐵道停車場ガ出來マシタリ、或ハ師團ヲ設置セラレタリ、或ハ又或官衙ガ出來タトカ、工場ガ出來タトカ云フガタメデス、種々ノ變動ヲ來シテ、自カラ宅地ノトコロモ大變ニ變動ヲ來シテ居ルコトガアリマス、チヨット例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、此東京デゴザイマス、明治ノ初年ニハ、如何ノ狀況デゴザイマシタカ、或ハ淺草、麹町、赤阪、麻布、是等ノ土地ハ一坪ガ漸ク二圓カ三圓位ノモノデ、ソレモ賣人ハアッテモ、買人ガナイト云フヤウナ狀況デゴザイマシタ、ソレガ今日ハドウデゴザイマス、一坪ガ三十圓五十圓ト云フヤウナ賣買ニナルト云フヤウナ狀況デゴザイマス、是ハソレレデ即チ土地ガ繁榮ヲシタノデゴザイマス、土地ガ繁昌ヲシタノデゴザイマス、又田舎ニ於キマシモ本員ガ住スルコトコロノ香川縣デゴザイマス、一例ヲ舉ゲマスガ、香川縣ニ本員ノ住スルコトコロノ近傍ニ善通寺村ト云フガアル、是ハ諸君御承知ノ通、弘法大師ノ誕生セラレタコトコロノ歴史ノ土地デゴザイマス、ソコニ誕生寺ト云フ寺ガ、一箇寺アッテ、實ニ寒村デゴザイマシタ、寒村僻地デゴザイマシタトコロガ、明治三十年ニ至リマシテ、十一師團ヲ置カレマシテ(九龜カラ何里アリマス)ト呼フ者アリ笑聲起ル九龜カラ一里半デ、ゴザイマス、師團ヲ置カレマシタガタメニ、一段ノ宅地ガ鉦米ガ八斗カ一石位デ、從前ハアッタコトコロガ、俄ニ高クナリマシテ、ソレガ鉦米ガ一段歩ニ付イテ、四石、五石ト云フモノニナリ、一段ノ賣買ノ價ハ八百圓、千圓ト云フ高ニナッテ居リマス、是ノ如キ變動ヲ來シタ所ハ——師團ヲ置カレタ所ハ何レモ斯ノ通りデアラウト考ヘル、又鐵道停車場ノ出來タ所モ必ズサウ云フ狀況デアラウト思フ、又九州ノ如キ

大キナ製鐵所ノ出來タト云フヤウナ土地モ、私ガ今述ベタ土地ト同様ノ狀況デアラウト
思ヒマス、是ノ如キ變動ヲ來シテ居ルモノヲ今ヤ政府ハ彼此ノ權衡ヲ取テカラニ、不公
平ヲ矯正スルト云フコトノ案ヲ出シテ居ルノニ、之ヲ反對スルト云フハ、何ノ譯デアリマ
ス、ソレレ抑、此明治六年ニ地價ノ改正ヲシタトコロノ、御詔勅ノ趣意ニ依ッテモ、ドウ
シテモ不公平ト云フモノヲ吾ガ認メタナレバ、——認メタ以上、速ニ進シテ國民ノ代表
者タル者ハ、私ハ改正ヲシナケレバナラヌト思フ、其詔勅ノ要領ヲチヨット讀ミマス（無
用々々）ト呼フ者アリ）贊成スルナラ、モウ言ハヌ、チヨット讀ミマス（無用々々）ト呼
フ者アリ）ソナラモウ宜イ、ソナラ大體ダケテ云ウテ置キマスガ、此明治六年ノ詔ニ依
リマシテモ、此文ヲ諸君ハ能ク御覽下スツタラ分ル、ドウヤデモ此地價ノコトニ付イテハ、
公平均一ヲ保タナケレバナラヌト云フコトハ、鐵々詔ニ述ベラレテゴザイマス、ソコデ反對論
者ハ原案ハ甚ダ不完全デアル、不完全デアルト云ウテ其理由ヲ以テ、之ニ反對ヲスルト
云フコトデゴザイマスガ、何ガ不完全デゴザイマス、決シテ不完全デハナイ、若シ此法
ニ止メマシテ、他ノ法ニ依ラントスルナラバ、何ノ標準ニ依リマスカ、土地ノ賣買高ニ依
リマスカ、或ハ現在ノ地價ヲ何割減トカ、何割増トカ云フコトニ依リマスカ、決シテ是ハ
私ハ公平ヲ保シコトハ出來ナイ、實地ニ於テ行ハレナイコトデゴザイマス、ドウシテモ賃
貸價格即チ收入額ニ依リテ租稅ヲ負擔サス云フコトハ、最も是ハ至當ノコトデゴザイマ
ス、ソレ故ニ私ハ是ヲ贊成致シマス理由デゴザイマス、滿場諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス
（討論終結討論終結ノ聲起ル）

（小河源一君登壇）

○小河源一君 諸君私ハ本案ニ反對ヲ致スモノデゴザイマス、勿論私ハ今日ノ宅地
地租ガ不公平ニナッテ居ルト云フコトハ、認ムルモノデゴザイマス、又是修正スルナレバ
ナラヌト云フコトモ、反對論者ニ同情ヲ寄セルノデゴザイマス、唯是修正スルノハ公平
ナル地租ニ引直サナケレバナラヌト云フコトガ目的デアリマスナレバ、宜シク此目的ヲ達ス
ルトコロノ修正ヲ爲サナケレバナラヌデアル、唯如何ナル修正デモ修正サハ出來レバ、ソ
レデ宜イト云フノデハナイデアリマス、故ニ是ノ如ク政府カラ出シタ此法律案ノ如キ、其
根據トスルトコロノ參考書ガ既ニ委員會ニ於テ展論シタルガ如ク、誠ニ杜撰ナル、寧
ロ根據ナキトコロノモノデアル、無根據ナルトコロノ參考書ヲ土臺ト致シテ、法律ヲ作リマ
シタナラバ、是レ根據ナクシテ、所謂空中ニ樓閣ヲ築クト云フコトニナルノデゴザイマス、
是ノ如キモノヲ永世的法律トシテ、諸君ガ安シズルコトカ出來マスカ（參考書ガ法律
デナイ）ト呼フ者アリ）ソコデ斯ル法律ヲ改正シマスルトキニ於テ、其根據ガ定テ居リマ
ナンダナラバ、決シテ其法律ノ善惡ヲ見ルコトカ出來ナイデアル、其根據ガ定テ居リマ
セヌト致シマシタナラバ、此地價ノ賃貸價格ノ或ハ八倍トシ、若クハ十倍ト致シテ、サウ
シテ之ニ二箇年半ノ地租ト云フモノヲ取ツタナラバ、果シテ是ハ一般ノ租稅ト宅地ニ負
フトコロノ租稅ト權衡ヲ保チ得ルヤ否ヤト云フコトハ、何ニ據ッテ分リマスカ、其基礎トス
ルトコロノ參考書ハ、政府自カラ當アニナラナイモノデアルト云フテ居ルデアリマセヌカ、當
テニナラナイモノヲ基礎ト致シテ、之ヲ八倍若クハ十倍トシテ、地租ニ二箇年半ト致シマシタ
ナラバ、果シテ此宅地ニ負フトコロノ租稅ト、他ノ租稅ト比較シテ、權衡ヲ得テ居ルカ
否ヤト云フコトハ、何ニ據ッテ知ルコトカ出來マスカ、又土地ニ於キマシテハ廣狹ノ別ガア
ルノデアル、是等ノ宅地ノ地價ヲ修正スルトキニハ、單ニ地價其モノヲ修正スレバ、是デ以
テ事足ルヤ否ヤ、定地ノ段別ニハ延畝ガアル、或ハ正確ニ延畝ガナイトキニハ、是等ニ
對シテ政府ハ如何ナル方針ヲ執ツテ居ルノデアルカ、斯様ナコトニ付イテハ、參考書モナ
ケレバ、法律ニモ現ハレテ居ナイノデアル（問題外）ト呼フ者アリ）問題外デナイ、地價ヲ

修正致スト云フナラバ、一段歩ノモノニ付イテ何シボト稅ヲ定メナラバ、延畝ノアルモノ
ト、延畝ノナイモノハ、如何ニ致スカ、是等ノコトモ自然考慮サナケレバナラヌデアル、
又賃貸價格ニ依ッテ地價ヲ定メルカ、直接ノ賣買代價ニ依ッテ、地價ヲ定メルカ、是ハ
何レガ利益デアルカ、是等ノコトモ一旦全國ノ地價ナリ、或ハ賃貸價格ヲ十分ニ取調
ベテ、其上ニ於テ基礎ヲ定メルナラバ、或ハ過チナキコトヲ得ルデゴザイマセウガ、明日ノ
日ニモ土地ノ直段ガ變ルベキ狀況デアツデモ、今日ノ賃貸價格ト云フモノハ、今日ノ利
害ニ關係ガナカッタナラバ、此賃貸價格ト云フモノハ、必ズ變ラズニ居ル筈デアル、例ハ
明年ハ停車場ノ出來ル土地デアツデ、明年ハ土地ノ代價ガ上ガルト極テ居ツデモ、今日
ノコロデ役立タナケレバ賃貸價格ハ今日ハ廉イト見ナケレバナラヌ、斯様ナコトヲ基
礎トシテ宜シイカ、現實ノ賣買代價ニ依ッテ、地價ヲ定メルガ宜シイカト云フコトハ、是亦
大ニ考慮ヲ要スベキ問題デハゴザイマセヌカ、然ルニ是等ノモノニ付イテ、少シモ調ヲ致シ
テ居ラナイトコロノ無根據ナルモノヲ土臺ト致スナラバ、是ハ法律ヲ判定スル上ニ於テ、何
レニ致シテ宜シイカト云フコトガ分ラナイノデアル、又或ハ各縣ヲ通シテ、サウシテ修正
スルガ宜シイカ、各縣ヲ通シテヤリマシテモ、今日ノ如キ方法ニ依ッテナラバ、收稅廳ノ取
調、或ハ各縣デ拵ヘタトコロノ調査委員ノ調査ニ依ッテ、地價ヲ定メルノデアルガ、斯様
ナコトニシテ地價ヲ定メタナラバ、其縣別ノ等級ガ、果シテ公平ヲ得ラレカ、寧ロ斯様
ナコトヲスルヨリモ、始めヨリ縣別ノ等級ヲ別ツテ、而シテ縣ノ負擔額ヲ定メテ、然ル後ニ地
價ヲ定メルガ宜シイカト云フコトモ、是亦調査ヲ致シタ後デナイト分ラナイヤナリカ、是
ノ如キコトヲ致サズシテ、唯公平ヲ得セシムルタメニ、修正ヲスル、今マデノ地租ハ不公平
デアルカラ、何デモカデモ宜シイ修正サハ致シタナラバ、多少ナリト公平ニナルト、反對論
者ハ議論ヲ致シマスガ、勿論修正ヲ致シタナラバ、多少ノ公平ハ得ラレカモ知レナイ、
吾ハ多少ノ公平ヲ得ラレトコロノモノヲ拵ヘルノデハナクシテ、全然公平ヲ得ラレト
コロノ修正ヲ望ムノデアル、即チ私ガ本案ニ反對ヲ致シマスルノハ、公平ヲ望ムガタメニ反
對ヲ致スノデアル、吾ハ政府ニ對シマシテ、是ノ如キ杜撰ナル法律ノ改正ヲ促スト云
フ注文ヲ致シタコトハ、決シテナイノデアル然ルニ約束デアルカラシテ、今期議會ニ於テ議
決シナケレバナラヌナド、云フコトハ、約束ノ具相ヲ知ラナイ人デアルト云ハナケレバナラ
ヌ、諸君、一ツ國家ノ上ヨリ見、或ハ人民ノ實力ノ上ヨリ考ヘテ見ナサイ、此案ハ如何
ニナッテ居ル、千六百二十萬圓ノ地租ヲ是非取ラナケレバナラヌカラ、之ヲ標準トシテ地
價ヲ定メルト云フノデアル、地價ハ實際ノ率ヲ十倍ニスルカ、十五倍ニスルカ、又五倍ニ
スルカ、分ラナイ、修正案ニ依レバ分ラナイ、ソレデ一千六百二十萬圓ノ稅ガ取レナイ
トキニハ、十二倍ニデモ、十三倍マデモシテ、稅ノ取レトコロマデ地價ヲ上ゲヤウト云フ
ノデアル、若シ之ニ依ッテナラバ、此地價ヲ定メルノガ、地價其モノヲ定メルノデハナク、唯
一千六百二十萬圓ノ戰時稅ヲ永世取ラナケレバナラヌ、地價ハドチラニナツデモ宜シイ
ト、斯ウ云フコト、同ジコトデアル、是ノ如クニ致シマシタナラバ、果シテ國民ヲ満足セシ
ムルコトカ出來マスカ、又政府案ノ如ク賃貸價格十倍ヲ増減スルコトヲシナイモノトシ
テ、政府案ノ如ク致シマシタナラバ、或ハ之ガタメニ二千萬圓ノ租稅ノ取レルモノガ、千
萬圓ニ止マルカ分ラナイデハナイカ、サスレバ戰後ノ國庫上ニ於ケル影響ハ、是亦未定ナ
コトデナイカト思フ、吾ハ是ノ如ク人民ノ負擔力ヲ考ヘズ、將來國家ノ國庫上ニ如何
ナル影響ヲ起スカモ考ヘズシテ、是ノ如キ杜撰ナル案ニ贊成ヲ致サレマセウカ、今日可決
致シタナラバ、如何ニ國民ニ吾ハ職責ニ對シテ、申請ガ出來マセウカ、吾ハソレデアリ
マスカラシテ、之ニ反對ヲスルノハ唯今日此杜撰ナル案ニ依ッテ、修正ヲスルト云フコトニノミ
反對デアルノデアラ、宜シク政府ハ十分之ヲ調査スルトコロノ豫算ヲ明年出シテ、十分ニ

調ベテ、而シテ根據アルトコロノモノニサレンコトヲ望ミマスダメニ、諸君ハ決シテ賛成ヲ
セラレナイコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(賛成「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ動議ニ賛成ガアルヤウニ認メマス、討論終結ニ御
異議ガゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」又「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 討論終結ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、討論終結ニ決シマシタ

○奥野市次郎君 本員外數十名ヨリ請求致シマシタ通り、記名投票ヲ以テ採決ヲシ
テ贊ヒタイ

○根本正君 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 諸君ニ御諮リシマスガ、此際根本正君ハ本案ニ付キマシテ政
府ニ質問ガアルト云フコトデアリマス

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 許シマスト云フ方ハ起立ヲナサイ
(「分ラナイ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 靜ニ願ヒマス——此際根本正君ニ、政府ニ對シ本案ニ付イ
テ質問ヲ許スト云フ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無

○議長(杉田定一君) 起立者ガアリマセヌカラ 許サナイコトニ決シマス、宅地價修正
法案ノ採決ハ記名投票ヲ以テ採決ヲ致シマス——閉鎖——二讀會ヲ開クヤ否ヤト云
フコトニ付イテ決ヲ採リマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フ御方ハ、白ノ札ヲ
御持參ヲ願ヒマス、又二讀會ヲ開クベカラズト云フ御方ハ、青ノ札ヲ御持參ヲ願ヒマ
ス——點呼

(書記氏名ヲ點呼ス)

○議長(杉田定一君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハアリマセヌカ

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 開鎖——開匣
(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致シマス

(林田書記官朗讀)

出席總員 二百九十八

可トスル者 二百十五

否トスル者 八十三

(參照)

(本案ノ二讀會ヲ開クヘシトスル者)

矢島 中君 大久保弁太郎君 福留 清四郎君 石田 貫之助君
岩本 晴之君 關根 柳介君 林 有 造君 川真田 德三郎君
山口 小一君 三輪 猶作君 福島 宜三君 遠山 正和君
江角千代次郎君 辻 寛君 牧野 逸馬君 田中 喜太郎君

松本 大吉君 中村 清一郎君 高木 龍藏君 松家 德二君
田中 定吉君 武市 庫太郎君 米田 武八郎君 楠目 玄君
小田 貫一君 脇 榮太郎君 谷澤 龍藏君 鶴飼 退藏君
岡井 藤之丞君 石田 孝吉君 橋本 久太郎君 雄倉 茂次郎君
中澤 楠彌太君 中谷 宇平君 渡邊 敬昌君 兼松 熙君
板東 勘五郎君 淺野 順平君 荒川 五郎君 關 信之介君
橫堀 三子君 松田 吉三郎君 鈴木 藤三郎君 山田 省三郎君
向坂 弘君 坂元 英俊君 大畑 純次君 小澤 愛次郎君
湯山 壽介君 石谷 傳四郎君 丹後 直平君 竹田 千代足君
鳥海 哲四郎君 初木 卿太郎君 佐藤 里治君 長谷部 倉藏君
由布 惟義君 荻野 芳藏君 麥田 宰三郎君 石川 清君
齋藤 珪次君 宮井 茂九郎君 漆 昌巖君 東 一左右君
渡邊 修君 根本 正君 森 茂生君 宮本 嘉樂君
大野 龜三郎君 北村 茂輔君 村松 愛藏君 阿部 德三郎君
永島 龜代司君 古井 由之君 天野 信兵衛君 丹尾 賴馬君
三浦 盛德君 遊田 晴登君 江藤 哲藏君 久保 彦太郎君
橫井 甚四郎君 大繩 久雄君 池松 豐吉君 鳥山 敬二郎君
福岡 精一君 廣瀬 久政君 高橋 安爾君 西村 專太郎君
神戶 松之輔君 古賀 庸藏君 小林 仲次君 西山 彰君
柳田 藤吉君 松本 恆之助君 伊藤 傳右衛門君 海野 謙次郎君
松本 君平君 村野 常右衛門君 栗原 亮一君 濱田 國松君
武滿 義雄君 征矢 野半彌君 大竹 貫一君 福島 美之助君
林 小一郎君 大野 久次君 景山 甚右衛門君 齋藤 和太郎君
富島 暢夫君 早速 整爾君 松浦 五兵衛君 千葉 禎太郎君
橫井 時雄君 江原 素六君 森 本 駿君 山 森 隆君
恆松 隆慶君 河原 義雄君 中林 友信君 菅 原 傳君
安藤 新太郎君 松井 源内君 松本 孫右衛門君 改野 耕三君
粕谷 義三君 萩野 左門君 松本 孫右衛門君 長谷 純孝君
山本 繁造君 山崎 眞純君 內山 吉太君 鈴木 友治郎君
後藤 文一郎君 島田 三郎君 新井 省吾君 鈴木 友治郎君
青柳 信五郎君 田寺 敬信君 大熊 三之助君 清水 隆德君
安念 次左衛門君 野口 源一郎君 關野 善次郎君 伊夫 資弼君
合田 福太郎君 井手 武右衛門君 齋藤 勸七君 村松 龜二郎君
松本 長平君 澤田 耕治郎君 藤澤 幾之輔君 佐藤 伊助君
井上 精一郎君 山口 達太郎君 降旗 元太郎君 小田 文行君
愛澤 寧堅君 星野 仙藏君 井上 要君 河井 重藏君
中西 新作君 川島 龍藏君 淺見 竹太郎君 飯島 省三郎君
高橋 金治君 朝倉 鐵藏君 石田 仁太郎君 國井 嘉平君
木村 半兵衛君 榎本 次郎右衛門君 鞍谷 清慎君 野上 嘉平君
上埜 安太郎君 池田 惟貞君 築山 和一君 藤崎 朋之君

加瀬 禧逸君 菊池 武徳君 國谷 亨君 笑浦 勝八君
犬養 毅君 岡本 金太郎君 青地 雄太郎君 米田 實君
西村 丹治郎君 福井 三郎君 平島 松尾君 江藤 新作君
首藤 陸三君 大津 淳一郎君 山田 平太郎君 波多野 傳三郎君
齋藤 宇一郎君 荒谷 桂吉君 金岡 又左衛門君 須見 千次郎君
菅澤 重雄君 加藤 政之助君 入江 武一郎君 神崎 東藏君
坂口 仁一郎君 星 松三郎君 安田 勳君 菊池 九郎君
野木 善三郎君 安島 重三郎君 天野 董平君

(本案ノ二讀會ヲ開クヘカラストスル者)

佐竹 作太郎君 持田 若佐君 安達 謙藏君 藻寄 鉄五郎君
永見 寛二君 横山 寅一郎君 本出 保太郎君 山本 幸彦君
奥村 善右衛門君 前島 元助君 野尻 邦基君 山根 正次君
佐々 友房君 岡田 治衛君 藤 野尻 金 邦基君 内貴 甚三郎君
寺井 純司君 河上 英君 石塚 重平君 鈴木 惣兵衛君
大戸 復三郎君 横田 虎彦君 白井 哲夫君 森 秀次君
須藤 嘉吉君 高梨 哲四郎君 大岡 育造君 美禰 龍彦君
多田 作兵衛君 森久保 作藏君 島津 具雄君 堀田 連太郎君
佐藤 虎次郎君 栗塚 省吾君 北島 秀磨君 東尾 平太郎君
尾崎 行雄君 山下 重威君 鹿島 永藏君 矢島 浦太郎君
關 春茂君 市田 兵七君 是永 清介君 久保 伊一郎君
片山 正中君 澤田 佐助君 七里 忠藏君 江間 俊一郎君
城 重雄君 宮部 襄君 三井 忠藏君 井上 與一郎君
武藤 金吉君 淺羽 靖君 服部 小十郎君 神前 修三君
南條 吉左衛門君 大淵 龍太郎君 龍口 吉良君 蘆田 鹿之助君
植木 元太郎君 中西 光三郎君 牧野 元君 蘆田 鹿之助君
三輪 傳七君 高橋 勝七君 中倉 万次郎君 丸山 嵯峨一郎君
上野 彌一郎君 小川 平吉君 鈴置 倉次郎君 奥野 市次郎君
宮崎 榮治君 中村 雄藏君 磯部 四郎君 植場 平君
工藤 善助君 角田 眞平君 尾形 兵太郎君

(拍手起ル)

議長(杉田定一君) 是ヨリ本案ハ二讀會ヲ開クベシト云フニ決シマシタ

議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クベシト望ミマス(ト呼フ者アリ)

議長(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

宅地地價修正法案 第二讀會

(委員長報告通リ又「一括々々」ト呼フ者アリ)

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員若槻禮次郎君 委員會ノ修正ニ對シテ、チヨット意見ヲ申上ゲマスガ、大體租税ノ賦課ト云フモノハ、成ルベク公平ニナサンケレバナリマセヌガ、ワレト同時ニ餘リ

急激ニ激増スルコト云フコトハ宜シクナイノデアリマス(「ノウウ」ト呼フ者アリ)ツレバ今
同ノ地價修正案ハ、租税ノ公平ニスルコト云フコト、(ツレバマデハ宜シイ)ト呼フ者アリ)ツ
レカラ増加ヲ急激ニシナイト云フ「ツ」方針ヲ含シテ居リマス、其中第三條ノ但書ノ削
除ハ、「ツ」方針ノ「ツ」方針削ルト云フコトデゴザイマスノデ、是ハドウウ政府ノ原案ノ通り
御戻シヲ願ヒタウ存ジマス

(全部議題トシテ決セラレシコトヲ望ミマス)又「唯僅カナ修正ガアルデケデゴザイ
マス」又「採決々々」ト呼フ者アリ)

議長(杉田定一君) 靜ニ願ヒマス——第一條第二條ヲ議題ト致シマス

(「全部」一括々々ト呼フ者アリ)

議長(杉田定一君) 第一條第二條ニハ別段修正ガナイヤウデアリマスル、是ハ原
案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

議長(杉田定一君) 第一條第二條ハ原案ニ決シマス——第三條ヲ議題ト致シ
マス

(委員長報告通リ「ト呼フ者アリ」)

(藤金作君登壇)

○藤金作君 此案ニ付イテ修正ヲ致シマス、第三條ノ「宅地」ノ上ニ「市街宅
地」ト云フコトヲ入レマス、市街宅地ノ修正案トスル精神デゴザイマス、是ニ付イテ其修
正ノ理由ヲ述ベマス、(「ノウウ」又「反對々々」ト呼フ者アリ)本案ニ付イテ、諸君ハ熱
心ニ原案若クハ修正案ヲ御賛成ニナリマスルケレドモ、昨年之ヲ建議シタコロノ建議ノ
趣意ハ、市街宅地ノ地價ヲ修正セヨト云フ建議ニナツテ居ルノデアル、御記憶モゴザイ
マセウケレドモ、念ヲメ建議案ヲ述ベマス(「無用々々」ノ聲起ル)無用デナイ——無用
デナイ(「無用々々」又「分デ居ル」ト呼フ者アリ)「租税ハ公平ナラサルヘカラス然ルニ地
租改正以來全國各市街地地價ノ變動甚ダシク之ヲ地券面ノ地價ニ比スレハ實ニ非
常ノ相違アルヲ以テ此ノ法定地價ヲ標準トシテ地租ヲ各市街地ニ賦課スルハ不公平ノ
最大ナルモノトス故ニ政府ハ速ニ市街宅地ノ地價ヲ修正シ三十九年度ヨリ之ヲ實施ス
期セラレムコトヲ望ム右建議ス」トアル、議會ガ望ム修正ハ市街宅地ガ戰時稅ヲ併セ
テ百分ノ二十トアルハ苛酷デアル、不權衡甚シキ地價ニ依ツテ、之ヲ課スルハ堪ヘナイコ
トアルカラ、公平ニ地價ヲ修正シテ吳レイト云フコトデアル、是ニ依ツテ政府ガ聊カ調
査ニ手ヲ著ケタノハ、市街宅地ノ等級ニ對スル賃賃價格ヲ取調ベタモノガアル、其取調
モ至ツテ杜撰デハアルケレドモ、聊カ市街宅地ニ對シテハ、修正ヲシヤウト云フ考デアツタト
云フコトハ、見ラル、ノデアル、郡村宅地ニ對スル參考書類ヲ請求スレバ、郡村宅地ニ
對シテハ「一」參考書類モナイ、一モ取調ベタモノガアリマセヌ、是レ即チ建議ノ趣意ニ依
テ市街宅地地價修正法案ヲ提出スルノデアツテ、中途變ジテ郡村宅地ヲ併セテ修正
セントスルコトニナツタノデアルカラ、政府ノ手許ニハ吾々委員會ニ於テスラ、一ツモ材料
ヲ得ルコトガ出來ナカッタノデアル、此修正ノ意見ヲ伺ヒマスレバ、賃賃價格ノ十ヲ以テ
地價トスルト云フコトヲ、八トスルト云フヤウニナツテ居リマス、然ルニ此修正案ハ誠ニツ
カシイ修正案デ、少しモ算術ノ據ルトコロノナイコトニナツテ居ル、此修正者ハ修正ノ此
案ヲ見マスレバ、第二十三條ニ於テ第三條ヲ修正ヲ沒却シテシマツテ居ル、倒レテ居ル
ノデアル、自ラ之ヲ殺シテ居ルノデアル、是ノ如キ愚案ヲ提出シテ、此案ノ通ルト云フ議
會モ又珍シイモノデアル、是ハ三條ニ關聯スルカラ、一應述べナケレバナラヌ(「誤解々々」

ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

(「誤解々々」ト云フ)

ト呼フ者アリ」第二十三條第三條ニ依リ修正シタル地價總額ニ依リ地租總額カ千六百二十萬圓ニ對シ其ノ百分ノ五以上ノ差額ヲ生シタルトキハ修正地租總額ヲ該金額ニ接近セシムル爲メ按分増減シテ修正地價ヲ定ムヘシ」斯ウナデ居ル、是カドウモ算盤ヲ持テ話デナイ、數字ヲ離レタコトデアル、ナゼナレバ現在ノ地租ノ千六百二十萬圓ハ政府モ是ヨリ減シテナラヌト云フコトデアル、又參考書類ニ依テモ、千六百二十六萬何千圓ト云フ、僅カニ二萬何千圓増加シテ居ル、委員會ニ於テモ千六百二十萬圓ハ認メテ居ル、故ニ此貸賃價格ヨリ二割ヲ減ズル、即チ十ハ八ニナセバ、二割減ズルノデアル、從テ全國ノ地價ニ二割ノ減額ガ來ルニ相違ナイ、是ヨリ二割ノ額ガ減ズルトキハ、合計ニ於テ二百二十餘萬圓ト云フ減額ガ來ルノデアル（増減ヲ取テアリマス）ト呼フ者アリ」ソコデソレヲ恐レテ、若シ五分以上増減スルトキハ、按分比例例之ヲ増減スル、是ガワカシイノデアル、斯クモ衆議院ニ計算ニ迂イモノガ多數アルト云フコトニ驚クノデアル（笑聲起ル）ドウデゴザイマス、地價ハ百圓ノモノヲ八十圓トセヨ、而シテ若シ目的ノ地租額ガ足ラヌナラバ、先ニ至テ二箇半ヲ二ニモセヨ、或ハ二八ニモセヨ、二五ニモセヨト云フ、斯ウ云フ算盤ガ何デアル、地價ハ即チ額ヲ減ラスガ宜シイ（誤解）ト呼フ者アリ）率ニ於テ増シテモ減シテモ宜シイ何デゴザイマス（ノウ）ト呼フ者アリ）是ハ誠ニ不都合ナル案デアル、ドコカラ考ヘテモ同ジコトデアル、百圓トシテ二箇半トスルト、即チ百圓デ二圓五十錢デ、八十圓ニシテ三ニスル、斯ウ云フヤウナ算盤ニナツテ來ル、誠ニ氣ノ毒ナ修正デ、成ルタケ贊成シテ上ゲタイケレドモ、數字ニ依テ贊成スルコトハ出來ナイ、ソレデ私ガ此修正ヲ今度ハ市街宅地ニ止メテ置カウト云フ理由ヲ述ベマス（一條、二條ガ極デシマッタ）ト呼フ者アリ）一條、二條ハ是デ宜シイ、三條ノ市街宅地ト云フコトヲ明カニスレバ、ソレデ宜シイ、一條、二條ハ幸ヒニ案ガ通レバ、三讀會デ修正致シマス、私ハ此時間ヲ諸君カラ御厭ヒガアデモ、國民ニ對シテドコマデモヤリマス、長クヤルコトヲ御厭ヒニナレバ、私ガ此得タコトノ權能ヲ以テ一時間デモ二時間デモヤリマス（ヒヤ）又「朝カラ晩マデヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ）御厭ヒノ御方ハ退席シテ苦シカラズ——市街宅地ト郡村宅地ヲ同一ニ賃賃價格ノ十倍トスルコトハ、抑誤タモノデアルト云フコトヲ述ベテ置キマス、又第二ニ原案ノ第三條ノ但書ヲ置イタノモ、是ハ政府ガ誤テ居ルノデアル、是ハ修正案ニ同意ヲ表スル、ソレカラ第三ニ於テ地價ヲ修正スルニ於テハ、法人トソレニ對スルコトノ府縣ノ地位ニ應ズルトコトノ町村ナリ、又市街ナリ、ソレヨリ一筆ニ對スルコトノ等級ト、賃賃價格ト、ソレノ明瞭ニ取調ベタトコロノ參考表、即チ別表ナルモノヲ添ヘルガ必要デアル、此必要ナル材料ヲ提出セズシテ、地價修正ヲ唯法文ノミデ致シタコトノ案ハ、誠ニ不備ナル案デアルカラシテ、反對シタコトニ、市街宅地ハ估券地調トシテ、一筆ノ中ニモソレト表通り裏通り色々區別ヲ立テ、市街ニ等級ヲ立テ、居ルノデアル（趣意ハドウデアル）ト呼フ者アリ）故ニ各町村ノ等級ヲ調ベ、每筆ノ等級ニ應ジテ反別毎筆其相當スルコトノ賃賃價格ヲ調査セバナラヌ、是ノ如キモノヲ以テ改正ノ項ハ年利率五朱ヲ以テ算出シテ居ル、市街宅地地價デアル（ドウカ修正案ヲ朗讀ヲ願ヒマス）又「大體論ハ既ニ濟ミマシタ」又「ヒヤ」ト呼フ者アリ）餘リ双方カラノ御注文デ、ナカ／＼ドツチヘモ應ジ兼ネマス、徐々ト述ベマス（徐々デハ困リマス）ト呼フ者アリ）郡村宅地ハ改租ノ際畑收穫ト比較シテ、五箇年ノ石代相場ヲ以テソレヘ公課、種肥料代ヲ控除シテ、之ヲ年六朱ヲ以テ地價ヲ定メテ居ルノデゴザイマス、其算法ハ四公六民トナデ居ルノデゴザイマス、故ニ市街宅地ハ郡村宅地ニ比較シテ、利率ガ安キ故ニ、地價ハ之ニ反對シテ高ク、又郡村宅地ハ

市街宅地ニ比例致シマシテ、利率ガ高イノデアル、利率ガ高イカラ地價ハ廉クナデ居ルノデアル、茲ニ即チ二割ノ相違ガアデ居ルノデアル、之ヲ其當初ノ成立、又郡村宅地ト云フモノハ、御承知ノ如ク市街宅地ヨリモ多ク、面積坪數ノ多イ宅地ニ居テ、農業ヲ營ム者ガ多イノデアル、故ニ宅地地價ハ其賃賃價格ノ如キモノハ、容易ク見ルベキモノデハナイノデアル（宜イデハナイカ）ト呼フ者アリ）之ニ依テ郡村市街共ニ賃賃價格百分ノ十トシ、或ハ八トスルト云フコトヲ改正案ト修正案共ニ甚ダ不當デアリマス（修正文ノ朗讀ヲ望ミマス）ト呼フ者アリ）修正文ハ「市街」ト云フ二字ガケラ入レルト云フデ、其修正ハ郡村ハ除クト云フ趣意デ（一條ハドウシマス）ト呼フ者アリ）一條ハ第三讀會デ修正致シマス（横井甚四郎君「誠ニ御意見ハ御尤モデゴザイマスガ、餘程贊成ガアリマセウカ、餘リ贊成ノナイヤツハ、速記録ニ御殘シニナツタラ宜カラウト思ヒマス」ト呼ビ又「默レ」ト呼フ者アリ）之ハ修正ノ成功ヲ御望ミニナルナラバ、成ルタケ御靜カニ願ヒマス、現在ノ如ク市街ハ百分ノ二十デアル、郡村ハ百分ノ八デアルモノヲ共ニ取テ除ケテ、茲ニ一率ニ改正スルト云フ結果ハ、市街ニ於テハ十割ヲ減ズルニナル、又郡村ニ於テハ二割五分ヲ増加スルニナル、私ハ竊ニ其一讀會ノ經過ヲ考ヘマスレバ、此議場ハ君子ノ集リト思ヒマシタケレドモ、何分統計ニ依テ考ヘマスルト、ナカ／＼サウ君子バカリデハナイイカト疑ハレルノデアル、（ヒヤ）又ハ「餘計ナコトヲ言給フナ」ト呼フ者アリ）何故ナレバ増租ノ府縣ハ十六アリマス、十六ノ増租府縣ニ於テ、百五十九萬四千四百五十四圓増租シテ居ル、皆デ減租ノ府縣ハ如何デアル、三十府縣デアル、而シテ之ガ百五十二萬二千二百四十六圓程減シテ居ル、ドウモ三分ノ一ノ増租、三分ノ一ノ減租ト云フ、即チ三分ノ一程増租ノ地方ガ——府縣ノ頭數ガ少ナイカラ、是ハ到底數ニ於テ勝ツコトハ出來ナイ、ソレデ是ヲ差引致シマス、増租額ガ僅カニ六萬九千二百一十二圓、又市街ト郡村ト増減ヲ區別致シマス、市街増租ハ府縣ニシテ五十八萬七千二百九十二圓ヲ増シテ居ル、ソレカラ市街ノ減租ハ三十九市街アリマス、其減租額ハ百一十一萬七千六百三十九圓トナツテ居ル、是ヲ差引致シマス、減租ハ市街ニ對シテ五十三萬三千三百四十七圓程減シテ居リマス、郡村ノ増租ハ如何ニナツテ居ルカト云ヘバ、府縣ノ數ハ二十一ニシテ、百三十萬七千二百七十三圓程増租シテ居ル（修正ノ要領ヲ述ベシ）ト呼フ者アリ）要領ハ是ヨリ出テ來ル（要領ヲ得ナイ）ト呼フ者アリ）減租ノ府縣ノ數ハ二十五アル、此減租額ハ七十萬七千七百七十四圓アル、差引五十九萬九千五百五十九圓程アル、右ノ如ク二十一ノ増租府縣ガ、市街ニ對シテハ五十三萬圓ヲ助勢スル譯ニナツテ居ル（分ラヌ）ト呼フ者アリ）算盤ノ分ラヌハ分ラヌダラウ、能ク御考ヘナサイ、又府縣ノ郡村ニ於テ七十萬圓餘、國庫ニ六萬九千圓餘ト云フ助勢スル譯ニナツテ居ル、是ノ如キコトハ政府ガ自ラ印刷シテ出シタトコロノ參考書ヨリ現ハレタ數字デアルケレドモ、尙之ヲ實際ニ調査致シマスルトキニ於テハ、一層驚クベキ甚キ間違ガ生ズルノデアリマス（早ク朗讀ヲ願ヒマス）「ドウデスラデシマッタハ」ト呼フ者アリ）若シ不幸ニシテ原案若クハ修正案ガ成立シマストキハ、實ニ驚クベキ郡村ニ對シテ租稅ガ來マスノデアリマス、私モ諸君カラ憎マレテ長ク述ベルタウハゴザイマス、併ナカラ國家ヲ愛スルノ至情カラ餘義ナク納辯ヲ述ベルノデゴザイマスカラ、御厭ヒノ御方ハ暫ク御退席アルモ苦シクゴザイマス、郡宅地ノ地價賃賃價格ハ、別ニ據ルベキモノハゴザイマス、因デ改租當時ノ收穫ヲ元トシテ、穀物代價ガ二十年前ニ對シマスレバ、運輸交通ノ開ケテ以來、其價格ハ全國大差ナキコトニナツテ居リマス、故ニ此點ヨリ改正スルコトハ妨ケナイト思フノデゴザイマス、私ハ此點ニ向ヒマシテ簡單ニ述ベマスガ、サウアリマスレバ市街ハ五朱ノ利、郡ハ六朱ノ利ヲ以テ地價修正スルコトヲ適當ト

カト云フナラバ、地租ヲ上ゲルトカ、下ゲルトカ云フコトハ、一般國民ニ幸福ヲ與ヘルト云フコトノ原則デアリマス、然レニ唯土地ノ上ゲマシテ、英吉利ノ如クニ所謂土地賃借規則ガナカタナラバ、唯取ルモノハ益ヲ取リ、出スモノハ益ヲ出スト云フヤウナコトニナツテ、立憲政治ノ根本ヲ破壞スルコトナリマスノデアル、故ニ英吉利ノ如キ「レンテングレキレション」ト云フモノガアル、即チ土地ノ賃借ヲスルトコロノ、貸シタリ借りタリスルトコロノ取締規則ガナケレバナラス、ソレハ即チ我帝國ニ於キマシテモ、金ヲ貸スコトニ付イテハ即チ規則ガアル、例ヘハ法定五厘ノ利息デアル、商事ニ於テハ七厘ノ利息デアル、契約文ハ一割金高ニ依ツテ一割五分モ取ツテハナラヌト云フ、金ニ於テハ規則ガアリマス、然ラバ即チ此土地ニ於テモサウ云フ方法ガナケレバナリマセヌ、若シモ唯土地ノ稅ヲ上ゲマシタナラバ、一圓上ツタ稅ヲ地主ハ一圓五十錢、二圓、三圓ト云フコトニ地借カラ取ル、又其地借リカラ、家賃借リテ居ル人カラ取ルカラ、地主タルモノハ更ニ懷ニ響カヌノミナラズ、益、肥ヘテ、此家賃借リテ居ルモノガ困窮ヲスルトカニ云フヤウニナツテ、社會政策即チ日本ノ文明ニ反スル結果ヲ見ル、故ニ我政府ニ於キマシテハ即チ土地賃借取締規則ト云フモノヲ定メテ、是ヲ拵ヘルカ、拵ヘテナケレバ近々拵ヘテ、此稅布ト共ニ進行スル、即チ金ノ貸借ノ如キ、大概ノ法則、尤モ一分一厘モ違ハヌヤウニハイキマセヌケレドモ、今日ノ有様カラシテ見マス、我日本帝國、殊ニ東京ニ於キマシテ、土地ノ持主ハ非常ニ金ヲ取ツテシマフ、是ヲ土地賃借リテ居ルモノ、又家賃借リテ居ルモノハ、家賃ハズンズン上ツテ、益、困窮スルト云フヤウナ有様ニナツテ來ル、其一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、芝區愛宕町十四番地、此地ハ即チ日本第一ノ金持ガ持ツテ居ル土地デアリマス、是ハ元ト貸ス時分ニハ、一坪ニ付イテ九錢デアツタモノガ、之ヲ二十錢ニ一時ニ上ゲマシタ、何故ニ我が之ヲ知ツテ居ルカト云フナラバ、我故名譽アル議長片岡健吉君ノ旅宿サレタ、淺清館ト云フ旅宿デアル、此土地ハ一坪ニ付イテ九錢デアツタモノヲ、一時ニ二十錢ニ上ゲマシタ、ソレハドウ云フ譯ガナラバ、始め一坪十五圓位デ、其土地賃借リテ居ルモノガ、三十圓ニモ四十圓ニモ一坪ノ金ヲシマシタ、故ニ我日本ニ資本ヲ入レタモノハ、地主ニアラズシテ家ヲ造ツタモノデアル、所ガ此土地ノ契約ガ、五年カ三年デアラナラバ、法律上イクラ出シテモ宜シイガ、九錢カラ二十錢デカラ、一倍以上ノ借地デアリマス、併ナガラ之ヲ訴ヘルコトモ出來ナイ、サウスルト云フト是ニ泊ルモノ、又借家人ハ困ツテ來タ、澤庵ヲ押付ケルヤウナツテ、下ノモノガ困ルト云フ、此法律ト云フモノハ、専ラ人民ヲ保護スルトコロノモノデアル、然レニ是ハ地主ノ腹ノミヲ肥スト云フ結果ヲ見テ、一般人民ノ中流以下ノ借家人地借人ガ甚ダ困難ヲスルト云フ結果ニナリマス、故ニ此法律ヲ發布スルナラバ即チ其後ロニ所謂英吉利ニアルヤウナ「レンテングレキレション」ガナケレバナラス、故ニ諸君ドウカ政府ハ是等ノ規則ヲ拵ヘテ、金持ハ金持相當ノ利ヲ取ルガ宜イ、併ナガラ同時ニデス、地ヲ借リテ居ル者、又家賃借リテ居ル者モ相當ニ二度金ノ貸借ニ五厘トカ、七厘トカ、或ハ一割トカ、高クテモ二割以上ノ利子ハ縱令契約デモ取ツテナラヌト云フ法律ガ立ツテ居ル以上ハ、即チ土地ノ稅ヲ改正スル上ニモ、之ヲ實行スルヤウニシナケレバ、我日本帝國ノ名譽ヲ傷ケルモノデアル、故ニ政府ガ是ノ如キ規則ガ今日出來テ居ルカ、若クハ後來出來マスガ、日本帝國五千有餘萬ノ人民ノタメニ答辯アラントラ望ミマス

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋ノヤウナモノハ、拵ヘテ居リマセヌ
(笑聲起ル「採決」ト呼フ者アリ)
○議長(杉田定一君) チョット御尋シマスガ、角田君ノ修正說ハ第三條ノ但書ヲ存
在シ「賃賃價格ノ十倍」トアルノヲ「八倍」トスルト云フ修正デゴザイマス此修正ニ定規ノ賛成ガアリマスカ——賛成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス
○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス
(「無イ無イ」又「採決」ト呼フ者アリ)
○議長(杉田定一君) 採決ノ順序ヲ申上ゲマス、斯ウ云フ風ニ採決ヲシヤウト思ヒマス此「宅地ノ地價」カラ但書マデノ間ヲ「十倍」ヲ「八倍」トスルト云フコトニ付イテ一ツ採リ、ソレカラ但書ヲ存スルカ、存セヌカト云フコトニ付イテ採リ、ソレカラ又角田君ノ但書ヲ存在シテ「十倍」ヲ「八倍」トスルト云フ修正、此三ツニ付イテ採決ヲ致シマス——先角田君ノ修正說ニ付イテ採決致シマス、角田君ノ修正說ハ唯今中シマシタ通、但書ヲ存在シテ「十倍」ヲ「八倍」トスルト云フノデアリマス——御分リニナリマシタカ(「分リマシタ」ト呼フ者アリ) 是ニ付イテ御同意ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス
(「何ンダカ分リマセヌ」ト呼フ者アリ)
起立者 少數
○議長(杉田定一君) 少數ト認メマス——今度ハ此「宅地ノ地價ハ本法ニ依リ定メタル賃賃價格ノ十倍トス」ト云フ「十倍」ヲ「八倍」トスルト云フノデス、此「十」ヲ「八」ニスルト云フニ賛成ノ諸君ハ……
(「委員長報告通りト言ヘバ分ル」ト呼フ者アリ議場騒然)
○議長(杉田定一君) 三ツニ別ケテ採ルト云フコトヲ幾キニ申上ゲタノデス、ソレ故ニ三段ニ別ケテ決ヲ採ルノデアリマス(「委員長報告通り」ト呼フ者アリ) 委員長ノ報告ヲ即チ三ツニ別ケテ決ヲ採ルノデス(「ソレハイケマセヌ」ト呼フ者アリ) 宅地ノ地價ハ本法ニ依リ定メタル賃賃價格ノ十倍トス此「十倍」ヲ「八倍」トスルト云フノガ、是ガ委員長ノ報告ノ修正デス、此修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス
起立者 多數
○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、委員長報告通り決シマシタ——今度ハ此但書ヲ削ルノデアリマス、此但書ヲ削ルノニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數
○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、削除ニ決シマシタ——此三條ノ第二項ソノ他ノ點ニ付キマシテハ、別段修正ハアリマセヌガ、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシ「聲起ル」)
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○恒松隆慶君 後トハ總テ委員長報告通り決セラレンコトヲ望ミマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
○議長(杉田定一君) 三條以下ハ全部委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシ「聲起ル」)
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
(「角田眞平君」三讀會ヲ開クベカラス「ト呼フ」)
○恒松隆慶君 直チニ三讀會ヲ開キ、二讀會決議ノ通り可決確定セラレンコトヲ希望シマス
(「贊成」ト呼フ者アリ)
○議長(杉田定一君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス直ニ三讀會ヲ開キマス、二讀會ノ決議通御異議ゴザイマセヌカ

宅地地價修正法案

第三讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 此間ニ御諮リヲ申スコトガアリマス、此際徵兵令中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フ請求ガゴザイマス、許可シテ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス——日程十三、市制又ハ區制施行地内ノ有租地ニ關スル法律案第一讀會ノ續

第十三 市制又ハ區制施行地内ノ有租地ニ關スル 第一讀會ノ續

○議長(杉田定一君) 一讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通直チニ一讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

確定議

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ

○大岡育造君 此場合先刻ノ帝國鐵道會計法案ノ審査ノ經過ヲ報告シタイト思ヒマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 大岡育造君

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 帝國鐵道會計法案外三件ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ報告致シマス、先刻議長ノ指名ニ依リマシテ委員トナリマシタ各員ハ、一同集マリマシテ、直チニ委員會ヲ開キ、先ツ委員長理事ノ互選ヲ行ヒマシタトコロ、委員長ニ本員ガ、理事ニ藻寄君、ソレカラ西村君、此二君ガ當選シマシタ、引續キ審査ヲ盡シ決定ヲ致シマシタ、先ツ第一ニ帝國鐵道會計法案カラ報告致シマスガ、此帝國鐵道會計法案ナルモノハ、諸君ガ既ニ御覽ノ通りト思ヒマスガ、簡略ニ之ヲ申シマスレバ、從來ノ鐵道作業局ノ官設鐵道會計法ノ純益ニ據ルモノヲ改メテ、今度ハ資本勘定及收益勘定トノ二ツニ別ケテ、是マデノ役所風ノヲ改メテ、民業風ニ組立テタ譯ニナルノデアリマス、大體ガ商賣的ニ、平民的ニスルコト云フコトヲ目的トシテ、此案ガ提出セラレテ居ルコトデアリマス、ソレカラ官設鐵道用品資金會計法中ノ改正法案ガ出テ居リマス、是ハ是マデ

ノ鐵道ヨリモ多ク買収シテ、擴張セラレル譯柄カラシテ、是マデハ二百五十萬圓アルモノヲ、今度ハ五百萬圓マデヲ増加スルコト云フ譯デアリマス、ソレカラ鐵道國有法及京釜鐵道買収法ニ依リ買収シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案——是ハ少シ後廻シニマス、韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案、是ハ詰リ鐵道ヲ別會計ニスルガ、韓國ニ於テ有スルトコロノ政府ノ鐵道ハ、之ヲ格別ノ會計ニ致シテ置クト云フ譯ニ過ギナイノデス、尙今後廻シニ延バシタ鐵道國有法及京釜鐵道買収法ニ依リ、買収シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案ト申シマスノハ、是マデハ官吏ノ報告デナケレバ、雇員デハ會計檢査院ガ承認ヲ與ヘナイ譯デアルノヲ、鐵道ノ經營ヲ總テ官業ニ致ス譯合カラ、多クノ鐵道ヲ買収スル譯合カラ、此處デハ雇員ガ之ニ代ルコトノ意味ニ擴張シタイト云フデアリマス、法案ハ四ツアリマスケレドモ、大要ヲ申シマスレバ、右ノ意味ニ外ナラヌコトデアリマスカラ、成ルベク此場合二日程ヲ變更シテ、直チニ諸君ガ御贊成アラシコトヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 大岡育造君發議ノ通り此際帝國鐵道會計法案外三件ヲ日程ヲ變更シテ、緊急動議トシテ、議スルト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○大岡育造君 唯今報告ノ中ニ漏レマシタガ、委員會ハ滿場一致一人ノ異議ナク可決シマシタノデアリマス

○議長(杉田定一君) 先ツ第一ニ帝國鐵道會計法案ヲ議題ト致シマス

(全部ヲ一括シテ議題トスベシ「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) ソレデハ四案ヲ一括シテ議題トスルコトニ異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、然ラバ此四案ヲ一括シテ議題ニ供シマス

帝國鐵道會計法案(政府提出)

第一讀會ノ續

官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續

韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案 第一讀會ノ續

案(政府提出)

第一讀會ノ續

鐵道國有法及京釜鐵道買収法ニ依リ買収シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案(政府提出)

○江藤新作君 此際一言贊成ノ意味ヲ發表シテ置キマス、吾々同志ノ者ハ鐵道國有法案ニハ反對ヲ致シマシタケレドモ、既ニ鐵道國有法案ガ通過シタル以上ハ、國有法ニ關聯シタル本案ニハ、贊成ヲスルト云フノガ當然ト思ヒマスカラ、茲ニ贊成ノ意ヲ表シマス

(「流石ハ進歩黨ダ」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君 直チニ一讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 此四件ヲ一括シテ採決シマス、此四法案ヲ二讀會ヲ開クト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ一讀會ヲ開キ、讀會省略ヲ以テ確定ナランコトヲ望ミマス

(贊成々々ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 四案共ニ直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ確定スルト云フ恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

帝國鐵道會計法案

官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

確定議

韓國ニ於テ帝國ノ經營スル鐵道ノ會計ニ關スル法律案

確定議

鐵道國有法及京釜鐵道買收法ニ依リ買收シタル鐵道ノ出納官吏ニ關スル法律案

確定議

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り四案共ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、是ニ於テ本件ハ四案共ニ確定ヲ致シマシテ

(拍手起ル)

○星松三郎君 此際海上衝突豫防法中改正法律案ノ報告ヲ致シタウゴザイマス

○議長(杉田定一君) 登壇ヲシテ……

(星松三郎君登壇)

○星松三郎君 此際日程ヲ變更シテ緊急動議ヲヤルコトヲ御承諾ヲ願ヒタイ(簡單ノ聲起ル) 本案ハ先刻委員選舉ガアリマシテ、而シテ直チニ委員會ヲ開キマシテ、其(簡單ノ聲起ル) 海上衝突豫防法中改正法律案ハ、政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、審查ヲ遂ゲマシタル末、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、本案ハ各國ノ列國共通ノ案デゴザイマシテ、即チ五月一日ニ施行スルモノデアルト云フコトデアリマシテ、眞ニ急務ヲ要スモノデアリマスカラ、速ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ、可決確定セラレント望ミマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ議スルトニ致シマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ議スルトニ致シマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ議スルトニ致シマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ議スルトニ致シマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ議スルトニ致シマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ議スルトニ致シマス

(立川雲平君「委員長理事ハドウシタ、分ラヌ」ト呼ブ)

○議長(杉田定一君) 唯今星君カラ發議ノ通り、海上衝突豫防法中改正法律案ヲ日程ヲ變更シテ、此際緊急動議トシテ議スルト云フニ御異議アリマセヌカ

第十四 地租條例ヲ北海道ニ施行スルニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(濱名信平君登壇)

○濱名信平君 北海道ニ地租條例ヲ施行スルニ關スル委員會ニ於テハ、修正ガアリマスカラ、修正ノ次第ヲ申上ゲマス、第一條ハ原案通り第二條ニ於キマシテ「北海道ニ於ケル」ト下ニ郡村ト云フ字カラ「郡村宅地云々」以下十五字ヲ削リマシテ、サウシテ「地租定率ハ當方地價百分ノ一トス」トナルノデアリマス、ツレカラ本案第一項ノ「宅地地價修正云々」ト云フコトハ、マルデ削ルノデアリマス、本案ニ付キマシテハ委員會モ數回開會致シマシタガ、一體此案ノ出マスノハ御承知ノ通り北海道ニ地租條例ヲ施行スルト云フコトハ、當局者ノ目的デアリマス、委員會ニ於テ審查致シマシタルコトハ、北海道ニ於テハ事實ノ上デ、地租條例ハ殆ド全部行ハレテ居ル今日ノ有様デアル、租率其他一二ノ施行セヌ所モアリマスケレドモ、大抵ハ施行シテアルト云フヤウナコトナデ居リマス、ツレデ委員會ニ於テハ此第一條ニ付イテ、當局者ノ希望通り、別ニ異論ハ無カッタノデアリマス、サリナガラ第二條ニ於テ郡村宅地市街宅地ノ租率ヲ上グルニ付イテハ大ニ議論ノアツタコトデ、遂ニ唯今申上ゲマシタヤウナ修正ニ決シタルデアリマス、其理由ノ一二ヲ申上ゲマス、北海道ノ事情ニ付キマシテハ、随分一部ハ發達シタ繁榮ノ形ヲ爲シテ居リマスケレドモ、先ヅ全體ヨリ觀察スレバ、第一ニ交通機關ノ今日ニ於テ完カラヌト云フコトハ何人モ認メテ居ルコト、存シマス、從テ拓殖ノ事業ノ如キモ今日ハ未ダ獎勵中デ、寧ろ今後一層ノ保護ヲ要スルコト云フ場合デハナイカト云フ今日當デ、内地ト同拓殖ノ事業ヲ進メルコトニ付イテハ、大ニ妨ゲル所ガアルニ依ッテ、今日ハ先ヅ内地ト特別ノ制度ニシテ置カガ宜イト云フ趣意ヲ以テ、當分百分ノ一ト云フヤウナコトナリマシタルデアリマス、第二ト致シマシテハ、此市街宅地ノ如キハ、全體ニ於テ隨分繁華ノ形ヲ爲シテ居リマスケレドモ、一體今日ノ發達ヲ見タ所所以ハ、實力上カラ其生産力ヲ發達シタルデアリト云フ位ノコトデ、抑、此一時繁榮ヲ極メテ居ル事情ハ、御承知ノ通り北海道ノ水産即チ漁業ノ繁榮デアッテ、一朝水産ノ如キモノ、豐凶ニ依テ隨分此函館ト云ヒ、或ハ小樽ト云ヒ、盛衰ヲ來スト云フ位ノ有様ニナッテ居ルコトデアリマシテ、今日ハ見聞上至極繁榮デアルケレドモ、其實全ク漁業ノ上ノ結果ニナッテ居ル譯デアリマス、又北海道ノ頼ミタルコトコロノ水産ノ如キモノハ、近年頻リニ衰頹ヲ來シテ、去ッテ樺太方面ニ追ヒト轉ズルヤウナ有様ニナッテ居ルコトデアリマスカラ、漁利一度去ッタナラバ、隨分今日ノ北海道ノ繁榮ト云ッテ居ル所モ、他日如何ナル境遇ニ陥ルカモ知レヌト云フヤウナ事情デアリマスカラ、其他北海道ノ事情ニ付イテ一部發達ニノミ眼ヲ注イテ、地租率ヲ内地同様ニスルコトハ、甚ダ危險デアラウト云フコトコロカラ、當分内地ト異ニシテ置クコト云フコトハ、滿場一致デアリマス、ツレカラ郡村宅地ノ如キニ至ッテハ、申スマデモナク今日北海道ノ交通不便ナ土地デアッテ、勞働ヲ致シマスル人民ノ宅地ノ如キモノニ向ッテハ、暫クノ間ハ特別ノ保護ヲ加ヘテ置クコトハ、勿論ノコトデアラウト云フコトハ、別シテ是ニハ同情ヲ表シテ、當分百分ノ一ト云フコトデ、斯ク修正ヲ致シタ次第デアリマスカラ願クハ、滿場ノ贊成ヲ得テ、北海道ノ人民ニ益、此議會ノ精神ノアル所ヲ示シテ、事業ノ發達ヲ將來ニ獎勵シタイト存シマス、因ッテ其大要ヲ御報告致シマス

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 採決致シマス

議事日程第一第三第五第七ノ件 海上衝突豫防法中改正法律案 第一讀會ノ續 四二三

確定議 地租條例ヲ北海道ニ施行スルニ關スル法律案 第一讀會ノ續

官報號外 明治三十九年三月二十七日 衆議院議事速記錄第二十二號

○恆松隆慶君 此修正ハ尤モデアリマスカラ、一讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ決セラレシコトヲ望ミマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 一讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ、確定スルト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、委員長報告通リ 御異議ハゴザイマセヌカ

地租條例ヲ北海道ニ施行スル件ニ關スル法律案

確定讀

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ

○元田肇君 此ハ此際臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案委員會ノ結果ヲ御報告致シタ

○議長(杉田定一君) 宜シウゴザイマス

(元田肇君登壇)

○元田肇君 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告致シマス、此委員會ハ先刻御委託ヲ受ケマシテゴザイマスガ、議會ノ會期モ切迫致シテ居リマスノデ、非常ニ各員ハ勉強致シマシテ、政府委員ニ對シテ質問モ随分ゴザイマシタ、ソレカラ贊成反對ノ議論モアリ、遂ニ決ヲ採リ、原案贊成ト云フコトニ委員會ハ決シマシタ、大要ヲ申上ケマスレバ、政府ニ於テモ此法律ノ如キハ、立法上變則ト認メルノデ、本則トハ認メテ居ラス、併ナガラ臺灣ノ殖民地ノ今日ノ事情ガ、尙變則ヲ立法例ヲ採ルト云フ必要ガアルノデ、此法律ヲ提出シテ譯アル、斯様ニ政府ノ言フ所ハ歸著致シマス、ソレカラ反對ノ一ツハ、政府ハ六十二號ノ法律ヲ期限ヲ約シテ改正シ、相當ノ法律ヲ出スト言フコトガ、既ニ數回ニ及ンデ居ル、然ルニ今日ニ至ッテ出タノヲ見レバ、殆ド換骨脱胎ノヤウナ法律デアッテ、甚ダ不都合デアル、ソレ故ニ反對スルト云フコトニ歸著致シマシタガ、結局決ヲ採リマス、多數ノ原案ニ決シタ次第デアリマス、尙貴族院ノ修正デ、第五條ト云フガ加ハリマシタノデ、政府ノ之ニ同意シタ趣意ハ是ハ書カナクテモ自ラ明カデアルト思ウタケレドモ、書イタ方ガ尙明カニナルカラ、政府ハ同意シタト云フコトデアリマス、又附則ノ「明治四十四年十二月三十一日マテ其效力ヲ有スルモノトス」ト期限ヲ附シタノハ、政府ノ意見ハ期限ヲ附セヌ方ガ宜イ、其中ニ臺灣ノ事情ガ一變スレバ、此法律ヲ改正スル積リデアルカラ、附セヌ方ガ宜イノデアル、貴族院ニ於テハ是ハ附スルガ宜イト云フ意見デ、詰リ此法律ヲ通過サセルニ付イテハ、貴族院院ノ協賛ヲ得ナケレバナラヌカラシテ、貴族院ノ主張スルトコロノ四十一年一月一日ヨリ施行シテ、四十四年十二月三十一日マテ其效力ヲ有スルモノトス、今日極メテ、此法律ヲ通過スルコトヲ望ムガ故ニ、之ニ同意致シタト云フコトデアリマス、是ダケ御報告致シマス、是ハ委員長カラ發議シテモ差支ハゴザイマスマイガ、事切迫シテ委員モ斯ノ如ク至急ニ調ベタノデアリマスカラ、ドウカ此所デ議事日程ヲ變更サレテ、直チニ議題トセラレントコトヲ請求致シマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 元田君發議ノ通リ本案ノ日程ヲ變更シテ議スルト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ問題トナリマシタ

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續

族院送付)

○花井卓藏君 本員ハ議場整理ニ關シマシテ、議長ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、本員ガ臺灣法案ノ委員會ニ列席致シテ居リマシタ不在中ニ本員ノ席ニ於テ大聲疾呼シテ、何等カノ發言ヲセラレタ人ガアルサウデアリマス、甚ダ本員ハ迷惑デアリマス、是ノ如キ事柄ハ自今ナイヤウニ御注意ヲ議長ニ願ヒタイ、實ニドウモ怪シカラヌ言語ヲ此處デ放シタト云フコトデアリマス

○議長(杉田定一君) 花井卓藏君

○花井卓藏君 宜シウゴザイマス

(花井卓藏君登壇)

○花井卓藏君 諸君臺灣ニ施行スル法令ニ關スル法律案ガ緊急動議ニ依リマシテ、只今ノ議場ニ現ハレテ參リマシタ、此案ニ關シマシテ、本員ハ十二分ノ審査ヲ遂ゲ、而シテ後見ノ在所ヲ陳述致サウト存テ居リマシタガ、御覽ノ如ク此案ハ今日ノ午後ノ會議ニ於テ、突然トシテ緊急動議トシテ現ハレ、政府當局ノ説明モナク、議員ハ當然ニ有スル質問ノ權利モ行使スルノ暇モナクシテ怒濤狂瀾ノ間ニ立ロニ委員會ニ付託セラレ、而シテ吾等議員ノ委員會室ニ入ルヤ直ニ委員長理事ノ互選ヲセラレ、ト云フコト、ナリ、ソレガ相濟メバ、直ニ審議ニ掛ラネバナラヌト云フコトニ相成タノデアリマス、是ノ如クニシテ委員會ハ苦モナク多數ヲ以テ決定セラレ、又此ニ緊急動議ヲ以テ此報告ニ基ケル討論ヲスベキコトニ相成ッテ參ッタノデアリマス誠ニ會期切迫ノ今日デアリマスカラシテ、已ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、私ハ此演說ヲナスニ付キマシテ、冒頭ニ明カニ此經過ヲ申上ケテ置キタイト思フ、本案ハ有名ナル六十二問題——六十二號ニ代ルヘキ法律案デアリマシテ、憲法ノ規定上容易ナラザルモノトシテ、十年以來本院ニ於テ鬭ハレタルコロノ大ナル問題デアリマス、議會ノ會議ハ九十日ト云フ多數ノ日月ヲ有シテ居ルノデアリマス、十分ニ議院ノ討論ニ付シテ、丁寧親切ナル審究ヲ爲サント欲セバ、議會ノ劈頭ニ於テモ提出シ得ベカリシモノデアリマス、然ルニ何事ゾ、閉會ニ垂ント致シマシテ、餘ストコロ僅ニ一日ト云フ今日ニ至リマシテ突如トシテ提出セラレタル政府ノ誠意ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアル、而シテ此大ナル問題ヲ國本培養ノ問題カ何カノ如クニ心得ラレテ……(「ノウ」)「ト呼フ者アリ」ソレモ大問題デス國本培養モ大切デアリマスケレドモ、本案ハヨリ以上大切ナル問題デアル、ソレデスラ數日——十數日ノ日子ヲ重ネテ攻究セラレテ居ルニモ拘ラズ、此貴重ニシテ而モ憲法上ノ疑義ニ涉レル大問題ヲ瞬時ノ間ニ決セントスル政府ノ態度ハ、慥ニ慎重ヲ缺イテ居ルト本員ハ斷言スル(「ヒヤ」)「又「ノウ」)「ト呼フ者アリ」賢明ナル諸君ハ一ヲ聽イテ十ヲ御知リニナルカラシテ、立ロニ出テモ立ロニ御議論モ出來ルトデアリマス、併ナガラ人間ノ腦髓ニハ限リノアルモノデアル、限リノアル腦髓ヲ限リナキ審究ニ應用スルト云フ事柄ハ、人間業デハ出來ナイ事デアリマス、斯ル大問題ヲ捉ヘ來ッテ、立ロニ決定ラセントシテ、而シテ餘ストコロ僅カ一日ノ今日ニ議ニ付スルト云フコトハ政府ノ此案ニ對スル了簡ガ分ル、乃チ形式的ニ議會ニハ掛ケルケレドモ實際ハ吾等ノ口ヲ籍セント試ミタモノデアル、即チ提案ニ付イテ誠意ヲ缺クト云フコトニ就キマシテ、私ハ第一ニ反對ヲシマス、本案ガ憲法ノ違反デアルヤ否ヤト云フコトハ改メテ論ジマセヌ、本員ハ此案ノ提出セラレタリシ、古ヨリ憲法違反ヲ絶叫シタ一人デアル、併ナガラ政府ヨリハ過チ改ムルニ吝ナラザル本員デア

コトヲ告白シテ置キマシタ、併ナカラ憲法ノ疑義ニ涉レルコトハ爭ヒハナイ、總テノ疑義
爭義ハ避ケナケレバナリマセウガ、殊ニ憲法上ノ疑義爭義ト云フモノハ、成ルベク之ヲ避
クルコトニ務メナケレバナリコトハ帝國議會ノ面目デハゴザイマセウカ、勿論此疑義モ
犧牲ニ供セバナラヌ、彼ノ爭義モ犧牲ニ供セバナラヌト云フガ如クニ、逼迫ノ事情ガ
ゴザイマシタ折ニハ、已ムヲ得ヌコトデアリマスカラシテ、臺灣統治ノ當初ニ於キマシテ
ハ、私ハ已ムヲ得ヌコト信ズル、然レドモ臺灣ノ我ガ領土ニ歸セシヨリ以來、既二十年
ノ星霜ヲ閱シテ居ルデアリマス、緊急逼迫ノ事情ガ今日マデ繼續セリト云フコトハ、
決シテ無イデアリマス、サレバ出來得ベクニ、能得ベクニ、立法ノ常道ニ復リテ、憲
法ノ要求セル本義ニ立戻リテ、法律ノ規定事項ハ必ズ帝國議會ノ協賛ヲ經ザルベカラ
スト云フ常規ノ下ニ立歸ルコトヲ務メバナラヌ筋ノモノデアラウト考ヘルデアル、臺灣
ハ憲法上ノ治外法權ノ地デハナイデアリマス、等シク我帝國ノ領土デアアル、委任命
令ハ或ハ有效デゴザイマセウ、有效デゴザイマシテモ、成ルベク立法ノ常道ニ緊接セシメ
ト云フコトヲ務ムルハ爲政者施治者ノ德義デハゴザイマセウカ、百ナ、憲法上ノ義務ハ
ゴザイマセウカ、然ルニ三年ニシテ可ナリ、三年ニシテ可ナリ、又三年ニシテ可ナリ、又復
三年ニシテ可ナリ、三年ヲ四ツ重ネテ十二年、今尙臺灣ハ統治ノ古ト同ク狀態ニアル
ノデアリマス、若シ左様デアリト致シマシタラバ、如何デゴザイマセウカ、臺灣ノ當局
其人ヲ得ザルコトヲ茲ニ暴白スルモノト云ハサルヲ得ヌデアリカ、併ナガラ臺灣ニ於テハ
比較的人材ガ居ル、兒玉總督ノ如キ、後藤民政長官ノ如キ、今日ノ官吏社會ニ於
テハ、私ハ多大ノ尊敬ヲ或ハ表シテモ宜イデアル、併シ或ハデアル、此等ノ人ガ局ニ當
テ、而シテ尙且法律的臺灣統治ノ見込ガ立タナイ、未ダ以テ前途トスルコトガ出來ナ
イト云フニ至ラデハ、誠ニ此人ノノメニ惜マザルヲ得ヌ次第デアル、故ニ本員ハ委員會
ニ於キマシテモ論議シタデアル、臺灣ノ統治ト云フモノガ内地同様ニイカナイト云フコトハ
本員モ諒トスルデアル、ソレ故ニ臺灣ニミ行ハルベキ法律ヲ制定シテ、即チ臺灣
内地ノ法律ヲ制定シテ、而シテ此議院ニ提出セラレタラバ、臺灣ノ事情及臺灣ノ風
俗ハ、内地同様ナラザルコトヲ熟知セル吾々ハ、喜ンデ兒玉君後藤君ノ意ヲ迎ヘテ、臺
灣ニミ行ハルベキ法律トシテ、協賛スルデアル、何故ニ此態度ニ出デラレナイデアルカト
云フコトヲ尋ネタデアル、所ガ後藤君ハ微笑ヲ含ンテ答フ他方面ニ向ケラレタデアル、所
謂願ミテ他方言フタデアル、吾々ハ臺灣當局ノ出シタル法律案ハ全然反對スルモノト
斷定シテ御考デアラナラバ、已ムヲ得マセウガ、喜ンデ迎ヘルト云フデアル、沖繩縣ニ
ミ行ハル、法律ハ、沖繩縣ニ行ハル、法律トシテ吾々ハ協賛ヲ與ヘテ居ル、北海道ニ
ミ行ハル、法律ハ、北海道ニミ行ハル、法律トシテ、吾々ハ協賛ヲ與ヘテ居ルデア
ル、故ニ臺灣ニミ行ハルベキ法律トシテ提案セラレタラバ、喜ンデ協賛スルデア
ル何ガ故ニ之ヲ避ケラレ、デアルカ、然レドモ尙多數法律ノ制定スベキモノガアデ、其調
査ノ行届カザルモノガアデ、尙二年三年ノ歳月ガ入用デアルト云フノナラバ、是モ一理
デアル、然ルニ御承知ノ通臺灣ノ當局者ハ常ニイロノ印刷物ヲ配付スルニ付イテハ、
甚ダ親切デアル、本員盡ク讀ミマシタガ、大抵内地ノ法律ハ臺灣ニ殆ド全部ガ行ハレテ
居ル様デアル、刑法ノ如キニ至リマス、内地ノ刑法ノ外ニ蕃人ヲ制裁スルニ當テハ、尙
一層ノ酷烈ヲ加フルノ必要アリト云フノデ此議會ヘデモ持ッテ來タラ、直チニ否決セラ
ルベキ管刑ノ法律マデモ出來テ居ル、即チ警ヲ叩タク法律マデモ作テ居ル、此上ニ何ガ
刑事法上ニ入用デアルカ、或ハ舌ヲ抜ク法律カ、或ハ足ヲ剔ル法律カ、然ラザレバ到
リ盡セリト云デ宜イ、殆ド吾々夢想モ出來ヌ程ノモノガ澤山出來テ居ル、其他民事
上ノ法律ニ致シマシテモ、人事上ノ法律ニ致シマシテモ、或ハ行政各般ノ法律ニ致シマ

シテモ、殆ド備テ居ルデアリマス、最早決シテ缺ケルモノハナイト斷言シテ宜イデア
ル、若シアタト致シマシタトコガ、ソレハ些細ナモノデアアル、或ハ命令ニ罰則ヲ附スル
法律ノ下ニ始末ノ出來得ル位ノモノデアルト思フ加フルニ緊急勅令ヲ利用スルコト
ヲ以テハ、是ニ依ッテモ容易ニ補ヒ得ラレルデアアル、我政府ハ緊急勅令ヲ專門非常ニ此
流儀ガ御好キデアルノデアリマス、巧ミニ緊急勅令ヲ應用スルコト云フコトハ、機宜ノ立法
ヘル、殊ニ臺灣統治ニ關シテハ、巧ミニ緊急勅令ヲ應用スルコト云フコトハ、機宜ノ立法
トシテハ却テ功用ヲ爲スカモ知レヌト信ジテ居ル、然ルニ此態度デハ出アルコトヲサナ
トシテ、依然トシテ六二同様ノ此法律案ヲ維持セントセラル、了簡ノ程ガ私ニハ分ラヌ
デアアル、次ニ論ズベキハ委任命令行使ノ場合デアアル、委任命令ハ憲法ニハ違反シナイケレドモ、疑
義ニハ涉ッテ居ル、乃チ違憲デハナイト斯様ニ定メテ置キマシテ、立論シマス抑ヘ憲法政
治ノ下ニ於テ委任命令ナルモノハ如何ナル場合ニ發布シ得ルベキモノデアルカ、法律
事項ハ法律ニ待タナケレバナラヌコトハ勿論デ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌコトハ、云
フマデ無イ、併ナガラ海濱萬里ヲ隔テタル所デアリマシテ、來往十數日ヲ費スト云フヤ
ウナ處ニ於キマシテハ、委任命令ニ依ッテ立法ヲ爲スニアラザレバ、機宜ノ處分ニ應ズル
コトノ出來ナイト云フ場合ハ屢々生ズルデアリマス、統治セルトコロノ總督ガ長官
ガ屢々本國ニ來往交通スルノ不便ナル場合ニ於テハ時ヲ移サズ宜ニ適充スル立法ヲ要
スルコトガ生ジテ、參ルデアリマス、如此場合ニハ委任命令ハ至極必要デアル然ルニ
如何デゴザイマセウ、年々歳々議會ニ出席セラレテ居ル是ガ航海ノ不便ナルガタメニ委任命令ノ
後藤新平君ハ必ズ、議會ニ出席セラレテ居ル是ガ航海ノ不便ナルガタメニ委任命令ノ
形式ニ依ッテ變例立法ノ權能ヲ授クルニ該當シタル場合ナリト受取り得ルベキデ
ゴザイマセウカ、法律ハ或場合ニ於テハ豫算ヨリモ重イ、併ナガラ豫算程ノ動キヲシナイ、ソ
レ故ニ豫算ハ委任命令ノ道ガ無クモ、正式ニ議會ニ出テ、要求スル金ハ澤山取ッ
往ク、然レドモ法律ハ委任命令ニ依ッテ編立アルモ必シモ違憲ニアラザルガ故ニ、是デ胡
麻化スニ是デハ餘リ割ノ宜イ話デアアルマイカト私ハ考ヘル、左様ナ次第デゴザイマス
カ、今日ノ情勢ハ確カニ委任命令ヲ要求スベキ程ノ必要ハアルマイト思フ、臺灣當局者
ハ一年ノ半分ハ東京ニ居ル、本宅モアレバ、別宅モアル、却テ其間臺灣ハ留守ニナ
居ル、斯ウ云フヤウナ次第デゴザイマスカラシテ、本案ノ如キモノハ、敢テ難キヲ責ムルデア
ナイ、總督民政長官ガ出テ、此案ハ臺灣内地ノ法律デアル、諸君ノ御協賛ヲ請フト説明
スルナラバ、本員等ハ誠ニ御尤モノ次第デアルト、賛成スルカモ知レヌ、是ニ於テ立派ナ法
律ガ出來ルデアアル、然ルニ故ラニ之ヲ避ケテ臺灣デハ帝國議會外ニ官立ノ帝國議會
ヲ作り、而シテ又帝國憲法以外ニ一種ノ臺灣の憲法ヲ作り、之ニ依ッテ立法ノ事ヲ行
ハントスルハ臺灣總督府並ニ長官ノ權力ヲ增加シテ、サウシテ民ニ臨ムニアラザレバ、蕃
民制シ難シト云フ一ノ政略ニ外ナラズト思フデアアル、此政略又甚ダ可ナリ、最モ妙ナ
リ、ソレモ私ハ宜イト思フ私ノ議論ハ平生ヨリ甚ダ軟デス乃チ甚ダ宜イト云フノデアリ
マス、當局ハ何ガ故ニ權力政略論ノ勇氣ヲ以テ昨年ニ於テ政府當局者ノ言明シタル
如ク臺灣の特別ノ法律ヲ施カヌデアアル、特別ノ法律ハ編立テアル、然レドモ今ハ時
局デアルカラ提出スルコトガ出來ナイ、決シテ六十三號繼續ノ法律ハ斷テ出サナイ
言明シタル如ク、臺灣特別ノ法律ヲ議場ニ出シテ、大權力ヲ含マセタル法案ノ下ニ、吾
々ノ審議ヲ要求シナイデアアルカ、本員ハ政府ガ貴族院ニ當初提出致シマシタコロノ
法案ヲ讀ミマシテ、條文ハ簡單ナリト雖モ、至極臺灣の二出來テ居ルモノト思ヒマシタ、
所ガ貴族院ノ運命將ニ危カラントスルヤ、直チニ之ヲ撤回シテ、代ッテ出シタルモノハ何デ

アルカト云ヘバ、例ノ古ノ法律六十三號アル、但表題ケケハ臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律ト書イタルケレドモ、内容ハ全ク異ナル所ハナイノアル、多少文字ノ異ナル所ガゴザイマスケレドモ、大シタ相違ハナイノアル、是ニ於テ臺灣ニ於ケル法律關係ニ對スル政府ノ真意ノ存スルコトヲ疑ハザルヲ得ナイノアル、誠ニ本員ハ之ヲ知ルニ苦シムノアル、之ヲ本員等ニ理解セシムルコトノ出來ナイハ、取りモ直サズ、誠意誠心デ此案ノ出タモノデナイト云フ證據ニ相成ララウト、私ハ思フノデアリマス、此點ニ於テモ本員ハ反對スルノアル、本員ハ此問題ニ關シテ宿昔ノ惡因緣ガゴザイマシテ、此度コソハ精密ニ調ベテ大ニ討究シヤウト存ジマシタ所ノ思ヒモ寄ラズ委員會ガ濟メバ、立ロ緊急動議トナル、直チニ議題ニ供セラル、直チニ反對ヲセネバナラヌト云フヤウナコトニ相成リマシタ、或ハ尙他ノ論者ニ於テ補充セラルトコロモゴザイマセウガ、足ラザルトコロハ、前年來本員ノ述べタコトヲ之ニ附加ヘラレマシテ、滿場一致ヲ以テ本案ヲ否決セラレマシテ、議會ノ面目ト云フモノヲ保タレ、サウシテ來ルベキ議會ニ於テ、臺灣ノ特別法律ニ吾々ガ協賛ヲ與ヘルコトニ致シタウ存ジマス、是ダケデ私ハ壇ヲ降りマス

〔吉植庄一郎君登壇〕

○吉植庄一郎君 雄辯ナル花井君ガ、長ラクノ反對ノ御演說ヲ承リマシタガ、何時モノ花井君ニ似合ハズ、誠ニ今日ハ氣鋭ガ上ラナイト思ヒマシタノデ、此氣鋭ノ上ラナイノハ、即チ花井君ガ進化シタル所以デアアル、誠ニ二十年ノ歲月ハ、人ヲ惻巧ニスルモノデアリマシテ、豫テ憲法論、即チ法律萬能論ヲ振廻シテ、臺灣ノ問題ニ付イテ議論サレタトコロノ驍將花井先生ハ、愈々吾々ノ主張ニ接近シ來リマシテ、最早善意ノ反對デアルトマデ(花井卓藏君「本員ハ常ニ善意ノ反對ヲスルノダ」ト呼フ)委員會ニ於テモ明言セラレ、又當壇上ニ於テモ誠ニ善意ヲ以テ反對セラレタノデアリマス、是ニ至リマシテ、既ニ反對黨ノ中堅モ、最早唯行掛リノ上ニ於テ反對スルダケニナシテ來タノデアリマシテ、議論ノ上ニ於テハ、我黨ニ降伏シタモノト吾々ハ認メマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)元來此問題ガ長イ間天下ノ議論トナタト云フモノハ、是ハ即チ法律ガ國ヲ毒スル所以デアアル、法律ヲ萬能ト心得ルタメデアルノアル、此法律ナルモノガ目的デアラ居ルノデアリ(「ノウ」ト呼フ者アリ)「又ヨシ給ヘ」ト呼フ者アリ「ノウ」ト呼フ者アリ、此法律論ニ依ッテノ國家ノ經營ヲ論セントスルガ如キモノハ、誠ニ管見ノ至リデアルト思フノデアリマス、臺灣ノ問題ニ付イテ、此憲法ノ議論ガ、由來天下ニヤカマシカッタノデアリマスガ、理窟家ハ多ク法律家ニアルカラ、臺灣ノ殖民地タルコトヲ知ラザル故ニ、サウ云フ議論ガヤカマシカッタノデアアル、(花井卓藏君「臺灣ハ殖民地デナイ新領土デアアル」ト呼フ)之ガタメニ次第ニ天下ノ議論ガヤカマシカッタノデアリマスケレドモ、其實質ニ於テ殖民地ヲ統治スルニハ、ドウシテモ此日本ニ於ケル同様に法律制度ノ下ニ於テ、臺灣ヲ統治スルコトガ出來ナイト云フコトハ、既ニ反對論者ト雖モ明言シテ居ルノデアアル、從來此問題ガ騷シカッタト云フモノハ、確ニ法律萬能論ノ、是ハ毒藥デアアル、臺灣ノ殖民地デアルト云フコトハ、私ガ言フマデモトク、既ニ諸君ガ御承知デアリマセウ(「ノウ」ト呼フ者アリ)既ニ殖民地デアル以上ニハ、之ニ對シテ特別ナル方法ヲ設ケルト云フコトハ、又必要デアアル、是ハ相當ノ結論デアルト思フ、ソコデ此臺灣ナルモノニ如何ナル知識ヲ我國民ハ持ッテ居リマス、又殖民地ト云フ問題ニ付イテ如何ナル經驗ト、如何ナル智識トヲ持ッテ居リマス、此智識ヲ持ッテ、此經驗ヲ持ッテサルトコロノ國民ハ、先以テ之ヲ試驗シテ見ナケレバナラヌデアアル、今日マデ十年ノ間ノ臺灣ニ於ケル我國ノ方針ハ、是非之ヲ試驗的ニヤアデ見ナケレバナラヌ、此六十三號ノ法律ナルモノハ、即チ臺灣ヲ統治スルタメノ一

ツノ試驗ノ法律デアリマス、此試驗ニ於テ及第シタルヤ否ヤ、之ニ對シテ臺灣ノ統治ノ實ガ十分ニ功ヲ奏シタヤ否ヤト云フコトハ、到底五年ヤ十年ニ於テ之ヲ斷言スルコトハマダ出來ナイ次第デアリマス、先刻花井君ハ、モウ臺灣モ我日本領土ニナッタ當時トハ違ッテ、十年ノ星霜ヲ經テ居ル、辣腕ナル某々官人ノ手腕ニ依ッテ、既ニ十分ニ治蹟ガ上ガッテ居ルカラ、モウ宜イデヤナイカト言ハレマシタケレドモ、凡ソ世界ノ何レノ國ガ、此臺灣ノヤウナ土地ヲ自分ノ領土トシテ、五年ヤ十年ニ於テ其本國ニ同化セシメ得タ國ガ、ドコニアリマスカ、五年十年ノ歲月ヲ以テ、他國ヲ取ッテ、自分ノ國ノ領土トシ、若クハ殖民地トシテ、本國ノ法律制度ノ下ニ立タセモノガ何處ニアリマスカ(花井卓藏君「クラモアル、君ハ知ラヌ」ト呼フ)是ガタメニ特別ナル方法ニ依ッテ此試驗ヲスルト云フ時代ガアルノデアリマス(「少シ荷ガ重過ギル」ト呼フ者アリ)反對ナラハ壇ニ登ッテ給ヘ、既ニ試驗時代デアラガ故ニ此法律ト云フモノハ、尙繼續ヲセザルヲ得ナイノデアリマス、此試驗時代ヲ經過シテ而シテ後始メテ臺灣ニ向ッテ、斯様ニ致セバ宜シイト云フトコロノ完全ナル制度モ立ツノデアリマス(「成程」ト呼フ者アリ)我國ノ最も模範トスルトコロノ先進國 殖民制度ニ於テ、最も成功シタルトコロノ英國ニ於テモ「アノ通リ人權ヲ尊重スルトコロノ英國デアリマシテモ、其殖民地若クハ占領地ニ向ッテ、直チニ本國ノ通リ、又本國ノ憲法ヲ直チニ持ッテ參ッテスル國ガドコニアリマスカ(「分ラナイ」ト呼フ者アリ)ソレ故ニ此法律ト云フモノハ、ドウシテモ此六十三號ヲ實施致シテ、尙五年、若クハ十年ノ歲月ヲ試驗シテ見ナケレバナラヌト云フコトハ、言フマデモナイコトデアリマス、花井君ハ先刻前內閣ガ立案ヲ拵ヘテ出スカラ云々ト云フコトノ實質ヲ取ッテ、茲ニ論ゼラレマシタケレドモ、ソレハ即チ前內閣ノコトデアアル、此前內閣ナルモノハ、頗ル臆病ナル內閣デアアル、其所信ヲ諸君ノ前ニ訴ヘテ、此殖民ニ對シテ關乏シタル智識ヲ補充コトヲ知ラナカッタノデアアル、ソレ故ニ前內閣ニ於テハサウ云フ挨拶ヲシタカモ知ラナイ、併シ辛ニシテ現內閣ハ文明ノ新智識ニ富シタ人々ガ、此內閣ヲ組織シタルノアル、ソレ故ニ此案ニ對シテハ、十分ナル所信ヲ以テ、輿論ノ囂々タル馬鹿ノ輿論ニハ少シモ耳ヲ傾ケナイデ、誠ニ結構ナル考ヲ憶面ナク持出シタト云フコトハ、誠ニ本員ハ其勇氣ニ感服スルノデアリマス、要スルニ既ニ花井君デアッテスラモ、其憲法論カラ退陣致シマシテ、全然兜ヲ脱イデ、サウシテ善意ノ反對、モウ少々ノ處ナラハ御讓合ヲ致スト云フトコロマデ、來タノデアリマスカラ、花井君ハ勇ラシク、平素ノ公明正大ナル立場ニ復ラレテ、其席カラ前言ヲ取消サレマシテ之ニ贊成アラントラ希望致シマス

〔內務大臣原敬君登壇〕

○內務大臣(原敬君) 一應此法案ニ對スル所見ヲ述ベテ、御贊成ヲ得タイト考ヘマス、先刻花井君ノ御演說ノ中ニ、此會期切迫ノ今日ニ於テ、斯ル問題ヲ提出スルハ如何ニモ不親切デアアルカノ如キ御說モアリマシタガ、私ハ今日ニ於テ、議スルハ遺憾ニ考ヘマス、併ナカラ政府ハ殊更ニ、此切迫ノ場合ニ於テ、之ヲ何カ意味アッテ諸君ノ前ニ提出シタル次第デアリマセヌ、此事ハ數年ニ亘ッテ、世間ノ講究スベキ問題トナッテ居リマスカラ、多少政治ノ思想アルモノハ考モ致シマシタ、私共職ニ就キマシテ以來、臺灣ニ對シテハ如何ニ致サウカト云フコトニ付イテハ、熟慮モ致シマス、隨テ是ハ現ニ其職ニ當ルトコロノ臺灣ノ當局者トモ協議ヲ重ネナケレバナラヌ次第デアリマス、斯様ナル事柄ニ依ッテ、段々時日ヲ遷延致ササルヲ得ヌ境遇ニ立至ッテ、遂ニ今日ノ會期切迫ノ場合ニ、諸君ノ前ニ提出致サナケレバナラヌ次第デアリマシテ、別ニ意味アルコトニアラズ、是ノ如キ事情ノ下ニ已マラ得ヌデアッタト云フコトニ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、又昨年若クハ一昨年、當時ノ當局者ハ相當ナル案ヲ提出致スト申シタトカ、種々ノ御說ガアリ

マシタガ、私共其事ヲ承ラヌデモナインアリマス、サリナガラ是ハ篇ト御判斷ノ願ヒダ
イノハ、縱令當時ノ當局者ガ如何様ナルコトヲ申シテ置キマシテモ私共ハ同様ノ意味ヲ
引續クナケレバナラヌト考ヘマセヌ、考ヘマセヌガ、併ナガラ此問題ハ縱令當時ノ當局者
ガ如何ナルコトヲ申シテ居ラウトモ、之ハドウナリト始末ヲ付ケナケレバナラヌ問題デアリマ
スカラ、當時ノ當局者ハ相當ナル案ヲ具シテ、提出致サウト申シタガ、之ニ安心ヲ致シテ
居ル譯デモナケレバ、其言ヲ責メテ是非出サナケレバナラヌト云フコトヲ今日申ス場合デハ
無論ナインガ、縱令當時ノ當局者ガ存在致シマシタコロコデ、唯其當時言明致シタコロノ
事柄ニ於テノミ、之ヲ責メル故デモナインデアアル、詰リ御同様ニ臺灣ノ如キ新領土ヲ如
何ニシテ治メルカト云フコトハ、考ヘナケレバナラヌ、當時ノ當局者ガ如何ニ申シタト云フ
コトニ拘泥スル必要ハ更ニナイント私ハ思ヒマス、而シテ此事ハ、諸君モ御承知デアリマセ
ウ、當時ノ當局者ガ言明致シタト云フコトヲ言ハル、諸君ハ、更ニ尙更御承知デアリマセ
マセウ、當時ノ政府ハ如何ナルコトヲ申シタカ、臺灣統治法ト云フ草案ヲ、吾ニ内々
示シタデアアル、議場ニハ示サヌガ、之ハ統治法ト云フモノハ、大層宜イモノト御歡迎
ナサル諸君モアルカハ知ラヌガ、是ハ臺灣ハ殆ド半獨立ノ如キ有様ニナルデアアル、是ハ
協賛ヲ得ベキ望ミガナカラウト云フコトヲ、私ハ申シタコロコデ、當時ノ當局者モ之ヲ提
出スル意思ハナイン、唯是ノ如キ草案ヲ作ッテアッタト云フコトデアアル、之レハ即チ今日花井
君ノ言ハル、臺灣ニ特別ノ制度ガ相當デト仰シタルノガ、之レデアアル、斯様ナコトハ今
日私共ノ考慮ノ中ニハナインデアアル、而シテ臺灣ニ關シテハ、實際上果シテ特別法ノ必
要ガアルカナイカト、云フ點ニ立戻ッテ、講究致シマスルト、特別ナル制度ヲ布カナケレバ
ナラヌコトハ無論ト認メマス、毎ミ六三ニ付イテ議論ヲ生ジマシタル折ニモ、特別ナル制度
ヲ布カナイト云フ議論デハナカッタヤウニ私ハ記憶ヲ致シテ居リマス、併シ此法律ハ臺灣ノ
狀況ニ依リ、臺灣ノ狀況ヲ申シマス、諸君ノ認メラレバ如ク、進歩ハ致シテ居ル、財
政上ニ於テモ國庫ノ補助ヲ仰ガヌデ獨立スルコトヲ得ルコトガ、今回ヨリ成立ッテ居ル、
併シ是ハ財政上ノ進歩デアアル、經濟上ニ於テモ、民間ノ智識ニ於テモ、發達ハ無論同
様ニアリマセウガ、今日ノ狀態ハ臺灣ニ六十三號ヲ施行致シマシタコト、經濟財政ヲ
除キマシテハ、著シキ進歩ハ見テ居ラヌデアリマス、是ハ當局者ノ無責任ト職責ヲカ
申スコトモゴザイマセウガ、ナカク、臺灣ノ如キ土地ニ於テ、僅二十年間ノ星霜ヲ經テ、
著シク人ノ目ニ立ッ程ノ進歩ヲ致スト云フコトハ、ムツカシイデアアル、故ニ今暫クノ間
ハ、ドウシテモ特別ナル制度ヲ布クヨリ外ナインデアリマス、故ニ今回此案ヲ提出スルコト
ニナツタデアリマス、而シテ此案タルヤ花井君其他ノ言ハル、ガ如ク、是ハ成程六十三
號ノ意味ヲ其儘用井テ居ル、異ル所ハ、六十三號ニハ評議員ノ組織ハアリマスルガ、評
議員ノ組織ハ今回ノ案ニハナイン、是ダケハ違ヒマスルガ、後トハ文字ノ相違、文章ノ相
違デアリマシテ、實體ニ於テ變リガナインデアアル、是ハ委員會ニ於テモ私明言ヲ致シタ、ナ
ゼト云フノミ、臺灣ノ狀況ニ之ヲ必要トシナイト云フ狀況デアリマスレバ、此法案ヲ縱シ
出サウト致シマシテモ、全部變ルデアリマス、臺灣ノ狀況ハ六十三號ヲ實施致シマシタ
當時ト、非常ナル相違ガナイン認メマシタ以上ニハ、六十三號ノ意味ヲ是ニ挿入スル
ニ、何ノ差支ガアリマスカ、故ニ私ハ明カニ申シタ、是ハ六十三號ノ意味ヲ殘ラズ記入シ
テアル、併ナガラ當時諸君ハ御記憶デアラウ、六十三號ノ法律ヲ議會ニ提出致シマシ
テ、協賛ヲ得タ當時ハ、臺灣ハ實ニ領土ニ歸シテ日淺シ、百事草創ノ際デアリマシタ故
ニ、此法律ハ甚ダ法文トシテモ、完全ナラザルトコロデアリマスカラ、其實體ヲ取ルト致シ
マシテモ、必ズ其儘出サナケレバナラヌ必要ハ今日ナインデアアル、故ニ不都合ナルコロハ
皆訂正シテアル、實體ノ變ヲ又以上ハ、臺灣ノ狀況ハ、此制度ヲ必要トスルニ依ッテ定

マルデアアル、是ノ如キ次第デ、此案ヲ提出致シマシタノデ、決シテ此案ヲ種々ニ文字
ヲ變ヘ、其他ノ事柄ヲ以テ、諸君ヲ瞞著シヤウナド、云フ卑劣ナル考ヲ持ッテハ居ラヌ、
明カニ六十三號ノ實體ヲ備ヘテ特別ナルモノヲ必要トスル以上ニハ、斯クセザルヲ得ヌノ
デアリマス、而シテ此期限ニ付イテ、貴族院ハ修正ヲ加ヘテ居ル、是ニ同意ヲ表シテ居
ル、ナゼカト云ヘバ、今後五年間モ實施致シマシタナラバ、更ニ他ノ法律ヲ必要ト致シマ
スルカ、若クハ此法律ヲ繼續致シマスルカ、何レニ致シマシテモ、相當ニ判斷ヲ下ス時期
ニ到著致シマセウ、殊ニ今日會期ノ切迫致シテ居リマスカラ、旁以テ五年ノ期限ヲ置
クト云フコト何ノ差支モナイン、元來始メ六十三號ニ二年ノ期限ヲ置キマシタノモ、衆
議院ニ起ッテ、今回又貴族院ノ議ヲ容レテ同意ヲ表シテ、五箇年ノ期限ヲ置クニ何ノ差
支ハナイト思ヒマス、五條ニ於テ修正ヲ貴族院ガ加ヘラレマシタガ、是又以テ何等ノ差
支ガナイン、故ニ全部貴族院ノ修正ニ同意ヲ表シマシタ、諸君ノ篤ト臺灣ノ狀況ニ鑑ミラ
レタコロノ公平ナル判斷ニ訴ヘテ、此案ヲ速ニ可決セラレンコトヲ希望シマス

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ勳議ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ

御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(杉田定一君) 討論終結ノ勳議ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ
御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ勳議ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ

御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(杉田定一君) 討論終結ノ勳議ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス、討論終結ニ
御異議ハゴザイマセヌカ

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、討論ハ終結セラレマシタ——採決ヲ致シマス、
本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、二讀會ヲ開クベシト云フコトニ決シマシタ
○元田肇君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、議案全部ヲ議題ニ供シマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、議案全部ヲ議題ニ供シマス

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 委員長報告通リト呼フ

○議長(杉田定一君) 委員長報告通御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

○議長(杉田定一君) 二讀會ニ於テ決議ノ通御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日

程第十五、紙幣類似證券取締法案、第一讀會ノ續委員長報告——花井卓藏君

第十五 紙幣類似證券取締法案(政府提 第一讀會ノ續(委員長報告))

○花井卓藏君 簡單テゴザイマスカラ、此處テ報告ヲ致シマス、本案ハ紙幣類似證券取締ノ法律ヲゴザイマシテ、幣制ノ統一ヲ圖リ、幣制ノ信用ヲ保チ、而シテ經濟上ノ信用ヲ保ツト云フ趣意ニ於テ提案セラレタコトヲモテアリマス、委員會ニ於キマシテハ、全員一致ヲ以テ可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ、併ナガラ此案ニ付キマシテハ、修正ノ意見ガ出マシテ、其修正ノ意見ハ誠ニ御尤ニ感ズル——御尤ニ感ズルガ法文ノ趣意ハ矢張修正ノ意見ノ通ニ解シ得ラル、ノデアリマスカラシテ、安心セラレタレバベキモノデアルト云フ政府ノ言責——來年代ハレバ此言責ハ保チ得ラル、カ得ララスカ分リマセヌガ、免ニ角政府ノ言責ニ信用ヲ置イテ、贊成スルコトニナリマシタ、唯敢テ諸君ノ御疑ヲ御懷キニナルコトヲ言フ譯デハ決シテアリマセヌガ、此法案ニ依テ見マシタルト、本案第一條二項ニ依テ見マシタルト、將來吳服物ノ切手アルトカ、玉子ノ切手アルトカ、或ハ經節ノ切手アルトカ、砂糖ノ切手アルトカ云フヤウナモノモ、或場合ニ於テハ其筋ヨリ發行ヲ禁止セラレ、ソレニ背イタ者ハ、切符ヲ出シタ者モ、切符ヲ受取ツタ者モ、ソレヲ祝儀ニ代ヘテ持ツテ往タ者モ、隨分重イ罰デ、千圓以下ノ罰金デ、一年以下ノ禁錮ニ處セラレナケレバナラヌト云フコトヲ、御承知ニナデ宜シウゴザイマス、ソレカラ又鐵山業ナドヲシテ居ル御方ハ、確カニ之ニ依テ來年ハ多大ナル御迷惑ヲナサルコトモ此案ノ中ニ含マレテ居リマス、全員一致ヲ以テ可決セラレタリト雖モ、委員會審查ノ經過ハ餘蘊ナク共ニ報告スルノガ、委員長ノ責任ト思ヒマスカラ、是ダケ此席ヨリ報告シテ置キマス

○恆松隆慶君 此案ハ別ニ意見モナイト思ヒマスカラ、此際讀會ノ順序ヲ省イテ一讀會ニ於テ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、一讀會ニ於テ讀會ヲ省略シテ確定ヲスルト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長ノ報告通り御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長ノ報告通り御異議ゴザイマセヌカ

紙幣類似證券取締法案

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、——是ニテ本案ハ確定致シマシタ——

○村松龜一郎君 此際辯護士法中改正法律案ノ委員會ノ經過、竝ニ結果ヲ報告致シタイ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 登壇ヲ……

○村松龜一郎君 諸君、是ハ辯護士法中ノ改正法律案デアリマシテ、至デ幅ノ狹イ問題デアリマスガ、併ナガラ辯護士ノ品位ニ關スルデアリマスカラ、重サハ可ナリ重イ

問題デアリマス、ソレデハ委員會ヲ二三回開キマシテ、イロ／＼政府トモ協議ヲ致シ、又質問モ致シマシタ、其結果原案ノ「大審院ニ於ケル懲戒裁判所」ノ意見ヲ聞キ「ト云フトコロ」決議ニ依リ「ト修正致シマシタ、ソレカラ更ニ二項ニ置キマシテ」大審院ニ於ケル懲戒裁判所ハ前項ノ決議ヲナス前登録請求者ヲシテ辯明ヲナスコトヲ得セムヘシ」斯様ニ修正致シマシタ、是ハ一方ハ登錄請求者ノ權利ヲ重シシ、又一方ハ誠ト此廉耻ヲ破ツタ其人ガ、辯護士ニナルト云フガ如キ面白クナイコトヲ防グ、斯ウ云フ方カラ——雙方カラ考ヘマシテ、斯様ニ修正ヲ致シタデアリマスカラ、宜シクドウカ御贊成ヲ請ヒマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○恆松隆慶君 是ハ日程變更ニナリマシテゴザイマス、マダナリマセヌカ、マダナリマセヌカラバ、日程變更ノ動議ヲ提出シマス

○花井卓藏君 日程變更ノ動議ニハ反對シマス「ト呼フ」

○議長(杉田定一君) 日程ヲ變更シテ本案ヲ議スルト云フニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス——日程ハ變更セラレマシタ

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 本案ニ付イテ二讀會ヲ開クニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

辯護士法中改正法律案

第二讀會

○恆松隆慶君 讀會ヲ省略シテ委員長報告通決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 二讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス二讀會決議ノ通り御異議ゴザイマセヌカ

辯護士法中改正法律案

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定致シマシタ

○元田肇君 私ハ是ヨリ請願委員ノ權能ニ關スル委員會ヲ開ク許可ヲ得タウゴザイマス、明日一日ニ會期切迫シテ、委託ヲ受ケタ委員會ガ開ケヌデハ、誠ニ困リマスカラ、是カラ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(杉田定一君) 請願委員ノ權能ニ關スル委員會ヲ、是ヨリ開キタイト云フコトヲ許可シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 日程第十六衆議院議員選舉法中改正法律案、第一讀會

第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長)

○江原素六君 極メテ簡單デゴザイマスカラ、本席ヨリ述べマスデス、沖繩縣ノ衆議院議員ノ選舉ニ付キマシテ、二十三年ノ規定ニ依リマスルト、六万二千七百七十九人、有權者ガ千五百一人アルトコロノ八重山、宮古ト云フモノガ省イデゴザイマス、アレハ甚ダ不公平ナコトデゴザイマシテ、既ニ兩郡カラハ徵兵ニモ出テ居リマスルシ、日露戰爭ニモ出兵シテ居ルノデアリマス、又教育ノコトモ、租税ノコトモ、外ノコトモ、少シモ變テ居リマセヌ故ニ、今回沖繩縣ニ人ト云フニ改メマシテ、其宮古八重山ノ人民モ選舉權ヲ有スルヤウニシタイト云フ、簡單ナル且有理ナル問題デゴザイマスカラ、此際直チニ讀會ヲ省略セラレテ、確定ニナランコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 讀會ヲ省略シテ確定ヲスルト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 讀會省略ニ御異議ハナイト認メマス、委員長報告通御異議ゴザイマセヌカ

衆議院議員選舉法中改正法律案 確定議

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ヲ本案ハ確定致シマシテ一日程第十七、癩豫防法案、第一讀會ノ續、島田三郎君

第十七 癩豫防法案(山根正次君外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(島田三郎君登壇)

○島田三郎君 諸君、本員ハ委員長ニ代テ報告致シマスル任ニ當リマシタ、此案ハ提出者ノ原案ヲ一字ノ修正ナクシテ委員會ヲ通過致シマシタ、極メテ奇妙ナル經過ト本員ハ思ヒマス、隨分長イ條項デアッテ、三十條以上ニ亘リ居リマスルモノガ、一字ノ修正ナクシテ、今日ノ間ニ可決致シマシタノデ、中ノ文字、其他ノ條項ニ付イテハ、餘リ議論ガゴザイマセヌ、大體ノ精神ニ於テハ、極メテ重要ナルコトヲ質問ガアリ、説明ガゴザイマシタカラ、ツレヲ御報告致シマスノガ、任務デアラウト本員ハ思フ、ツレ故ニ稍其説明ニ時ヲトリマスルノヲ宥テ願ハウト思ヒマス、一昨日委員會ニ御附託ニナリマシタガ、極メテ其議案ノ緊要ナルコト、並ニ會期切迫ト云フニツノ理由ノタメニ、昨日日曜ニモ拘ハラス、委員會ヲ開キマシテ、サウシテ直チニ選舉ヲ行ヒマシテ、大井ト新君ガ委員長ニ、本員ガ理事ニ選舉セラレマシタ、今日ハ委員長ガ差支ガアルガタメニ、理事ガ代テ説明ヲ致シ、報告ヲ致スコトニナリマシタ、丁度此事ニ付イテ今申シマシタル通、一字ノ修正ナク、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタガ、政府モ其趣意ヲ否認ハ致シマセヌ、但シ政府ニ講究ノ時間ヲ與ヘテ與レト云フデケノ答ガアツタギリデ、其餘項並ニ立法ノ必要ニ付イテハ反對ガナカッタ、然ラバ是ノ如ク重要ナル議案デ、サウシテ三十條以上モ互リマシタモノヲ、斯ク速ニ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタルノハ、ドウ云フ譯デアアルカト申シマスルト云フト、是ハイロ／＼由來ガゴザイマス、此案ノ性質ヲ定メマスルニハ、從來ノ由來ヲ御話スレバ、斯ウアルベキコトデアルト云フコトガ分ラウト思ヒマス、詰リ癩病ノ本質ガ分リマス、是ガ果シテ傳染スルモノデアアルカ、傳染シナイモノデアアルカト云フ事實ノ確

定ガ原案ノ根據ニナッテ居リマス、是マデ我國ノ多數ノ人ハ未ダ傳染病デアルト云フコトヲ確認致シマセヌデゴザイマス、専門ノ醫家ノ間ニハ、最早確定シテ世界ノ確定論ニナッテ居ルヤウニ、本員ハ承リマス、此説明ハ本員ハ門外漢デアラガタメニ、實ハ専門ノ御方ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマシタガ、何分委員會デ本員ガ委員長ニ代テ報告ヲスルコトニナリマシタモノデゴザイマスカラ、シテ門外漢トシテ専門ノ問題ヲ説明スルノハ、頗ル不便ヲ感シマスガ、併ナガラ立法部ニ列スル義務トシテ、是ノ如キ案ニ對シテ、注意ヲ拂テ、經世の竝ニ國ノ公ケノ利益ヲ保護シ、人民ノ生命ヲ安全ニスルガタメニハ、專門家ナラザルモノデモ、專門家ニモ其問題ヲ聞キマシテ、親切ニ調ベルトコロノ義務ガアルト思ウテ、本員ノ聞キ得タルコトヲ御取次ヲシテ、御話スルノガ必要デアラウト思ヒマス、詰リ我國ハ世界ニ於ケル多クノ癩病ヲ持ッテ居ルトコロノ、誠ニ歎息スベキコトノ國柄デアリマスガ、此癩病ノ性質ハ多數ニ知ラレテ居リマセヌ、是ハ遺傳病ト古來信用致シテ居リマシテ、今日突然ト之ガ接觸ニ依ッテ、他ノ人ニ傳染スルコト云フ事實ガ、世ノ中ニ擴マリマシタナラバ、定メテ必要ナル注意ヲ國民ガ拂フデアラウト思フ、我國ノ人ハ決シテ衛生上ニ粗雑ナルコトヲ人ミデゴザイマセヌ、新タニ這入リマシタコロノ「ベスト」ニ對シテ、大イナル注意ヲ拂ウテ、多大ノ費用ヲ出シマシテ、之ヲ防グコトヲ解ラストコロノ國民デゴザイマスカラ、若シ恐レベキコトヲ癩病ノ本質ヲ、世ノ中ニ確定致シマシタラバ、定メテ之ヲ防グコトヲ有力ナル精神ガ、國內ニ振テアラウト思フ、是ガ今日ハ、我國デコレ未ダ遺傳病ト一部テ解釋シテ居リマスガ、我國デモ醫師專門家ハ、傳染病ト確認致シマシテ、屢、衛生會ノ問題トモナリマシタモノデゴザイマス、此讀會ニ於テモ既ニ此事ガ問題トナリマシテ、本員ノ記憶シテ居ルトコロニ依リマス云フト、群馬縣選出ノ政友會議員齊藤壽雄君ガ此事ニ付イテ建議セラレタコトヲ覺ヘテ居リマス、是ハ多數ヲ以テ此建議案ヲ可決致シマシタコトヲ記憶シテ居リマス、又政友會議員ノ現在職ヲ執ッテ居ラレトコロノ根本正君ガ、外國ノ新聞ニ傳染ノ恐レベキ報告ガアルト云フコトヲ、此議場デ述べラレテ、政府ニ向ッテ質問ヲ致サレタコトガゴザイマス、尙專門ノ智識ヲ以テ、吾々ノ信用致シマスル山根正次君ガ、一度質問ヲシ、一度ハ此豫防ノ法律案ヲ出サレマシタガ、此時ニハ急性傳染病ト、此癩病ノ如キ慢性傳染病ヲ、一ツノ法律トシテ出シタガタメニ、政府ハ之ヲ引分ケテ、他日提出スルト云フ、此公約ノ下ニ其議案ハ修正セラレテ、癩病豫防ノ部分ハ削ラレタト本員ハ、記憶致シテ居リマス、斯ウ云フ最早注意ヲ拂ヒマストコロヲ見ルト、專門ノ智識ヲ持ッテ居ツタコロノ人モ、癩病ノ傳染病ナルコトヲ信ジテ居リマス、本員モ亦斯ウ信ズルトコロノ一人デゴザイマス、此事ハ醫家ノ調ニ依リマセヌデモ、世間ニ注意ヲ親切ニ拂ヒマストコロノモノガ、著々舉ゲベキコトヲ證據ヲ持ッテ居リマスノデアリマス、(原案賛成)ト呼フ者アリ)此事ハ唯性質ヲ定メテ、此讀會デ認メルコトヲ必要ト致シマス故ニ、御話致シマスルノデアリマスガ、進歩シタルコトヲ國ニテハ、明カニ法文ニ掲ゲテ、此他ノ急激ナル傳染病ト同一視シテ、一樣ニ取扱ッテ居リマス、獨逸ニテハ亞細亞虎列拉、發疹空扶斯、紅熱、「ベスト」、痘疾、是等ノモノハ、皆傳染病トシテ取扱ヒマス、其第一ニ癩病ヲ舉ゲテゴザイマスカラ、醫學ノコトニ付イテ、世界ニ信用アルコトヲ彼國ニ於テ、斯ク扱ハレテ居ルト云フ此一事實デ、確カニ傳染病デアルト云フコトガ分ッテ居ル、併ナガラ豫防ノ最も重モナル、注意ノ周到ナル國ニ於テハ、中古ニ多ク行ハレマシタ癩病ハ、殆ド絶ヤシマシタ、今デハ昔語リニ是ヲ唱ヘ、他國ニアルト云フコトヲ唱ヘル位デゴザイマス、歐羅巴デハ露西亞並ニ諾威ニ遺ッテ居リマスガ、是等モ矢張傳染病トシテ注意深ク取扱ヒマスカラ、數

ハ段々減ズルノアル、不幸ニシテ我國ハ減ズル勢ハナクシテ増スノミデアルト云フコトハ、國民ノ注意ヲ喚起スベキトコロノ重要問題デアルト本員ハ思フテ居リマス、此中ニ日本ハ世界ノ三番ノ癩病ノ多イ國デアルト稱セラレテ居リマス、甚ダ本員ハ國民ノタメニ痛マシク感ズルノデゴザイマス、歐羅巴諸國ニハ唯今ハ癩病ノモトナクシテ居リマスガ、亞細亞方面デハ、支那ハ人口ガ能ク分リマセヌ、統計モゴザイマセヌカラ、多ク病者ガアデモ、數ヲ舉ゲルコトガ出來マセヌ、英領印度ハ總數人口三億ニ對シテ十二萬人ノ癩者、米領布哇ハ十五萬人ニ對シテ三千人ノ癩者ガアリマス、日本ニハハノ位ノ癩者ガアルコト申シマス、日本ニハ表ニ表出セラレタコロノ數デケデ二萬人餘ニ出テ居リマス——五十萬人ニ對シテ三萬人ノ癩患者ガアデ、其上ニ能ク調ベルト實際ハソレヨリ多イト云フコトノ證據ガ舉ガテ居リマス、誠ニ注意ヲ拂フベキコトデアラウト思ヒマス、既ニ此本案提出者ノ一人ガ先日述べラレマシタ通り、徵兵検査ニ依テ年々五六百人ノ癩患者ヲ發見スル、竝ニ專門ノ人ガ青森地方ニ職ヲ奉シテ調ベマシタニハ、内務省デ調ベテ居ルヨリ凡ソ三倍程ニナツテ居ル、一地方ニスラ是ノ如クデアリマスレバ、全國各地デ内務省ノ調ベデハ二萬人ト云フデアルガ、三倍位ニナツテ居ルデアラウト思フ、尙事實目前ニ現ハレテ居リマス、大學ノ皮膚病專門家ニ參リマストコロノ患者ノ中ニ、一二人毎日此病ヒラ發見スルコトヲ本員ハ確信シテ居リマス、決シテ遠イトコロノ禍ニアラズシテ、恐ルベキトコロノ此病根ガ世間ニ散布シテ居ルコトヲ本員ハ信ジテ居リマス、然ラバ是ガ傳染病デアルカナイカト云フ證據ハ、世界ノ有名ナル布哇ハ四十八年前ニ支那カラ傳播シテ、サウシテ一島三千餘人ノ人ヲ癩病ノ患ヒニ罹ラシメタト云フコトハ、是ハ遺傳病ヨリハ傳染病デアルト云フコトデナケレバ、是ノ如キ事實ヲ説明スルコトハ出來ナイト思ヒマス、尙是カラ考ヘテ見マシテモ——推シテ見マス、布哇政府ガ死刑ニ處セラレキ罪人ニ此病毒ヲ種ヘマシタラバ、小兒ノ痘瘡ノ如ク種ハツテ、五年ノ後ニ全ク癩病患者ニナツタノハ確定サレタル事實デアル、丁度今カラ十七年以前ニ癩病者ノ看護者——救濟者シテ布哇ノ「モロカイ」ニ入ッタ白耳義人ノ「ダミヤン」ガ此疾患デ歿シテ居ル、其事ノ悲慘ナルト其事業ノ高貴ナルトノタメニ、世界ヲ驚カシタ問題ニナツテ居リマス、是ハ事實ヲ證明スル立派ナル證據デアラウト思フ、尙本員ガ聞イテ居ル目前ニモウ一ツノ證據アルハ、東京府ノ養育院ノ中ニ行路病者シテ收容シタルモノ、中ニ、癩病患者ノ一部ガアリマス、始めニハ一三人入レタノデアルガ、段段殖エテ唯今デハ十何人ニナツテ居リマス、是ガ處置ニ苦ンデ居リマス、法律ニハ別ニ取扱法モナク、市ノ費用トシテ出シタラバ、近傍ノ癩病患者ガ東京ニ集ツテ來テ、市ノ負擔ニ堪ヘヌト云フ問題ニナツテ居リマス、此中ニ一人ノ少年ガアツテ、十二歳ノ時ニ仕ヘテ居タトコロノ「簡單々々」ト呼フモノアリ「簡單」ニハ出來マセヌ、ドウシテモ政府ト爭ハネバナラヌ根據ガアリマスカラ、本員ハ諸君ヲ煩ハシタイ「サウ云フコトハ委員會デアツタノデスカ」ト呼フモノアリ「其通り」精神デ是ガ確定ヲ致シマシタ「簡單々々」ト呼フモノアリ「議長ノ制サヌ中ハ本員ハ何時マデモ此壇ヲ降りマセヌカラ、愈々長クナリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、十二歳ノ青年ガ發病シタノハ其仕ヘテ居タトコロノ主人ノ傳染デアツテ、唯今十八九歳デ誠ニ病勢ガ純然タルコロノ癩病ニナツテ居ルノガ、東京市内ニ建ツテ居リマス府ノ養育院ノ一人ノ患者デゴザイマスカラ、是等ノ關係ヲ見マスレバ、最早傳染病タルコトハ確定シテ居リマス、政府ハ他ノ傳染病ニ對シテハ周到ナル注意ヲ拂ヒ、ソレノ方法モ立ツテ居ルノニ、此恐ルベキトコロノ病氣ニ付イテハ、マダ何等ノ施設ガナイノデゴザイマスカラ、道路ニ彷徨シテ展ハルヲ驚カシ心アル人ヲシテ悲シマシムルノモ、此事實カラ來ルデアリマス、此注意深キ人ヲシテ衛生上ノ危險ヲ

感ゼシメルノモ此事ノタメデアリマス、此事ニ付イテハ公ノ力ヲ以テ何等ノ施設ガナイタメニ、其病院トシテ設立セラレタモノハ悉ク外國人ノ手ニ成ツテ居ルト云フコトニ至ツテハ、日本ノ國ノ名譽トシテモ何トカ處分ヲシナケレバナラヌト云フ事實ガ目前ニ迫ツテ居リマス、本員ガ聞イテ、知ツテ居ルトコロニ依レバ、東京ノ目黒ニ一ツノ病院ガゴザイマスガ、外國人ノ費用ニ成ツテ居リマシテ、使用セラレテ居ルモノハ日本人ガ居ケレドモ、全部外國人ノ經營デ、又東海道ノ御殿場ニアルモノモ全部外國人ノ經營、又熊本ニ一箇所ゴザイマスガ、是モ外國人ノ手ニ經營サレテ居リマス、ソレデ此事ハ外國ニ傳播シテ、外國ノ人ニモ日本ニ參リマストキニハ、必ズ學術ノタメニ日本ノ癩患者ノ收容所ヲ訪問シ、或ハ慈善ノタメニ是ニ寄附シテ往クト云フノガ現在ノ事實デアリマス、是ノ如キ事實ガ成立ツテ居ルデ、是ヲ立法部モ注意ヲ拂ハズシテ、是ノ如キ說ニ耳ヲ傾ケヌト云フノハ、日本ノ智識ノ程度ヲ示スモノデアルト本員ハ確信ヲ致スデアリマス（報告デスカ）ト呼フ者アリ報告デアリマス、此通りノ精神デ一字ヲ換ヘズ決議致シタデアリマス、決シテ本員ハ讓ルコトハ出來マセヌ、尙此外ニ目前ニ迫ツテ居ルデ、何トカ立法上ノ手續ヲシナケレバナラヌト云フ事實ハ、日本ノ氣候ガ良好ナルト竝ニ溫泉ノアルト、竝ニ法律ノナイガタメニ、外國人ガ著々癩病ヲ携ヘテ、其難ヲ日本ニ避ケルト云フ事實ハ風説ニアラズシテ、港ニ居リマシテ内外出入ノ人ノ健康ヲ診斷セシムルコトヲ醫家ノ居出ニナツテ居ルデ、定メテ内務省ハ是ヲ開知ツテ居ルデアラウト思フ、例ヘバ亞米利加デハ眼病ヲ煩ツテ居ルデモ、上陸ヲ拒ムハラズ、世界ノ恐レテ居ル癩病人ハ著々日本ニ集マツテ、檢疫スル醫官ハ如何ニ處分ヲスルカト云フコトヲ制限ノナイト云フハ、實ニ日本ノ衛生的防禦ノ不完全ヲ示スモノデアル、先ヅ此外ニモ職業ニ一ノ制限ガナイタメニ、飲食ニ關係スルコトヲ職業ニ關連スルコトヲ器具ヲ扱フテ居ル癩病患者ガアリマシテ、此實例ハ群馬縣ニモ現ハレ、東京市内ニモ現ハレテ居リマスガ、警察官ニ注意シテ取締ヲ請フタケデ、警察官ノ手心デ取扱フテ居ルノニ過ギナイデアリマスカラ、誠ニ日本ノ是ニ對スル注意ハ粗漫極マリト思フノデ、此事ニ付イテ前ニモ申シマシタル通り、一度ハ質問トナリ、一度ハ建議トナリ、一度ハ議案ノ提出トナツテ、内務省ニ督促ヲ致シマシタケレドモ、内務省ハ今回此本案ニ對シテモ純然タル傳染病タルコトヲ信ジテ、何等ノ處置ヲ施サナケレバナラヌ必要ヲ感ジテ居ルガ、如何ニ處分スベキカト云フ方法ニ付イテハ、唯今考案中デアルカラ直チニ是ニ同意スルコトハ出來ナイト云フノハ、政府委員ノ答デアルガ、唯今本員ノ申述ニハ如ク、危急切迫シタ危險ガ目前ニ現ハレテ居ルニ拘ハラズ、政府ガ考案中、前回前々同ノ議會ニ現ハレタトコロノ質問、竝ニ建議法案提出ニ對シテ、何日マデモ考案中デアツテ、今年モマダ考案中デアルト云フニ至ツテハ、本員ハ議會ノ權能トシテ政府ニ此事ヲ迫ルベキ必要ヲ感ズルノデゴザイマスカラ、此事ハ本員ハ必要ナリトシテ、玆ニ論ズルノデゴザイマスガ、尙是ニ於テ大ニ本員ハ國辱トシテ論ゼネバナラヌコトガアル、ソレハ熊本ノ病院ハ外國人ガ是ヲ經營シテ居ルタメニ、其費用ノ乏シイ（モウ御止メナサイ）ト呼フ者アリ止メルコトハ出來マセヌ、報告ヲスルタメニ其精神ヲ説クノガ必要デ、全體本員ハ此壇ニ登リマシテ唯委員會ノ經過ヲ述ベテ、サウシテ即決スルコトヲ慣習ニ本員ハ反對シテ居ルモノデゴザイマスカラ、本員ノ自信ニ依ツテ立法ノ精神ハ成タケ能ク議會デ説明シテ、國民ニ知ラセタケノ機關トシタイト思ツテ居リマスカラ、本員ハ此說ヲ止メルコトハ出來ナイノデ、前年大ニ日本ノ人ガ迷惑ヲシタ事實アルノハ、多少本員ノ記憶スルコトコロニ依ルト、山根正次君デアラウト思フ、其人ガ歐羅巴諸國ニ醫術ヲ觀察ニ參ツテ居タトキニ、萬國ノ癩病豫防會議ガアツテ、幸ニ日本カラ來テ居ルカラト云フノデ列席セラレタサウデアリマス、此時ニ何ガ圖ラン日本ニ

病院ヲ建テ、居ルコロノ外國人ノ報告ニ依テ日本ノ癩病患者ノ數カ三万以上ト云フ報告ガ此萬國會議ノ内ニ既ニ確定セラレテ報告サレテ居タ、コレヲ列國ノ醫家ガ日本

テハ是ノ如ク癩病ノ多數ノ患者ガアルガ、如何ナル方法ヲ以テ處置シテ居ルカ、參考ノ
タメニ承リタイト云ハレタ、此時ニ何ノ答モ出來ズ、此列席ノ上ニ大ニ答辯ニ苦シム
云フコトヲ承テ居リマス、コレナレバ列國ハ是ニ向テ注意ヲ拂ツカト云フト、六
千萬ノ人口ノ獨逸國デ三十八人ノ癩病患者ガ現ハレタ時ニ、是ハ人類ノタメニ國家
タメニ宜シカラヌコトアルト云ッテ、列國ニ激ヲ傳ヘテ萬國ノ癩病豫防會ヲ開イタ、日
本ハ武力ニ於テ世界ノ一等國ニナッテ居ルニ拘ハラズ、野蠻國デナケレバ現ハレナイトコロ
ノ此癩病患者ガ是ノ如ク多數アッテ、此取締法ニモ注意ヲ拂ハヌト云フコトニ至ッ
ラバ、此點ニ於テ日本ハ何分ニモ文明國ニ列スル面目ハナイト本員ハ思フデゴザイマス、
先日英國ノ皇族「コンノート」殿下ガ慈善會ヲ開カレテ、此慈善會ノ寄附金ノ一部分ヲ
熊本ノ癩病院ニ寄贈セラレ、既ニ寄贈セラレタト云フコトニ承ッテ居リマスガ、此會ハ如
何ニ是ノ如キ出來事ヲ見マスルカ、外國ノ人ミハ日本ハ癩ヲ以テ名高イ國アルト云ハ
レ、サウシテ貴賓ガ我國ニ參リマスル癩病院ニ寄附スルトコロノ舉ヲ企テラレテ居
ル、是デモ國民ハ國ノ名譽ヲ毀損セラレザルノ有様ニアルト云フコトヲ自カラ信ズルコトガ
出來マスガ、本員ハ其故ニ慈善ノ點カラ考ヘマシテモ、衛生ノ點カラ考ヘマシテモ、國
名譽ノ點カラ考ヘマシテモ、長ク内務省ヲシテ勸考中ニ在リト言ハシメテ、立法部ガ緩
漫ニ附シ去ルト云フコトニ堪アルコトガ出來ナイデアリマス、委員會全部決議シタコ
ロヲ速ニ貴族院ニ廻ハシテ、政府ガ是ヲ認可スルコトノ手續ヲ執ラシムルノ必要ガゴザイマ
ス、又一ノ修正モナク議決シタト云フ報告ト、竝ニ必要ナルガタメニ一ノ修正ナクシテ決
議セラレタト云フコトヲ、此議會ヲ通シテ全國ニ此聲ヲ傳ヘタイト云フ本員ノ考デ、諸君
ノ謹聽ヲ煩ハシ此會期切迫セルニ拘ハラズ、此報告ヲナシマシタノデアリマス
○議長(杉田定一君) 採決致シマス、二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス
○荒川五郎君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ希望致シ
マス
○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異
議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○川原茂輔君 反對デアリマス、是ハ延べル方ガ宜シウゴザイマス
○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ
御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數
○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長報告通
リ御異議アリマセヌカ

癩病豫防法案

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日
程第十八、狩獵法中改正法律案第一讀會ノ續委員長報告、福島宜三君

第十八 狩獵法中改正法律案(森肇君外 第一讀會ノ續(委員長 福島宜三君登壇))

○福島宜三君 此狩獵法中改正法律案ノ委員會ハ、政府モ何ノ反對モナク全部本
案ノ儘滿場ノ一致ヲ議決シマシタ、コレハ長イコトハ言ヒマセヌ、三十八年ノ頃ニハ一
等二十圓、二等十圓、三等二圓、ト云フ時分ニハ人員ガ十萬四千人以上、税金二
十五萬圓以上モ取レタノガ、其後戰時稅ノ第一次ノ增收ヲヤッテ、一等三十圓ニ等
十五圓、三等三圓ニシタ、第二次ノ增收ニハ更ニ一等四十圓、二等三十圓、三
等十七圓ニシタ、其結果トシテドウデアアルカト云フト、三十八年度ニハ僅カ——二年前
ノ三十六年度ニ十萬人モアツタモノガ、二萬六千人カラ減ッテ居ル、又增收ヲシタ
最初ノ增收ヲシタ時ニハ、二十九萬二千七百圓デ、マダ少シク餘計取ル見込デア
ガ、ソレドコロデナクシテ、三十八年度ニハ三十六年度ノ二十五萬二千六百圓ヨリ減
テ、二十一萬一千圓シカ取レナイト、斯ウ云フデゴザイマス、詳シク申上グルマデモ
ザイマセヌ、政府モ同意致シマシタカラドウ御贊成ヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 採決致シマス、二讀會ヲ開クベシト云フコトニ御異議ハゴザイ
マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○恆松隆慶君 讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ、七圓ヲ五圓ニスルノハ結構ダ
○議長(杉田定一君) 委員長報告通り讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハゴザ
イマセヌカ

狩獵法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ
○恆松隆慶君 私人茲ニ緊急勸議ヲ提出シマス、十九ヨリ二十四マデ六案ヲ一括シ
テ、此場合委員長ノ報告ヲ略シ、採擇スベキモノト決セラレンコトヲ望ミマス
〔贊成々々〕又ハ〔異議アリト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 今ノ恆松君ノ發議ニハ異議ガアリ、且此諸案中ニ反對ノ通
告ノアルモノモアリマスカラ、一案毎ニ議スルコトニ致シマス、日程第十九、屯田兵恩給
關スル建議案委員長報告

第十九 屯田兵恩給ニ關スル建議案(淺羽靖君外 六名提出)

(委員長報告)

○議長(杉田定一君) 最早、定刻ニ垂ントシテ居リマスガ、時間ヲ延長致シマス
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 上野彌一郎君
〔上野彌一郎君登壇〕
○上野彌一郎君 諸君、屯田兵恩給ニ關スル委員會ノ經過ト結果ヲ御報道致シマ
ス(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)ソレデハ結果ダケニシマセウ、是ハ政府ニ此建議ノ趣
意ヲ促スノ必要アリト認メタノデゴザイマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ此案ハ可決ス
ベキモノト決シタノデアリマス
○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議アリマセヌカ

レ、盲人保護、角力カラ頼マレ、バ角力常設館保護、人カラ頼レ、バ己ヲ空シウシテ此
議場ニ運搬サレテハ困ル、(己ガアッテ居ル)ト呼フ者アリ。道理ガナイコトヲ是カラ
申上デマス、本員ハ之ヲ一讀、二讀、三讀、致シマシテ、如何ナル理由ノ下ニ此建議
ガ出タカ、其理由ヲ發見スルコトガ出来ヌ、第一士氣ヲ鼓舞スルコトカ、氣象精神ヲ涵養
スルコトカ云フコトガアリマス。士氣ヲ鼓舞スルナラバ劍術柔術ノ如キハ、日本ノ歴
史カラ申シマシテモ第一位ニ置カケレバナラヌデアル、昨日宮内省ニ往テ私ハ劍術
ヲ拜見致シマシタガ、其動作ノ活潑ナルコト到底角力ノ比デナイ、角力ノ如ク暗ガリカ
ラ牛ヲ引出シタル如キ不活潑ナル動作ヲ以テ、士氣ヲ鼓舞シヤウト云フハ實ニ片腹痛
キ次第デアル、又角力ハ體格ヲ健全ニスルコトカ云フコトガ書イテアル、國民ノ體格ヲ好
スルノニ角力ヲ見テ國民ノ體格ヲ好ナルト云フコトハ私ハ分ラナイデアル、奥野君ハ角
力好デアルケレドモ身體矮少ニシテ餘リ御立派ナ御體格デナイデアル、(君ハドウカ)ト
呼フ者アリ。成程力士其者ノ體格ハ好イ、殆ド不具ニ近イ程體格ハ好イデアル、併ナガ
タ奥野君ト雖モ五千人ノ人間ヲ皆角力取ニシヤウト云フ者デハナイデアル、上ハ西園寺
侯爵カラ下ハ野末ノ果ニ至ルマデ、角力ニシテ常設館ガ二千ヤ三千元一万デハ足ラナ
イ、(此案ニ賛成スル)角力取ノヤウニ強クナルト呼フ者アリ。又昔ハ角力ハ士禮ヲ以テ
待遇シタト云フコトガアリマス。ウレハ昔ノ時代ニハサウ云フコトモアツタラウ、吾々ハ角
力ノ歴史ハ知ラナイ、併ナガラ今日ニ於キマシテハ、其必要ガ無クナツタカラ止マツテ居ル
ノデアル、一般教育ニ於キマシテモ國庫補助ノ必要ガ漸次減シテ私立學校、私立專門
學校若クハ私立大學校ノ制度ガ完備シテ來テ、漸次此教育事業ヲ民業ニ移シテ差支
ナイト云フ今日ニ於テ、獨リ此角力ガ昔ニ遡テ、補助ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、
警視廳ノ問題デハナイケレドモ、時勢ノ進退ニ伴ハザルトコロノモノデアル(笑聲起ル)是
ノ如ク一モ理由ガナイ、私ハ角力ハ甚ダ好キデ能ク見ニ往キマス、決シテ角力ハ嫌デナイ
ノデアル、角力ノ最良ノ一人デアリマスガ、最良ノ眼ヲ以テ私ハ是ニ反對スルノデアル
ル、角力協會ナルモノガ、是ノ如キ僅カナル金ヲ貰フタメニ、憫ミヲ請フヤウニシテ卑劣ナ
モノトハ信ジテ居ラヌ、角力道タメニ私ハ甚ダ惜ムデアル(國民ノタメニスルノガ)又
「分タノ」ト呼フ者アリ。勿論角力ノ善シ惡シヲ言フデハナイ、角力ハ結構デアルガ此
家ヲ建テル——此建物ヲ造ルガ宜イカ、惡イカト云フコトヲ言フデアル、寧ロ士氣ヲ鼓
舞スル上カラ言フナラバ、兩方皆シテ貴ヒタイデアル(笑聲起ル)裝飾ノシテアル建
築物ノ中デアルト云フノハ、寧ロ角力ノ本質デナクシテ却テ遊惰ニ流レテ決シテ士氣ヲ
鼓舞スル所以ノ道デハナイト本員ハ確信スルノデアルマス(分タノ)ト呼フ者アリ。ツ
レトモ算盤珠カラ角力協會ガ割出シテ造ルト云フノナラバ別デアル、本員ガ啄々容レバ
キ譯デハナイガ、人民ノ膏血ヲ絞ツテ此角力ト云フ一種ノ遊藝場ヲ造ルト云フコトニ補
助ヲ與ヘルト云フニ付イテハ、本員ハ全然反對セザルヲ得ヌデアル、此中ニハ賛成者ノ
名前モ大分列記シテアリマスガ、是ハ奥野君ニ御義理デ名前ヲ貸シテヤラレタノデ(ノ
ウ)ト呼フ者アリ。眞面目ニ賛成ヲサレタモノデナカラウト思ヒマスカラ、諸君ハ本心
ニ立還テ自由ノ意思ヲ以テ滿場一致ヲ以テ否決アランコトヲ希望致シマス、私ハ決シ
テ角力ヲ敵ト思フデアリマス。又、最良ノ一人デアリマスカラ、角力道ノタメニ此案ハ
否決サレシコトヲ希望スルノデアリマス、此一言ダケ申シテ置キマス

○議長(杉田定一君) 木下謙次郎君

○議長(杉田定一君) 木下謙次郎君

○木下謙次郎君 報告ニ賛成スル者デザイマス、是ニ付イテ所見ヲ述

ベタイト思フデザイマス、唯今鈴置君カライロノト委員長ノ報告ニ反對ノ理由ヲ

御述ベニナリマシタガ、其御演說ヲ承リマス。東北ノ凶災、臺灣ノ地震、人民ノ膏血
トカ何ントカ能ク要領ヲ得ヌデアルガ、サウ云フコトヲ言ハレタ、成程此一局一部ニ就
イテ是ヲ觀察シマスレバ、鈴置君ノ說明ニ多少ノ理窟ハアルノデコザイマスガ、併ナガラ
物ハ小理窟バカリデ律スル譯ニイカヌデアル(ヒヤ)ト呼フ者アリ。又「ノウ」ト呼フ者アリ。
諸君一局一部ニ付イテ小理窟バカリデ物ヲ律シヤウト思フタラバ、此日露戰爭ハ出
來ナカッタアラウ(ヒヤ)ト呼フ者アリ。戰後ノ我日本ハ三十億ノ公債ヲ負擔スル
コトガ出來ナカッタアラウ、恐ラクハ諸君ハ金ノ簞ヲ日本銀行ヘ持ッテ往キ、金ノ時計
ヲ日本銀行ニ持ッテ往ク外軍費ノ支辨ハ付カナカッタアラウト思フデアル(笑聲起ル)
「ヒヤ」ト呼フ者アリ。一體此日本人ハ舊幕時代ノ物見遊山法度ト云フヤウナ舊
式ノ思想ニ支配セラレテ、此遊藝ト云フモノヲ輕シ見ル嫌ガアル、恐ラクハ鈴置君モ舊
幕時代ノ夢ヲ、此立憲政體ノ帝國議會ノ演壇ニ繰返シテ居ルデハナイカト思フデアル
(其通リ)ト呼フ者アリ。諸君、凡ソ事物ハ廣狹アリ、大小アリ、此世界ノ事
物ハ進歩アリ(笑聲起ル)諸君願クハ舊幕時代ノ舊思想ヲ去テ、願クハ度胸ヲ少シ廣
クシテ、心意ヲ少シ大キクシテ、寬宏ナル態度ヲ執ッテ、本案ヲ觀察セラシコトヲ希望致
シマス、諸君(モウ分タ分タ)ト呼フ者アリ。待テ(見合テ)ト呼フ者アリ。
笑聲起ル。諸君、誠ニ諸君ガ憲法政治、法律ノ意味ヨリ取テ除ケテ、此帝國議會ト
云フモノヲ觀察シタラドウデアルカ(分タ分タ)ト呼フ者アリ。尙言聞カセル
デアルガ、此帝國議會ト云フモノハ辯論、智識、力量、ノ角力場デアルデアル(ヒヤ
ト呼フ者アリ。笑聲起ル)而シテ此角力場アルガ故ニ——此公開セラレタル天下ノ
大士俵場アルガ故ニ、人間ノ公德心、人間ノ智識、有ラユル政治上ノ事柄ガ是ヲ中
心トシテ發揮スルノデアル、諸君角力ノ常設館ナルモノハ、實ニ人間ノ體格、人間ノ健
康、人間ノ衛生、人間ノ力量、ノ競爭場デアル、諸君帝國議會ガ智識、辯論、ノ角
力場デアルガ如ク、此角力ノ常設館ナルモノハ體格、健康、力量、ノ角力場デアル、
而シテ帝國議會ヲ中心トシテ此人間ノ名譽心人間ノ公德心、政治上ノ進歩ガ期待セ
ラル、如クニ、實ニ此角力常設館ヲ中心トシテ、人間ノ體格、人間ノ健康、人間ノ元氣
ガ發揮サレルモノデアル(ヒヤ)ト呼フ者アリ。賛成セウ(モウ宜イ
止メロ)ト呼フ者アリ。サウカ——ウレハ短クヤル、此學校教育ノ智力ト體育ト雙々
々相俟ツ必要ナルガ如ク、社會ノ生活ニ於テモ智力ト體育ト相俟ツコトガ必要デ
アルノデアル、諸君、帝國議會ガ必要デアルガ如ク、此角力常設館ト云フモノモ必要デ
アルノデアル(笑聲起ル)諸君、諸君ガ政治ヲ愛シ政治ヲ好ムハ、直チニ以テ此角
力ヲ愛シ、角力ヲ好ムハ心ト同一ニナルデアル、其心理ノ起源ハ同一デアル、唯諸君
ガ舊幕時代ノ舊思想支配セラレテ、是ヲ輕シ見ルノデアルデ、是ハ甚ダ宜シカラヌコト
デアル、此名譽ヲ重シナル辯論、智識、力量、ノ帝國議會ノ競爭モ角力常設館ノ
爭モ同一ト本員ハ思フデアル(モウ止メロ)ト呼フ者アリ。又「贊成ガナクナル」ト呼フ者アリ。宜
シク——尙是ニ付イテ申上ケルコトハ澤山アリマスガ、簡單ニ結論ダケヲ申シテ止メ
マスガ、奥野君ノ先日ノ御話ニ希臘ニ「オリンピア」ト云フモノガアツテ此「オリンピア」ノ藝
術ノ發達ニ依ツテ、希臘ノ文學美術ガ發達シ、遂ニ希臘ヲシテ世界ニ霸ラシメタト云
フコトヲ承ツテ居リマス、又日本ニ於テモ角力ガ開ケテヨリ二千年、其間幾多ノ興亡ハ
アリマシタガ、殊ニ諸君ニ御注意ヲ願フデ置キタイコトハ、國力ノ發展シテ居ル時分ハ角
力ハ盛ンデアル、角力ノ盛ンナル時ハ、國力ハ發展シテ居タノデアリマス、此ニ於テ諸君、
此國民的遊技ナルモノ進歩ノ度合ハ、直チニ其國ノ興亡盛衰ノ度合ヲ測知スルニ足ル

一種ノ反射器アルト信ズル、國力ノ「レフレクシヨ」ナル、現ニ我國ハ露西亞ヲ破リ、英吉利ト同盟ヲ締ビ、國力ノ發展未ダ今日ヨリ盛ナルコトハナイデアル、此隆盛ヲ發揮スルニハ角力常設館ヲ設置シ、國民ノ元氣氣力ヲ増進スベキ國民的遊技ヲ盛ニシ、嘗テ「オリンピア」ヲ遊技ガ、希臘國民ヲシテ世界ノ覇ヲラシメシ如ク、我角力道ハ我日本國ヲシテ世界ニ覇ヲラシムルト云フ豫望ヲ置イテ、本案ニハ滿腔ノ意ヲ以テ賛成ヲ表スルノデアリマス

○恆松隆慶君 本案ハ賛否一審勝負トシマシテ、採決セラレンコトヲ、望ミマス、討論ノ終結ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノハ討論終結ノ動議デスカ

○恆松隆慶君 左様デス、賛否ハ段々アルノデス

○議長(杉田定一君) 討論終結ニ定規ノ賛成ガアリマスカ

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 定規ノ賛成ガアルト認メマス——採決致シマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ——委員長報告通リニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、委員長報告通リニ決シマシタ——日程第二十四、大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案

(「異議アリ異議アリ」モウ決シテシマツタカライケナイ」ト呼フ者アリ)

第二十四 大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案 (委員長報告)

(阿部徳三郎君外九名提出)

(根本正君登壇)

○根本正君 大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案ハ、委員會ハ滿場一致ヲ可決致シマシタ、此段御報告シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 委員長報告通リ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス——本案ハ確定致シマシタ、報告ガアリマス

(書記朗讀)

一 森本駿君ヨリ臺灣震災被害救済ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲茲ニ掲載ス)

臺灣震災被害救済ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十六日

提出者 森 本 駿

賛成者 伊藤 哲藏

外九十五名

臺灣震災被害救済ニ關スル質問主意書

一 臺灣ニ於テ近日大地震ノ爲メ數千ノ死傷者アリ且ツ潰家其他ノ損害尠カラス

右ニ付政府ハ此際奈何ナル救済ノ手續ヲ取ルヤ

右質問ス政府ニ於テ至急答辯ヲランコトヲ望ム

理由書

今回臺灣震災ノ被害ハ名狀スヘカラサル悲惨ヲ極ムルカ故ニ此際救済ノ必要アルモノト認ム是レ本案ヲ提出スル所以アリ

一 貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出醬油稅則中改正法律案及本院提出齒科醫師法案醫師法案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

○議長(杉田定一君) 明日ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二十四分散會